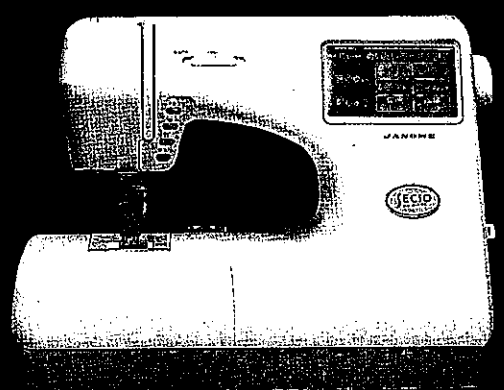


使い方の手びき

SECIO EX セシオ

ご使用前に、この取扱説明書を十分、お読み下さい。
この取扱説明書はお使いになる方が、いつでも見られるところに保管して下さい。

安全にご使用いただくために

このミシンを、安全にご使用していただくために、以下のことがらを守って下さい。
このミシンは、日本国内向け、家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警告　感電、火災の恐れがあります

1．一般家庭用交流電源100 Vでご使用下さい。
2．以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグを引き抜いて下さい。
・ミシンのそばを離れるとき
・ミシンを使用したあと
・ミシン使用中に停電したとき

⚠ 注意　感電、火災、けがの原因となります

1．フットコントローラーの上に物を乗せないで下さい。
2．お客様自身での分解、改造はしないで下さい。
3．ミシンの操作時は、ベットふた、面板などのカバー類を閉じて下さい。
4．ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないで下さい。
5．曲がった針はご使用にならないで下さい。
6．縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないで下さい。
7．お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意して下さい。
8．以下のことをするときは、電源スイッチを切って下さい。
・針、針板、押え、アタッチメントを交換するとき
・上糸、下糸をセットするとき
・ランプを交換するとき（ランプが冷えてから行って下さい）
・取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うとき
9．ミシン、フットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お近くの販売店、または、サービスセンターにて点検、修理、調整をお受け下さい。
・正常に作動しないとき
・落下などにより破損したとき
・水に濡れたとき
・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき
・異常な臭い、音がするとき

目 次

◎おとり扱いについてのお願い …… 3
◎各部の名まえ……4〜5
◎標準付属品 …… 6

操作をおぼえましょう

◎電源をつなぎましょう …… 7
◎速度の調節になれましょう …… 7
☆スタート・ストップボタン …… 7
☆スピードコントロールつまみ …… 7
◎針の上下と止め縫い・返し縫い …… 7
☆上下停針ボタン …… 7
☆止め縫いボタン …… 7
☆返し縫いボタン …… 7
◎下糸の準備をしましょう …… 8〜10
☆ボビンをとり出します …… 8
☆「説明」キーの使い方 …… 8
☆ボビンに糸を巻きます …… 9
☆ボビンをかまにセットします……10
◎上糸の準備をしましょう……11〜13
☆上糸を掛けます……11
☆糸通しを使って針に糸を通します……12
☆下糸を引きあげます……13

直線・BH・実用縫い

◎模様の選び方（普通縫い）……14
☆「直線・BH・実用縫い」モードキーの使い方 … 14
◎直線縫い……15〜16
☆「上下停針」キー……15
☆「下糸残量」キー……15
☆「マイセット」キー……15
☆縫いはじめ……15
☆縫い方向をかえるには……16
☆縫いおわりの返し縫い……16
☆「上下停針」キーを使用するとき……16
☆針板ガイドラインの利用……17
☆布ガイドの使い方……17
☆厚手の布端の縫いはじめ……17
☆送り歯のさげ方……18
☆フリーアームの長さ調節……18
☆「ぬい方楽々選び」キーの使い方……19
☆「適した布・針・糸・押え圧」キーの使い方…19
◎布に適した糸や針を選ぶ目安……20
◎糸調子の合わせ方……21
☆マニュアル糸調子……21
☆オート糸調子のレベル変更……21
◎押えのとりかえ……22
☆押えのとりはずし方、つけ方……22
☆押え圧ダイヤルの使い方……22
◎押えホルダーのはずし方、つけ方……23
◎送りジョーズの使い方……23
◎針のとりかえ……24
◎直線状の縫い目いろいろ……25
☆「模様の用途」キーの使い方……25
☆縫い目のあらさをかえるとき……26
☆直線縫いの針落ち位置をかえるとき……26
☆下糸残量の確認のし方……27
◎ギャザーよせ……27
◎キルティング……28
◎ピンタック……28
◎ジグザグ縫いとかがり縫い……29〜30
☆ジグザグ縫い……29
☆裁ち目かがりとかがり縫いステッチ……29
☆縫い目の幅をかえるとき……29
☆かがり縫いステッチの例……30
◎オートボタンホール……31〜34
☆ボタンホールの種類……31
☆縫う前の準備……32
☆縫い……32〜34
☆縫い目の幅をかえるとき……34
☆縫い目のあらさをかえるとき……34
◎ [11] [12] の場合……35
☆厚い布のボタンホール縫い……35
◎芯入りオートボタンホール……36
◎マニュアルボタンホール……37〜38
◎ファスナーつけ……39〜41
◎アイレット……41
◎くけ縫い（まつり縫い）……42
◎三つ巻き縫い……43
◎かんぬき止め縫い……44
◎ファゴティング……45
◎スカラップ……45
◎ドロンワーク……46
◎カットワーク……46
◎アップリケ……47
◎シェルタック……47

かざり縫い

☆模様の選び方と操作キー……48
☆ワンサイクル縫いの例……49
☆「記憶」キーの使い方……49
☆「反記」（反転記憶）キーの使い方 …… 49
☆「取消」キーの使い方……49

☆「頭出し」キーの使い方……49
☆連続模様縫いの例……50
☆「記憶」キーと「反転記憶」キーを使った模様縫いの例…50
◎エロンゲータ縫い……51
◎コーディング……52
◎ワンポイント縫い……53
◎相似模様縫い……53
◎クロスステッチ……54
◎砂縫い……54
◎粒縫い……54
◎シャーディング……55
◎スモッキング……55
◎2本針縫い……56

文字縫い

☆模様の選び方……57
☆ひらがな縫いの例……57
☆アルファベット(縮小)キーを使った例……58
☆アルファベット(小文字)キーを使った例……58
☆数字と文字の組み合せ縫いの例……59
☆「ストック」キーの使い方（登録のし方）……60
☆「コール」キーの使い方（呼び出し方）……60
☆組み合わせするときに知っておきたいこと……61
☆組み合わせするときの模様の単位……62
☆文字と数字の糸を切る位置……63

パッチワーク縫い

☆「パッチワーク」キー……64
☆「くり返しぬい」キー……64
☆「キルティング」キー……65
☆「フリーキルト」キー……65
☆「パターン計算」キー……66
☆「作り方手順」キー、「押え・針板の使い方」キー、
「適した布・針・糸・押え圧」キー……67
◎模様の形の整え方……68
☆マニュアルボタンホールの左右の縫い目のそろえ方…68
☆スーパー模様の形の整え方……68
☆文字・数字の形の整え方……68
◎ダーニング押えの使い方……69

刺しゅう縫い

◎刺しゅう縫いをする前に……70
☆芯地……70
☆布と針と糸の関係……70
☆テンプレート……70
◎操作をおぼえましょう……71～73
☆メモリーカードのセットの仕方と取り出し方…71
☆普通刺しゅうまたは編集刺しゅうモードを選びましょう…72
☆「説明」キーの使い方……72
☆刺しゅう押え(P)のとりつけ方……73
☆縫いはじめの糸掛け……73

普通刺しゅう縫い

☆布の張り方……74～75
☆刺しゅう枠のとりつけ方……75
◎標準メモリーカードによる普通刺しゅう縫い…76～82
☆文字の選び方と操作キー……76
☆ひらがなと漢字の組み合わせ縫いの例(よこ)…77
☆つづけて同じ文字を他の位置へ縫う場合……78
☆ひらがなと漢字の組み合わせ縫いの例(たて)…78
☆「色替」「頭出し」「枠」キーの使い方……79
☆ゴシック体大型文字縫いの例……80
☆ゴシック体(小文字)縫いの例……80
☆スクリプト体組み合わせ縫いの例……81
☆オールドイングリッシュ文字縫いの例……81
☆組み合わせするときに知っておきたいこと……82
☆糸調子の合わせ方……82
◎キャラクターシリーズ(WOO WOO PARADISE)
別売品による普通刺しゅう縫い……83～86
☆模様の選び方……83
☆模様の縫い方……84
☆スキップ縫い……85
☆糸切れのときの直し方……86
☆OKモニター……86

編集刺しゅう縫い

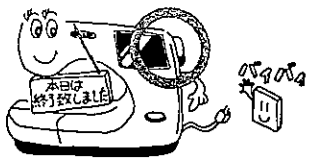
☆別の模様との組み合わせ……87～89
☆同じ模様の組み合わせ……89
☆他のカードの模様との組み合わせ……90～91
☆他の文字との組み合わせ……92～93
◎大型模様メモリーカードNo1～16(別売品)による
刺しゅう縫い……94～97
☆模様の選び方……94
☆大型模様の縫い方（色替して縫う場合）…95～96
☆「色替」キーを使用しない場合(一色の糸で縫う場合)…97
◎丸形刺しゅう枠(別売品)と布の張り方……98
◎スケッチランド(別売品)マイデザインカード
による刺しゅう縫い……99

ミシンの手入れと調整

☆かまの掃除、かまの分解……100
☆かまと送り歯の掃除、かまの組立て……101
◎ミシンの調子が悪いときの直し方……102～104

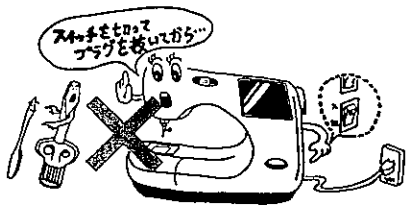
●おとり扱いについてのお願い

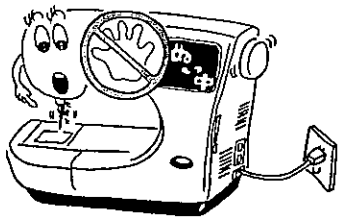
☆より安全のために



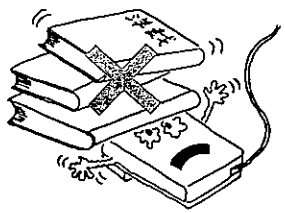
①次のようなときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

■使用後
■ミシンのそばを離れるとき
■ミシン運転中に停電したとき
■針の周辺でいろいろな作業、たとえば糸通し、針の交換下糸交換、および部品の取付け、取外しをするとき
■ミシンの手入れをするとき

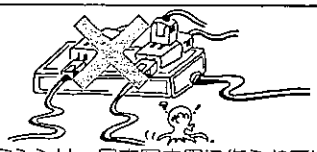




②ミシンを動かしているとき、針から目を離さないように注意し、はずみ車、天びん、針などに手を触れないでください。

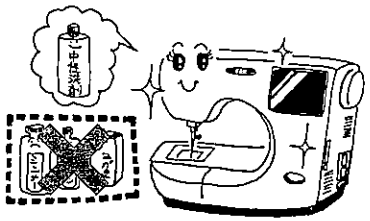


③コントローラーの上には物をのせないでください。



④たこ足配線は危険ですからやめましょう。

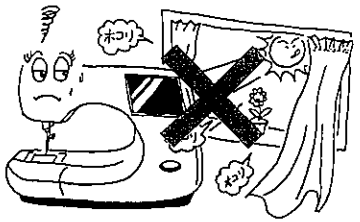
☆ご使用の前に



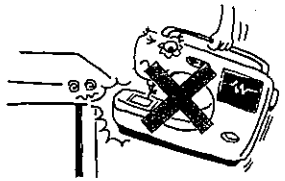
①ほこりや油などで縫う布を汚さないように、使う前にミシンを乾いたやわらかい布でよく拭いてください。シンナー、ベンジン、ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

②ミシンはこの使い方の手引きを見て、正しくお使いください。

☆いつまでもご愛用いただくために

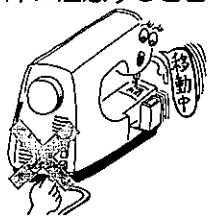


①長時間日光に当てたり、湿気の多いところは避けてください。



②落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

☆運転中に注意すること

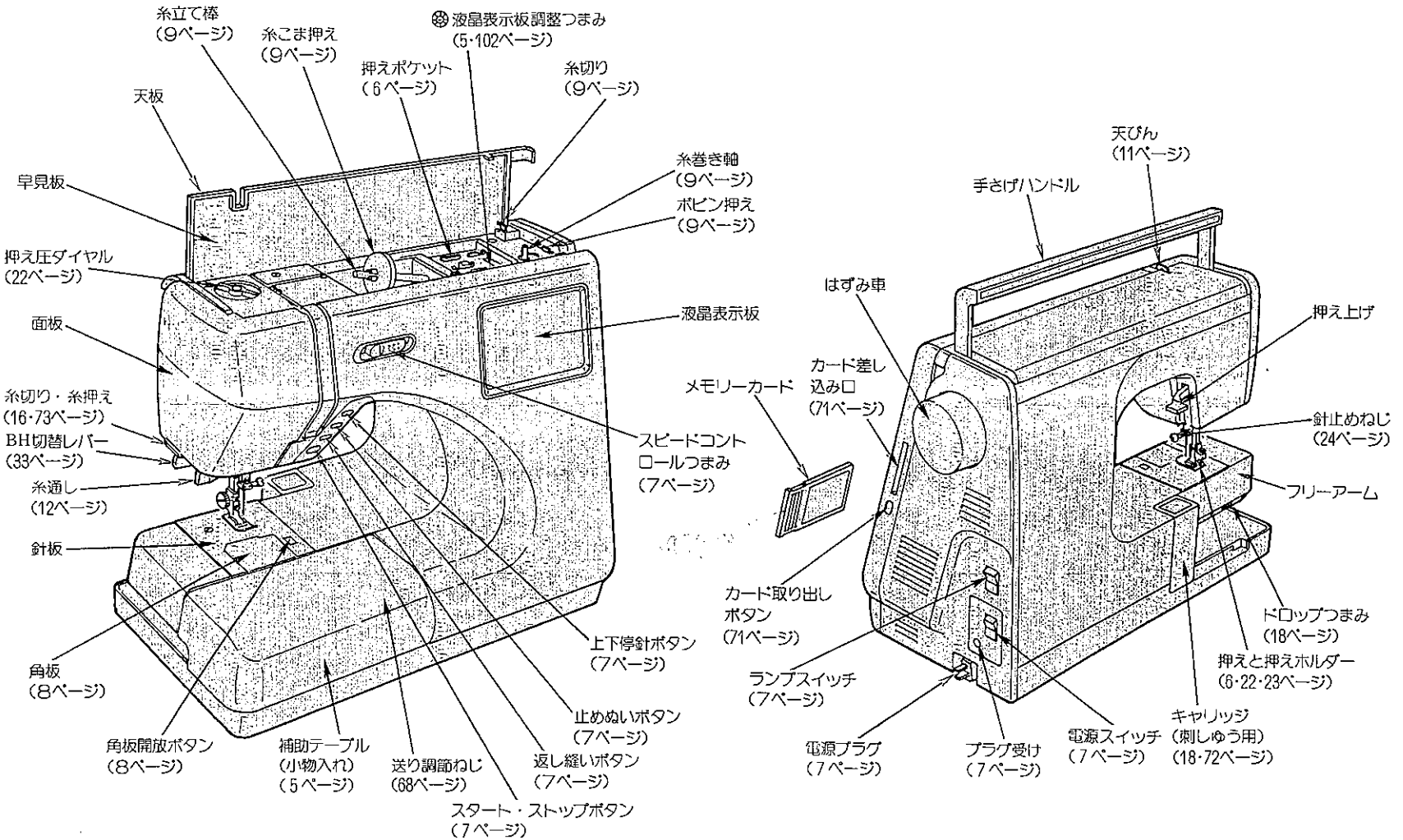


①キャリッジでの送り歯上げ、下げの動作中は、電源スイッチを切らないでください。

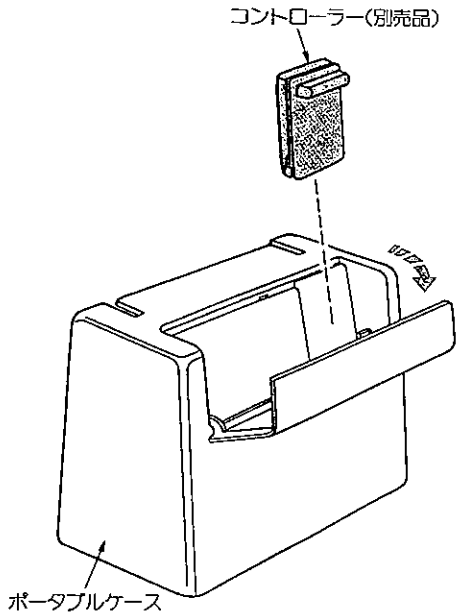
㊟このミシンは、日本国内用に作られていますので、外国では使用できません。
(This sewing machine can not be used in foreign country as designed for Japan only.)
仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

●修理、調整についてのご案内
万一不調になったり、故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(102〜104ページ)により点検調整を行なってください。

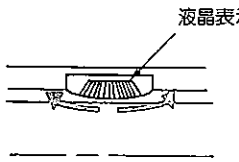
各部の名まえ


糸立て棒
(9ページ)
糸こま押え
(9ページ)
液晶表示板調整つまみ
(5・102ページ)
押えポケット
(6ページ)
糸切り
(9ページ)
天板
糸巻き軸
(9ページ)
ボビン押え
(9ページ)
早見板
押え圧ダイヤル
(22ページ)
液晶表示板
面板
糸切り・糸押え
(16・73ページ)
BH切替レバー
(33ページ)
スピードコントロールつまみ
(7ページ)
糸通し
(12ページ)
針板
上下停針ボタン
(7ページ)
角板
(8ページ)
止めぬいボタン
(7ページ)
角板開放ボタン
(8ページ)
補助テーブル
(小物入れ)
(5ページ)
送り調節ねじ
(68ページ)
返し縫いボタン
(7ページ)
スタート・ストップボタン
(7ページ)
天びん
(11ページ)
手さげハンドル
はずみ車
押え上げ
メモリーカード
カード差し込み口
(71ページ)
針止めねじ
(24ページ)
フリーアーム
ドロップつまみ
(18ページ)
カード取り出しボタン
(71ページ)
押えと押えホルダー
(6・22・23ページ)
ランプスイッチ
(7ページ)
キャリッジ
(刺しゅう用)
(18・72ページ)
電源スイッチ
(7ページ)
電源プラグ
(7ページ)
プラグ受け
(7ページ)

ポータブルケース

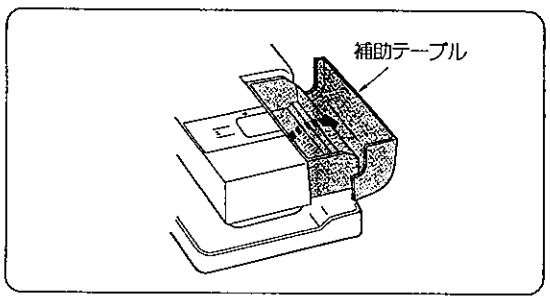


液晶表示板調整つまみ

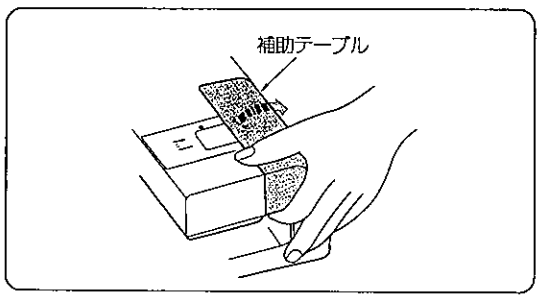


○つまみをまわすと液晶表示板のあかるさが変わります。

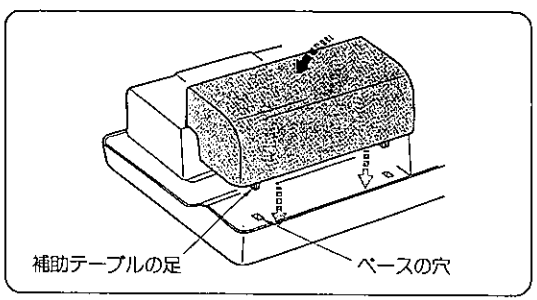
《補助テーブルのはずし方、つけ方》



○補助テーブルをひらくと、小物入れに標準付属品が収納できます。

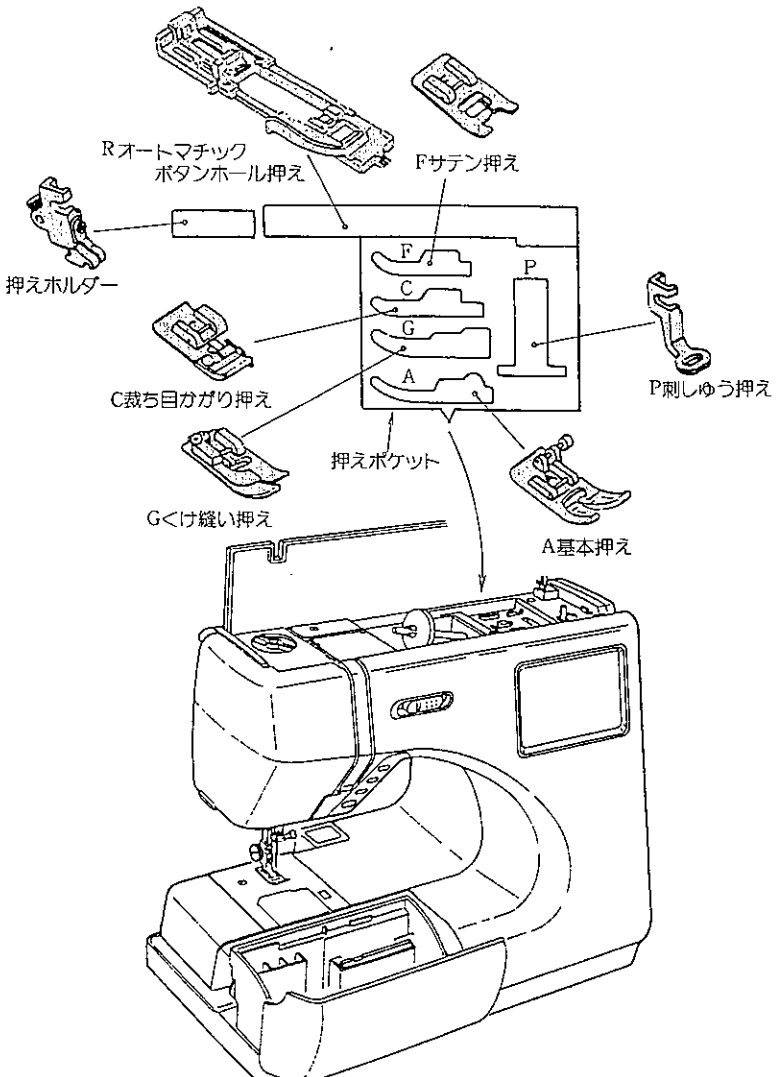


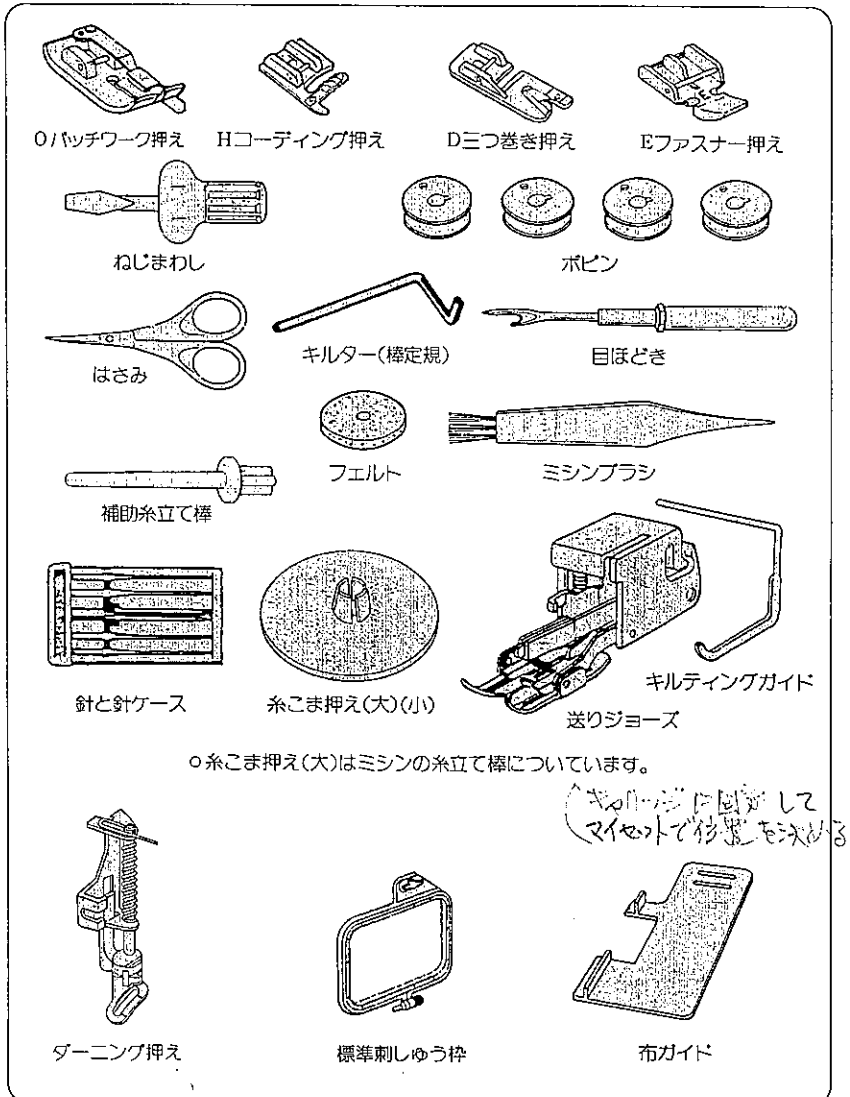
○はずすときは、補助テーブルを閉じて、下側に手をかけて持ちあげます。



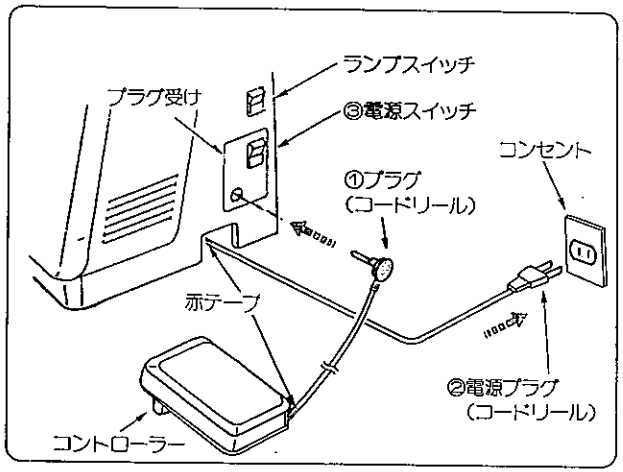
○つけるときは、ベースの穴に補助テーブルの足をのせて上から軽く押しつけます。

標準付属品


Rオートマチック
ボタンホール押え
Fサテン押え
押えホルダー
F
C
G
A
P
C裁ち目かがり押え
P刺しゅう押え
押えポケット
Gくけ縫い押え
A基本押え


Oパッチワーク押え
Hコーディング押え
D三つ巻き押え
Eファスナー押え
ねじまわし
ボビン
はさみ
キルター(棒定規)
目ほどき
フェルト
ミシンブラシ
補助糸立て棒
針と針ケース
糸こま押え(大)(小)
キルティングガイド
送りジョーズ
○糸こま押え(大)はミシンの糸立て棒についています。
(キャリーバッグに関連して
マイセットで形態を決める)
ダーニング押え
標準刺しゅう枠
布ガイド

電源をつなぎましょう



①スタート・ストップボタンを使用する場合
電源スイッチを「切」にして、②の電源プラグをさしこみます。

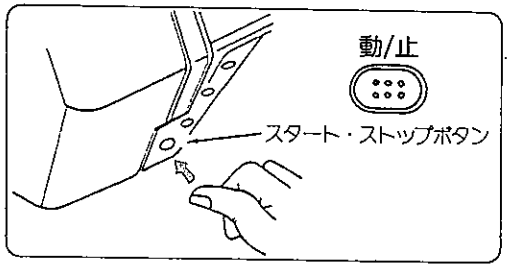
②コントローラー(別売品)を使用する場合
電源スイッチを「切」にして、①、②の順に、プラグをさしこみます。

③電源スイッチとランプスイッチを「入」にします。

*コントローラーのプラグ（上図①）をさしこむと、スタート・ストップボタンは、使用できません。
*電源は、一般家庭用（100V 50／60Hz）です。
*ミシンを使わないときは、電源プラグやコントローラーのプラグを抜いてください。
*電源プラグやコントローラーのコードリールは、赤テープの印より引き出さないでください。
*電源スイッチの「入」「切」の操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。

速度の調節になれましょう

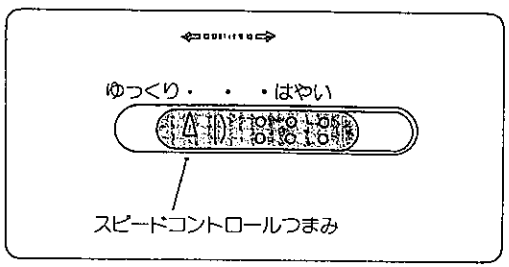
☆スタート・ストップボタン



ボタンを押すと、ミシンは数針ゆっくりと縫ってから、スピードコントロールつまみでセットした速さで縫いはじめます。

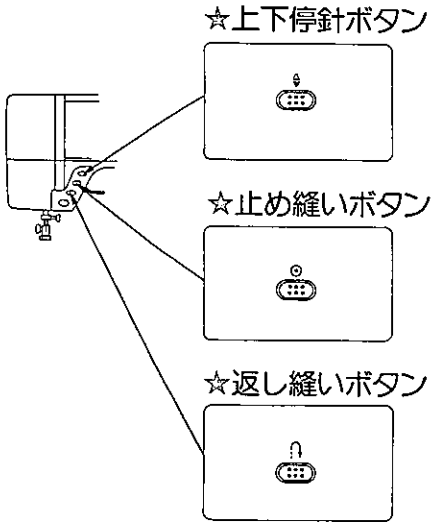
*スタートさせると、ボタンのシグナルが「緑」から「赤」に変わります。

☆スピードコントロールつまみ



*縫う速さは、スピードコントロールつまみで自由にセットできます。
*ゆっくりの時、モータ保護のために安全装置がはたらく事があります。この場合は少し速めにしてお使いください。

針の上下と止め縫い・返し縫い



☆上下停針ボタン

○ボタンを押すと、針が上位置か下位置で止まります。もう一度押すと、上下位置が切り替わります。

☆止め縫いボタン

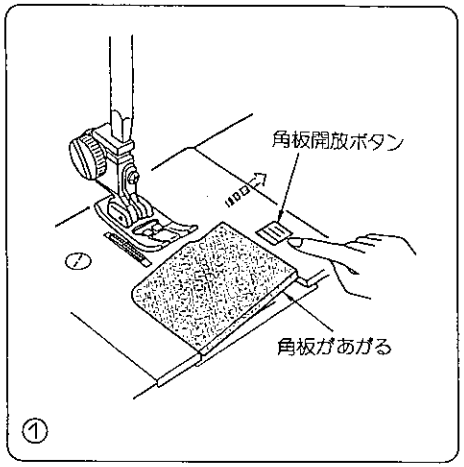
○模様 は、ボタンを押すと数針止め縫いをして自動的に止まります。他の模様縫いのときは、模様を最後まで縫い止め縫いをして自動的に止まります。

☆返し縫いボタン

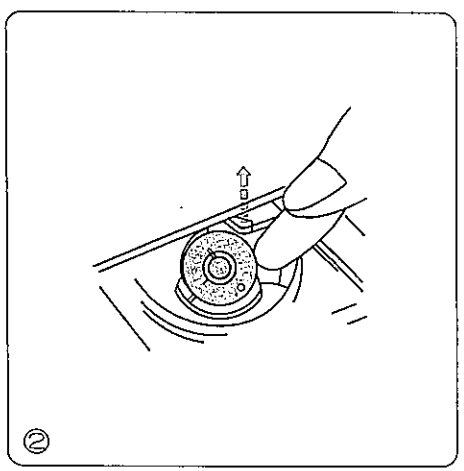
○模様 は、ボタンを押している間は返し縫いをします。その他の模様のときには止め縫いをして自動的に止まります。

下糸の準備をしましょう

☆ボビンをとり出します



①角板開放ボタンを右へずらして角板をはずします。



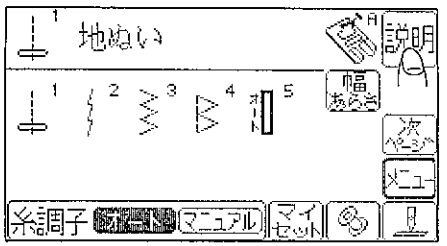
②ボビンをとり出します。

☆説明キーの使い方

＊ぬう前の準備、適した布・針・糸・押え圧、ぬい方楽々選び、模様の用途の説明画面を表示させるときに使用します。

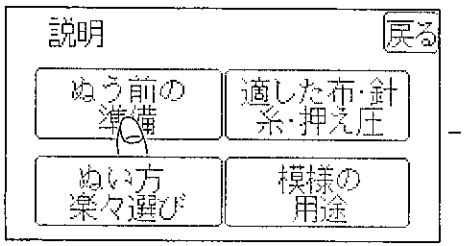
☆ぬう前の準備キーの使い方　例．下糸巻き

①模様を選択し説明キーを押します。

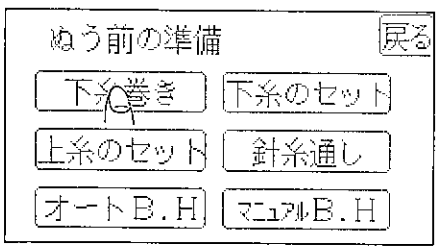


(例)模様１（直線縫い)表示画面

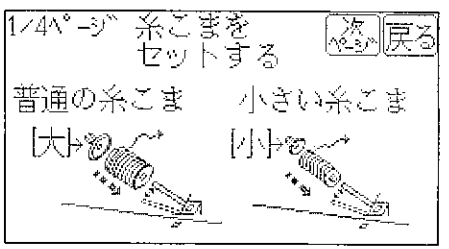
②説明の表示に変わりますのでぬう前の準備キーを押してください。



③ぬう前の準備表示に変わりますので下糸巻きキーを押してください。



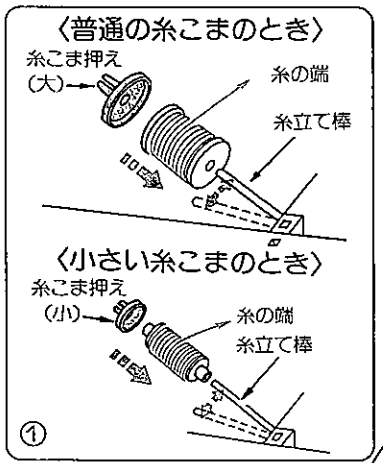
④糸こまをセットする表示に変わります。



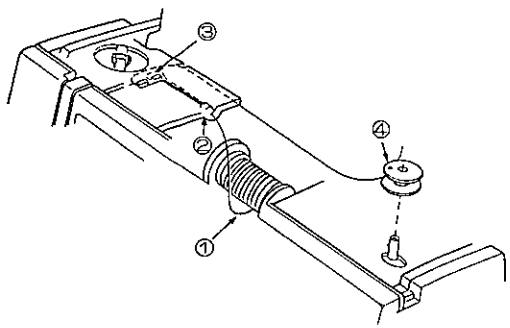
(説明のページが４画面ありますので次ページキーを押して表示させてください。)

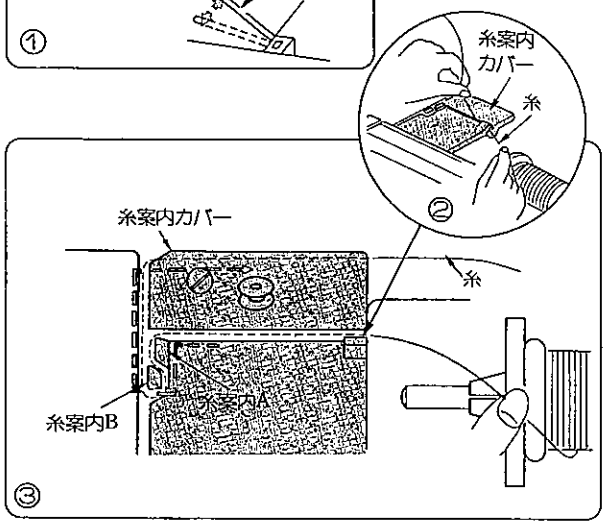
⑤画面を戻すときは、戻るキーを押します。

☆ボビンに糸を巻きます



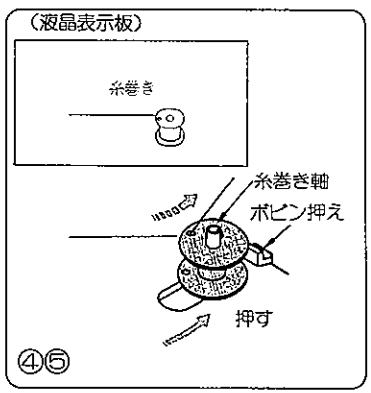
①糸立て棒を軽くおこし、糸の端が手前から向こう側に出るようにして、糸こまを入れます。
糸こま押えで糸こまをおさえたら、糸立て棒をもとに戻します。
＊補助糸立て棒を使うときは、糸こまから引き出した糸を②、③、④の順に掛けます。
（補助糸立て棒のとりつけ方は、 56ページをごらんください。）



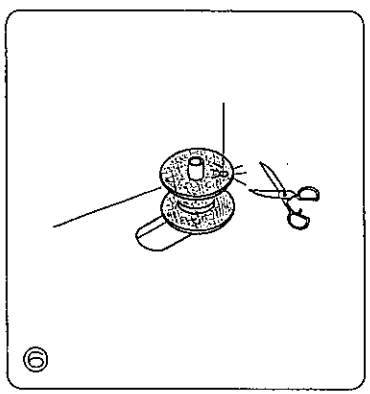


②糸案内カバーのすきまに糸を通します。

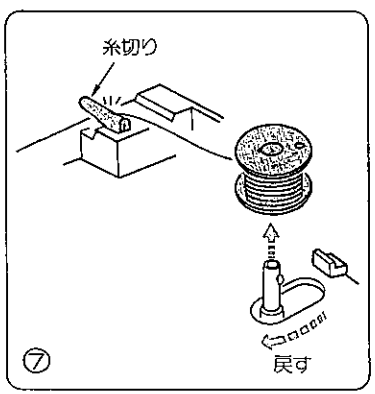
③糸案内Aと糸案内Bに糸をまわし、糸案内カバーに掛けて右に糸を引き出します。



④ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸にさしこみます。
⑤ボビンを、ボビン押えの方に押しつけます。

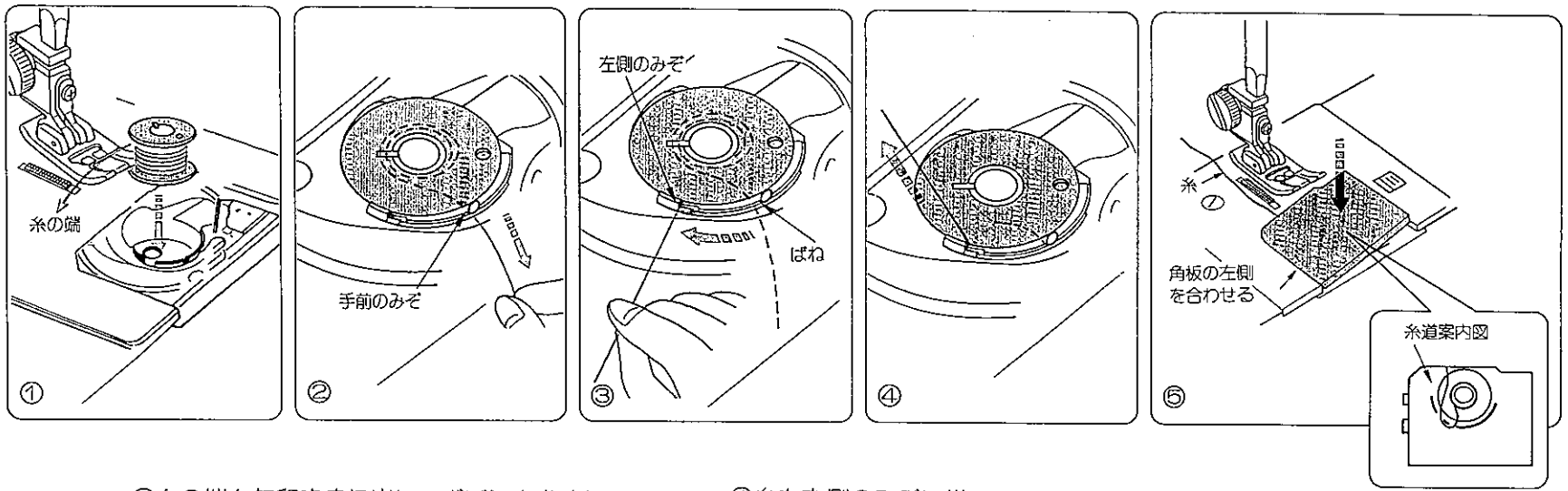


⑥糸の端をつまんだまま、スタートして、ボビンに糸が三重くらい巻きついたら、止めて糸を切ります。



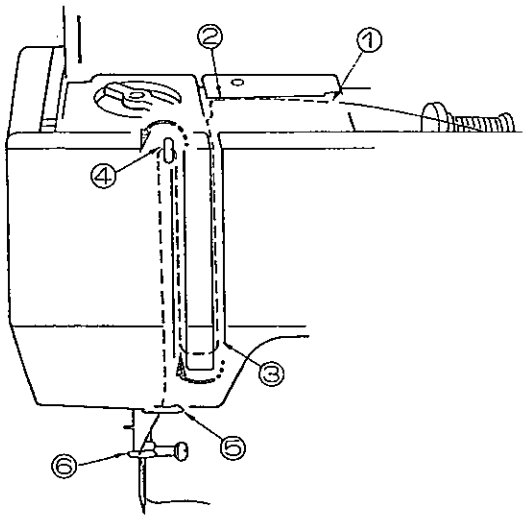
⑦ふたたびスタートして、巻きおわるとボビンの回転が止まります。
ミシンを止め、糸巻き軸よりはずして糸切りで糸を切ります。

☆ボビンをかまにセットします（説明画面の「下糸のセット」キーを押すとセットの仕方がわかります。8ページ参照）

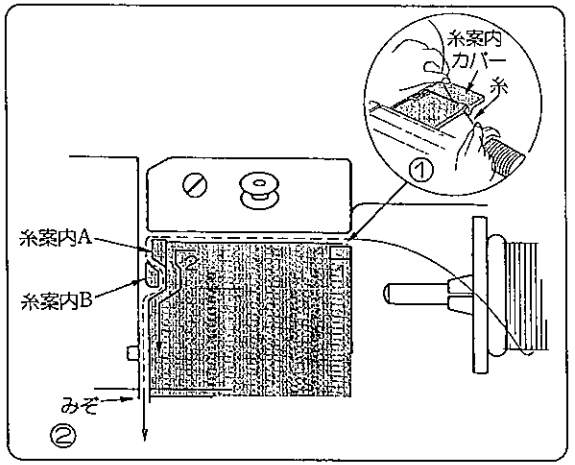


①糸の端を矢印方向に出し、ボビンをかまに入れます。
②糸の端を引きながら、手前のみぞに掛けます。
③糸を引きながら、左へ移動させ、みぞの外側とばねの間を通して、左側のみぞのところに出します。
④糸を左側のみぞに掛けるように向こう側に出します。
⑤下糸は10㎝くらい引き出して、角板を左側から合わせてつけます。

上糸の準備をしましょう



☆上糸を掛けます

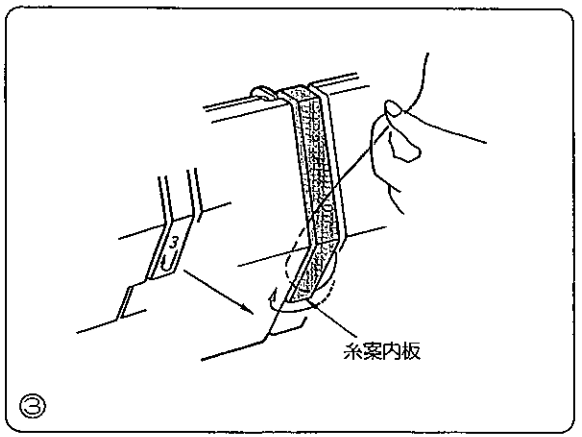


説明画面の「上糸のセット」キーを押すと上糸の掛け方がわかります。(8ページ参照)

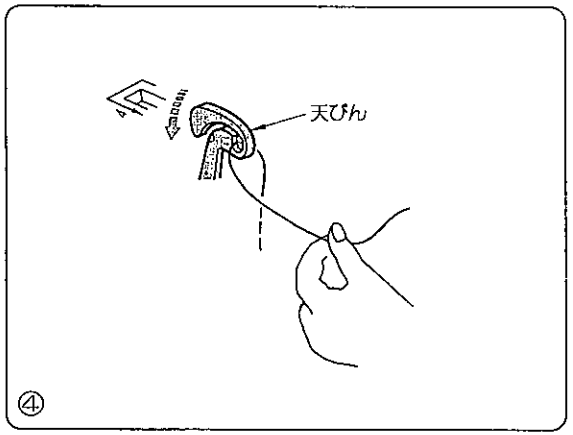
①糸こまからの糸を両手でぴんと持ち、下に押しこむようにして糸案内カバーのすきまに通します。

②糸案内Aと糸案内Bに糸をまわし、みぞにそって手前に糸を引き出します。

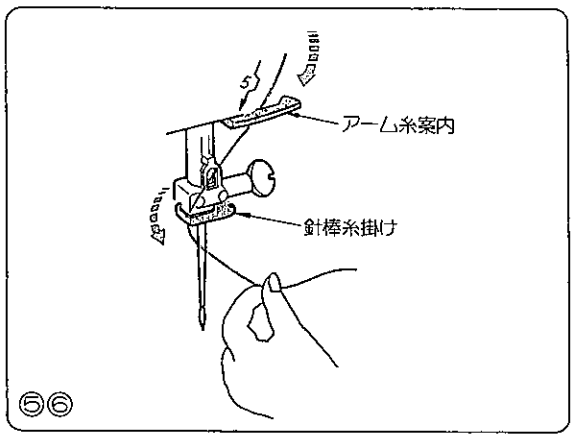
＊このミシンには、上糸切れ検出装置が付いていますので、上糸を掛けないで動かすと、10回転ぐらいでミシンは自動的に止まります。



③糸案内板の下をまわして、左上に引きあげます。

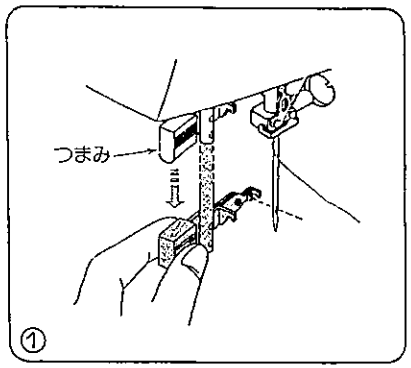


④天びんに、右からうしろへまわして左手前に出し、まっすぐにおろします。



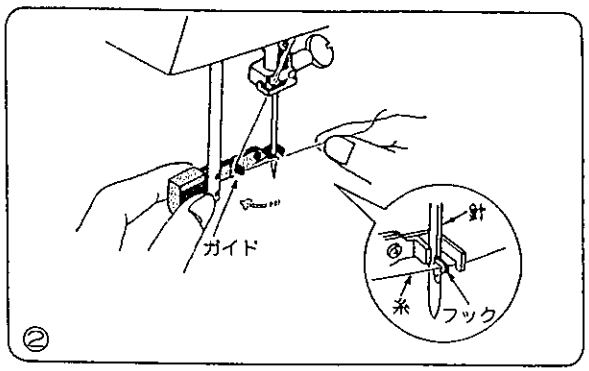
⑤アーム糸案内に右から掛け、
⑥針棒糸掛けに左から掛けます。
⑦糸通しを使って針に糸を通します。(糸通しの使い方は、12ページをごらんください。)

☆糸通しを使って針に糸を通します（説明画面の「針糸通し」キーを押すとセットの仕方がわかります。8ページ参照）

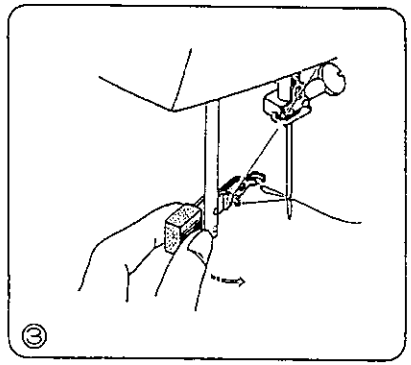


①針を上げて、糸通しつまみを止まるまでいっぱいにさげます。

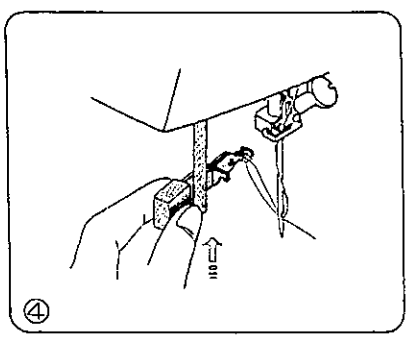
＊針があがっていることを確かめましょう。



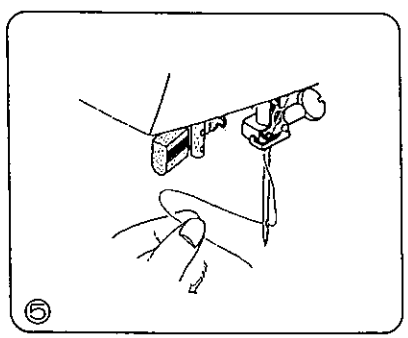
②つまみを矢印方向へまわしてフックを針穴に入れます。糸をガイドとフックに掛けます。



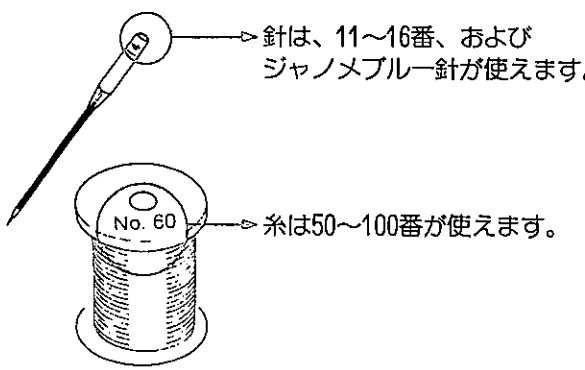
③つまみを矢印方向に引くと糸が輪になって出てきます。



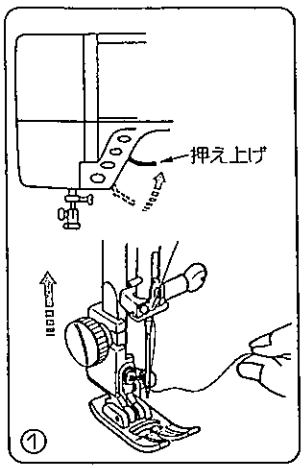
④つまみを静かに押しあげ、糸の輪を引きあげます。



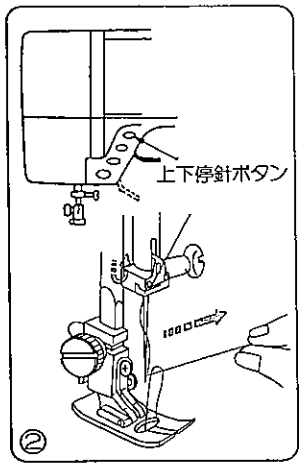
⑤糸の輪を糸通しからはずし、針穴から端を引き出します。



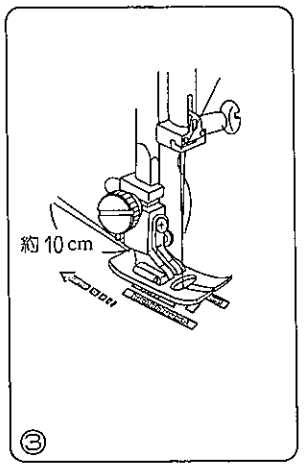
☆下糸を引きあげます



①押え上げをあげます。上糸の端を、ゆるめて持ちます。



②上下停針ボタンを2度押して、針をあげます。上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

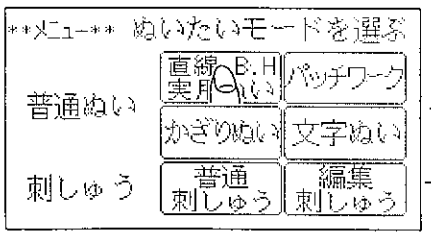


③上糸と下糸を、押えの下から向う側に引き出して、そろえておきます。

模様の選び方(普通縫い)

☆「直線・BH・実用縫い」モードキーの使い方

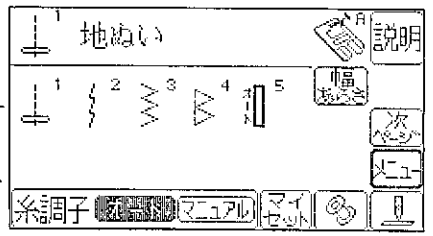
①電源スイッチを入れると、メニュー画面が表示され、数秒後、自動的に直線縫いにセットされます。



数秒後

メニュー キーを押すと

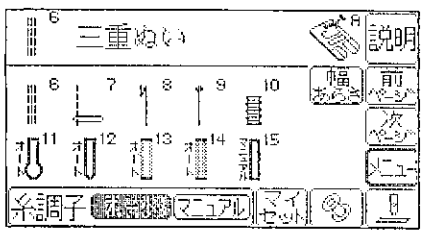
②模様1～5が表示され選べます。



次ページ キーを押すと

前ページ キーを押すと

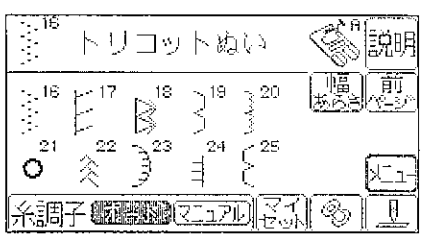
③模様6～15が表示され選べます。



次ページ キーを押すと

前ページ キーを押すと

④模様16～25が表示され選べます。

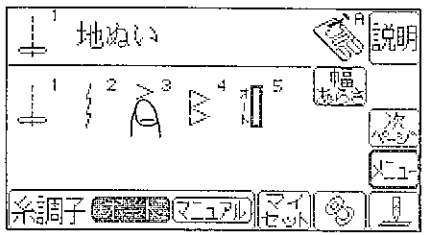


*他のモードを選ぶときには「メニュー」キーを押してメニュー画面を表示させて選びます。

*かざりぬいの選び方（48ページ参照）
*文字ぬいの選び方（57ページ参照）
*パッチワークの選び方（64ページ参照）

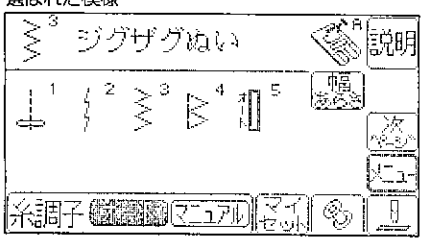
(例) 模様3を選ぶとき

①模様表示中央部を押して選ぶと……。



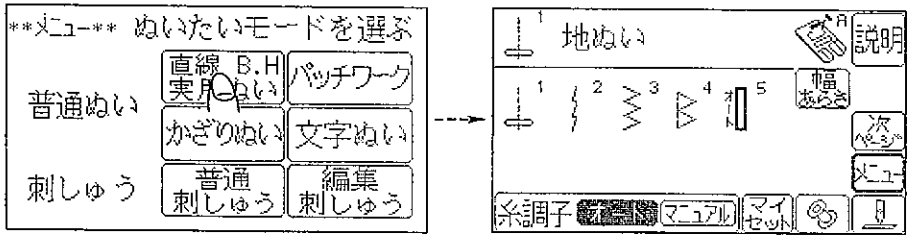
②選ばれた模様3の表示にかわります。

選ばれた模様



直線縫い

電源スイッチを入れると、メニュー画面が表示され、数秒後、自動的に直線縫いにセットされます。

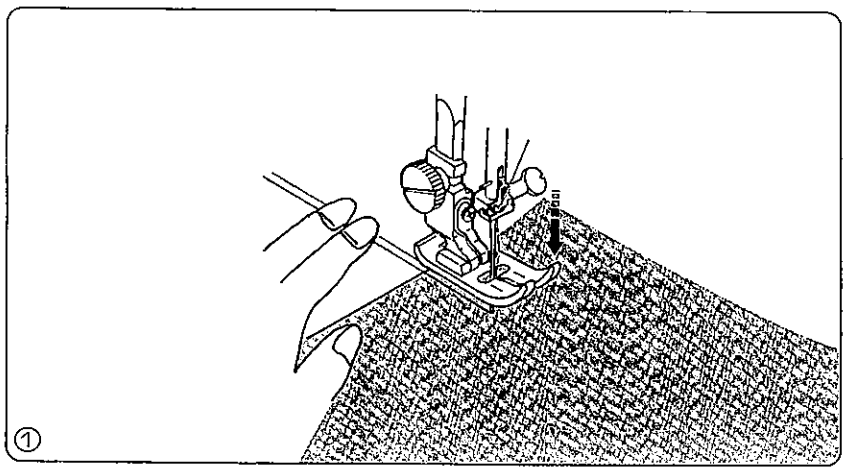


☆上下停針キー……キーを押すことに、上停針、下停針を登録できます。(16ページ参照)

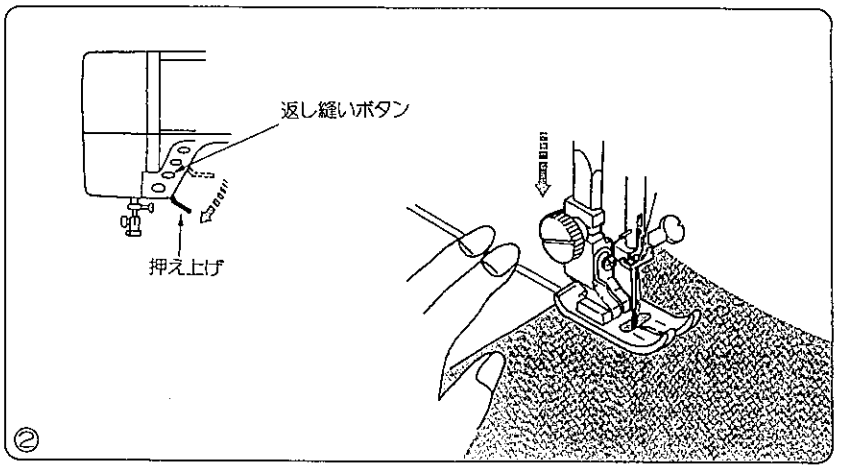
☆下糸残量キー……キーを押すと、下糸の量が確認できます。(27ページ参照)

☆マイセットキー……オート糸調子レベル調節などができます。(21ページ参照)
布ガイド距離調節。(17ページ参照)
送り歯の上げ、下げ。(18ページ参照)
フリーアームの長さ調節。(18ページ参照)

☆縫いはじめ



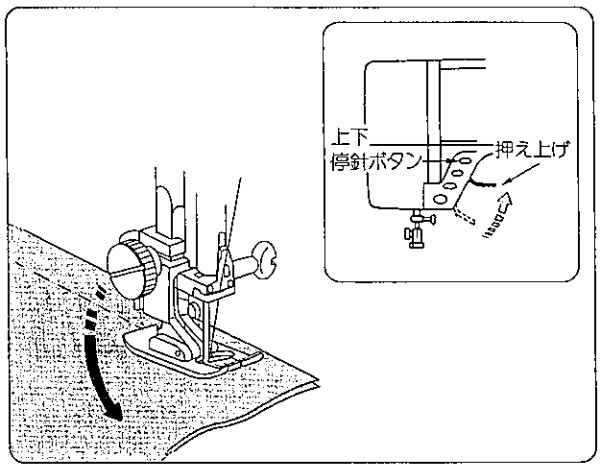
①糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手前にまわして、縫いはじめの位置に針をさします。



②押え上げをさげて、スタート・ストップボタンを押し、ゆっくり縫いはじめます。

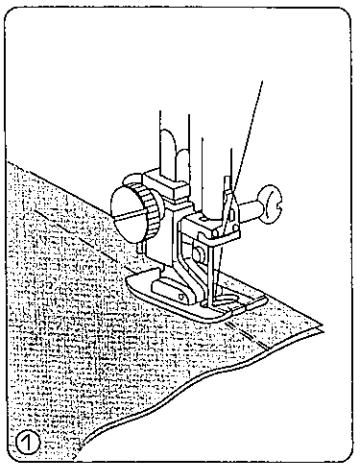
＊縫いはじめは、返し縫いボタンを押しながら返し縫いをする方法と、自動返し縫いのついた模様を使う方法とがあります。
(25ページ参照)

☆縫い方向をかえるには



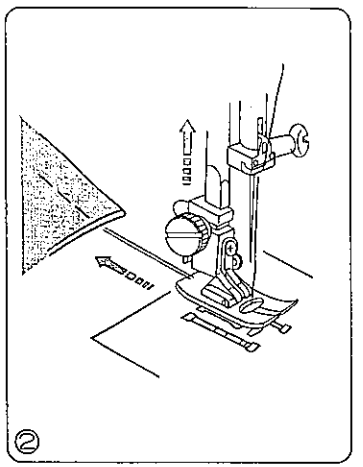
ミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を布にさし、押え上げをあげます。
針を布にさしたまま、縫い方向をかえて押え上げをさげ、スタート・ストップボタンを押して、ふたたび縫いはじめます。

☆縫いおわりの返し縫い

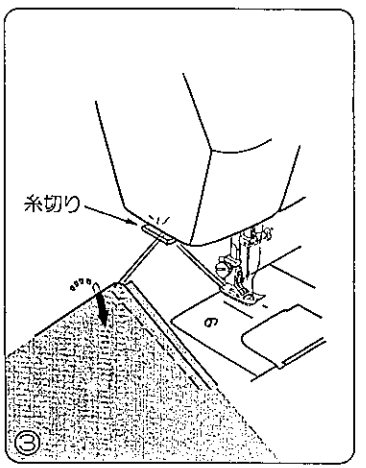


①返し縫いボタンを押しながら数針返し縫いをします。

＊模様 のときは、返し縫いボタンを1度押すだけで、自動的に返し縫いをします。
（25ページ参照）

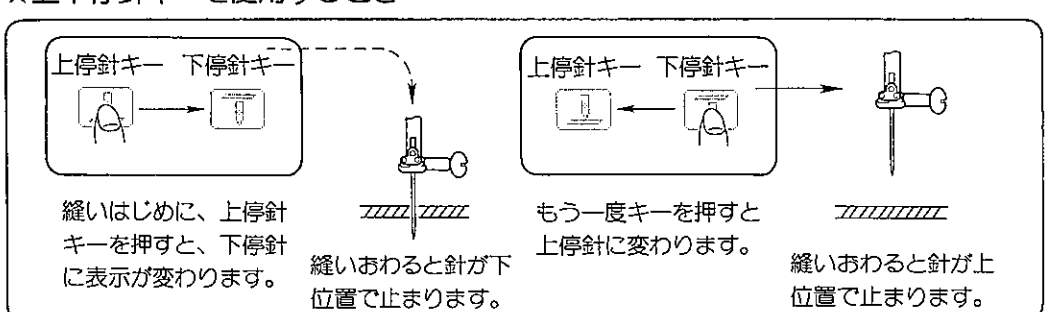


②押え上げをあげて、布を向こう側に、静かに引き出します。

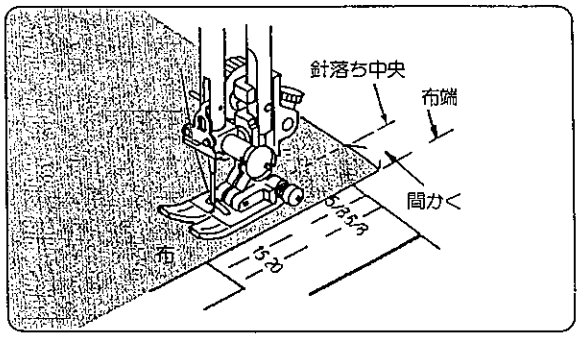


③布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

☆上下停針キーを使用するとき



☆針板ガイドラインの利用

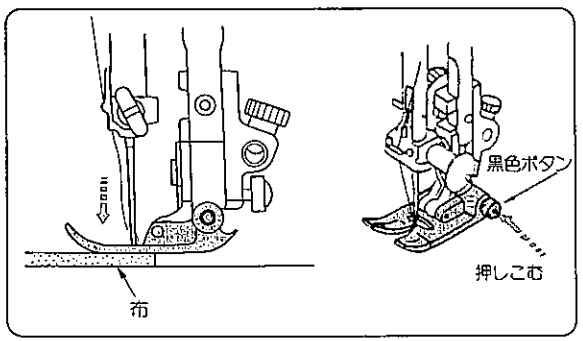


布端を針板のガイドラインに合わせて縫います。

＊数字は、針落ち中央から布端までの間かくです。

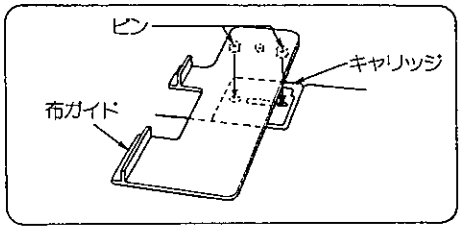
数　字	15	20	4/8	5/8	6/8
間かく（cm）	1.5	2.0	1.3	1.6	1.9

☆厚手の布端の縫いはじめ



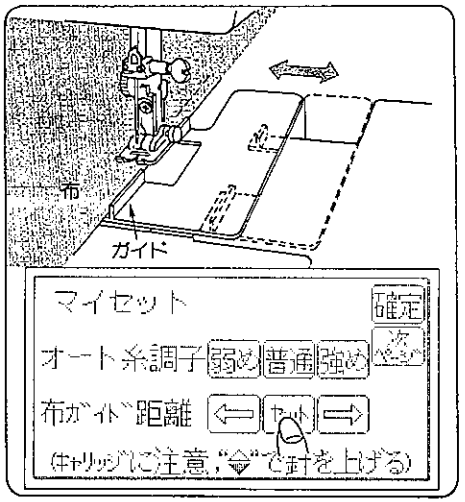
①縫いはじめの位置に針をさし、基本押えの黒色ボタンを押しこみます。
②ボタンを押したままで押え上げをさげます。
③ボタンから手をはなし、縫いはじめます。

☆布ガイドの使い方



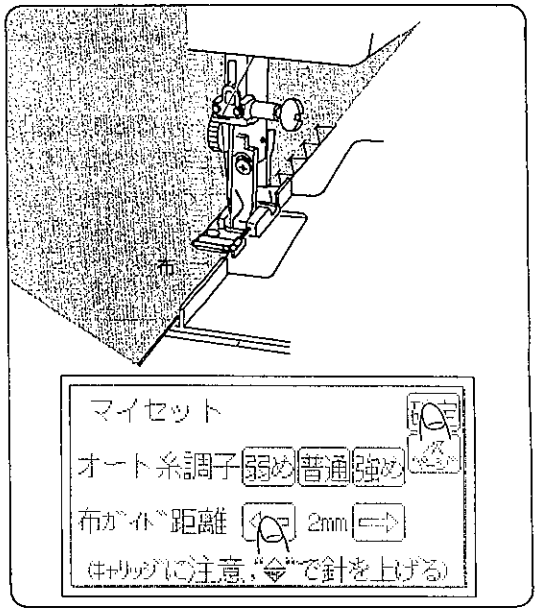
《とりつけ方》
布ガイドのピンをキャリッジの穴に差込みます。

＜ガイド距離の設定＞



①「マイセット」キーを押し、マイセット画面を表示させます。
②布ガイド距離「セット」キーを押してオート値15㎜にセットします。
（15㎜は針落ち中央からガイドまでの距離です）
③[←][→]キーを押して、ガイド距離をセットします。
④「確定」キーを押します。

＜かがり縫いの使い方＞



①模様4を選び、かがり縫い押えを使います。
②「マイセット」キーを押して、布ガイド距離[←]キーで距離を2㎜にセットします。
（セットしたら「確定」キーを押す）
③スタートして縫います。布をガイドしてくれるので楽に縫うことができます。

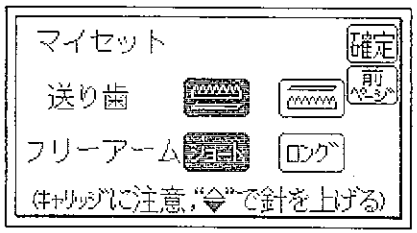
＊ガイドをつけているときの注意
刺しゅうぬいに切り換えるときや、送り歯上下キーを操作するときには、布ガイドを外して下さい。

＊布ガイドをもとに戻すときは[セット]表示がでるまで[→]キーを押し続けます。

☆送り歯のさげ方

○つくろい縫いや、フリーハンド刺しゅうなどで送り歯をさげるときは2通りの方法があります。

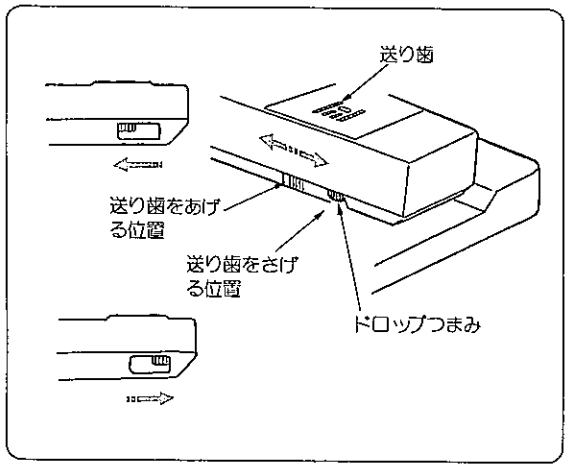
①[マイセット]キーを押して、マイセット画面の[送り歯]キー（送り歯をあげる）、[送り歯]キー（送り歯を下げる）を押す方法。



マイセット画面

*針がさがっている場合は上下停針,"針"ボタンで針を上げておきます。又、キャリッジが左へ移動しますので注意してください。

②ドロップつまみを手で動かす方法

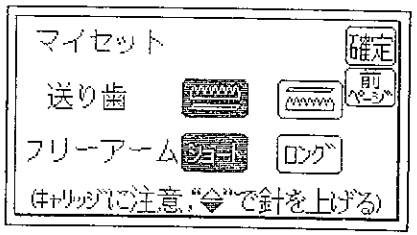


*自動的に送り歯がさがるとき……。
「パッチワーク」のフリーキルトキーを押したとき。
「普通刺しゅう」または「編集刺しゅう」キーを押したとき。

☆フリーアームの長さ調節

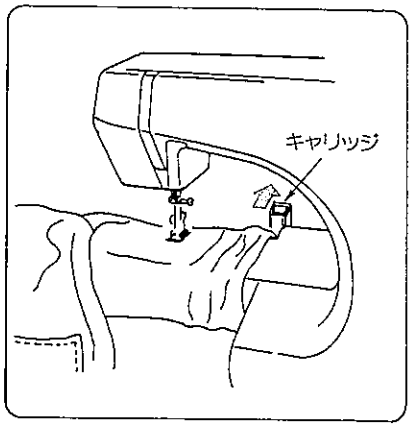
○[マイセット]キーを押して、マイセット画面のフリーアームショート、ロングキーを押すと、フリーアームの長さが調節できます。

マイセット画面



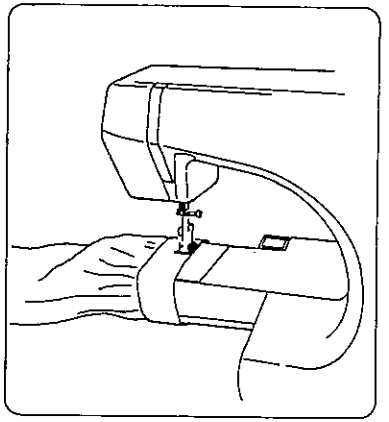
*針がさがっている場合は上下停針,"針"ボタンで針を上げておきます。又、キャリッジが移動しますので向う側に物がないか注意してください。

[ロング]キーを押したとき



○ズボンのひざ及び服のひじなどのつくろい縫いなどに利用します。

[ショート]キーを押したとき

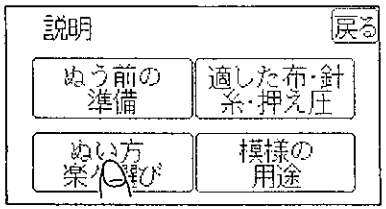


○袖口や裾などの縫い及び袋物の口端の始末に利用します。

☆「ぬい方楽々選び」キーの使い方

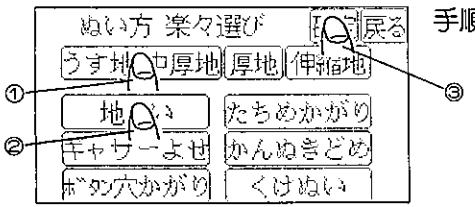
○布地にあった縫い方の模様をおしえてくれます。

①説明画面の「ぬい方楽々選び」キーを押します。



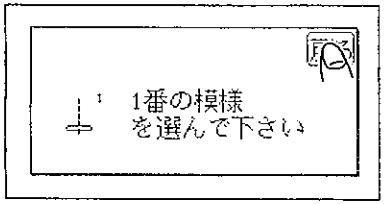
＊画面表示が変わります。

②各布地キー、縫い方キー、確定キーの順に押します。



手順①②③

③模様をおしえてくれます。

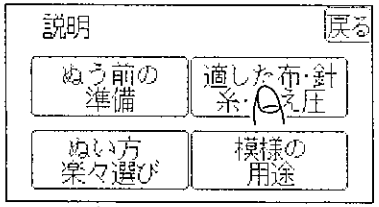


④「戻る」キーを押して画面を戻します。

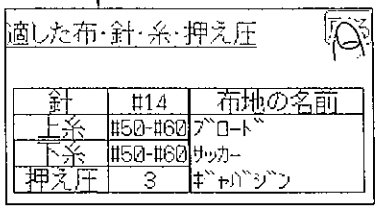
☆「適した布・針・糸・押え圧」キーの使い方

○模様にあった布・針・糸・押え圧をおしえてくれます。

①説明画面の「適した布・針・糸・押え圧」キーを押します。



＊画面表示が変わります。



②「戻る」キーを押して画面を戻します。

布に適した糸や針を選ぶ目安

＊説明画面の「適した布・針・糸・押え圧」キーで確認することができます。(19ページ参照)

布の厚さ	布の種類				糸	針
	木綿	絹	ウール・化繊織物	ニット		
うすい布	ローン ボイル	シフォン ジョーゼット オーガンジー	デシン クレープ モスリン	スムーズニット地 トリコット地	絹糸 80番～100番 綿糸 80番～100番 化繊糸 80番～100番	9番～11番
普通の布	ブロード サッカー ピケ	タフタ ファイユ サテン	ジョーゼット フラノ サキソニー	ジャカードニット地	絹糸 50番 綿糸 60番～80番 化繊糸 50番～80番	11番～14番
					綿糸 50番	14番
厚い布	デニム キルティング ギャバジン		ツィード ギャバジン コート地	ダブルニット地	絹糸 50番 綿糸 40番～50番 化繊糸 40番～50番	14番～16番
					絹糸 30番 綿糸 30番	16番

＊ふつう上糸と下糸は同じ糸を使います。
＊うすい布には細い糸と針、厚い布には太い糸と針を使いましょう。
＊糸調子は [オート] にセットされています。ごくうすい布を縫う時はマイセットのオート調子「弱め」に合わせてください。

＊針や糸は、実際に縫う布のはぎれを使って、必ず試し縫いをして確かめてみましょう。

＊ジャノメブルー針は、柄の部分が青色をしています。伸縮性のある布(ニット地)や、目とびしやすい合・化繊地に効果があります。

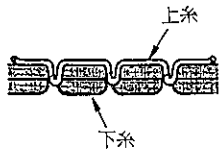
糸調子の合わせ方

このミシンは、模様ごとにバランス良く縫える糸調子に自動的にセットされるコンピュータ糸調子を内蔵しています。

《バランスのとれた糸調子》

○直線縫いのときは、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。

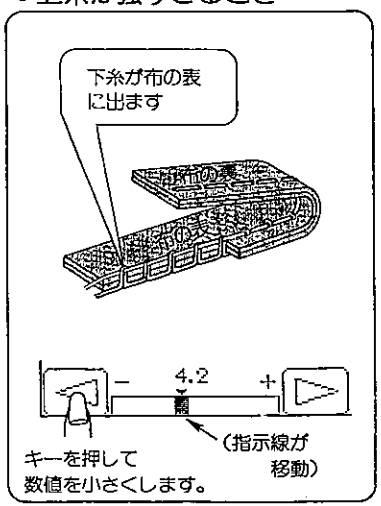
○ジグザグ縫いのときは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。



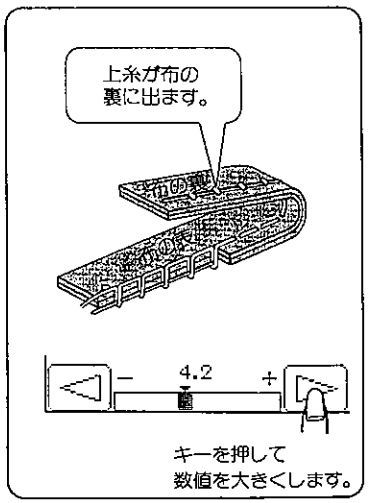
☆マニュアル糸調子

糸や布の種類によって糸調子のバランスがとれないときにはマニュアルキーを押して調節できます。

●上糸が強すぎるとき



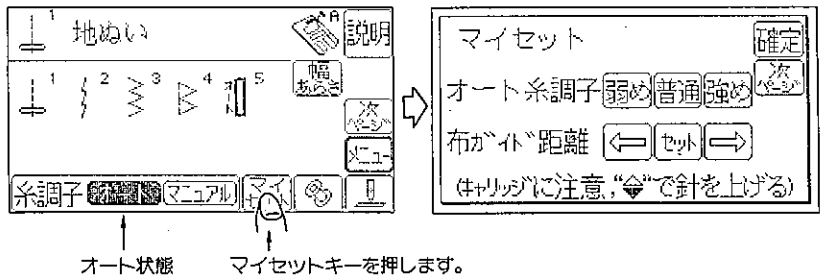
●上糸が弱すぎるとき



*▼印はオートの位置を表示しています。

☆オート糸調子のレベル変更

糸調子がオート状態のとき [マイセット] キーで糸調子レベルを変えることができます。



○通常はオート糸調子のレベルを「普通」にセットします。

○縫われる布、糸によっては、糸調子が強過ぎて弱めたい場合があります。このような場合、オート糸調子のレベルを「弱め」にセットしてください。

○糸調子が弱過ぎる場合には、オート糸調子のレベルを「強め」にセットしてください。

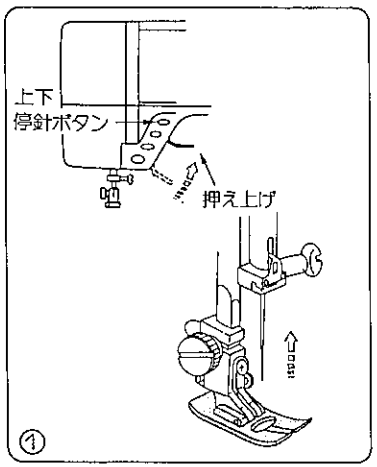
○オート糸調子のレベルを変更してから「確定」キーを押します。

*オート糸調子のレベル変更の内容はミシンを使用しない状態でもそのまま記憶保存されます。

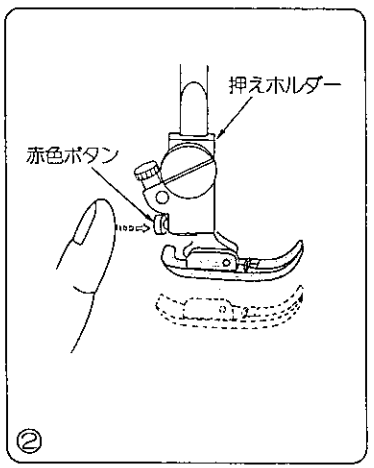
*刺しゅう縫いも同じです。(マイセット画面表示は、オート糸調子のみ)

押えのとりかえ

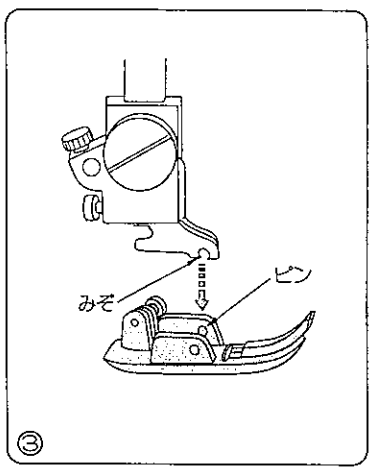
☆押えのとりはずし方、つけ方



①針をあげ、押え上げをあげます。

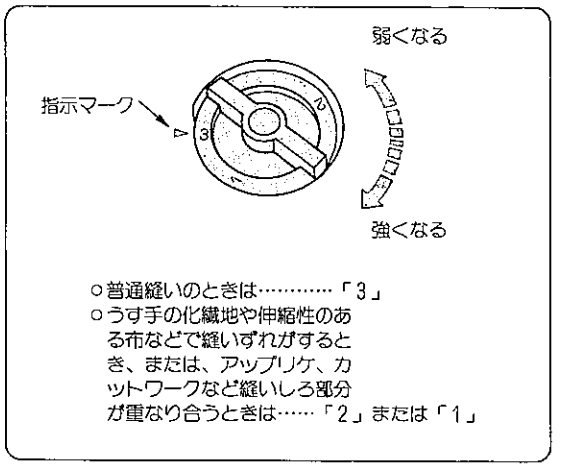


②押えホルダーの赤色ボタンを押して、押えをはずします。

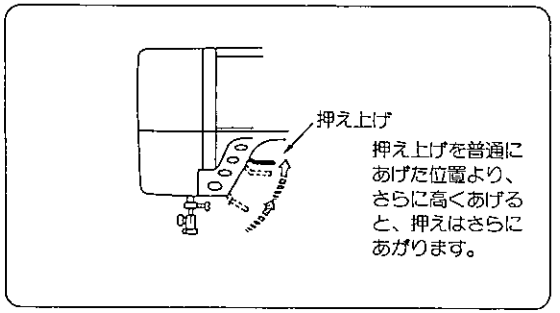


③押えのピンを押えホルダーのみぞの真下において、押え上げをおろします。

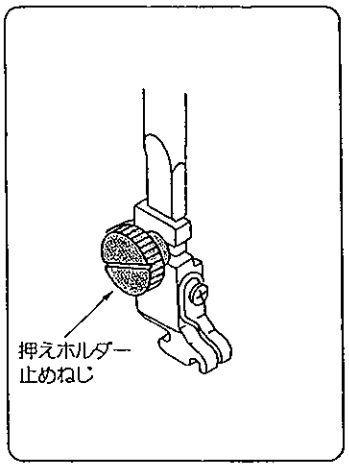
☆押え圧ダイヤルの使い方



《厚い布を入れるとき》

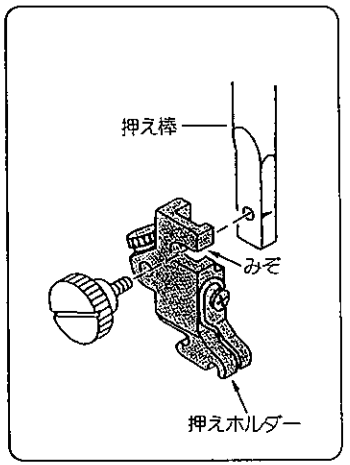


押えホルダーのはずし方、つけ方



《はずし方》

①押え上げをあげ、押えをはずします。
②押えホルダー止めねじを、ねじまわしで左にまわしてはずします。



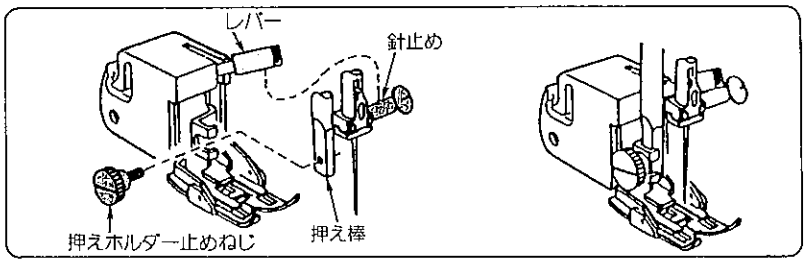
《つけ方》

①押えホルダーのみぞと、押え棒のねじ穴を合わせ、押えホルダー止めねじをさしこみ、ねじまわしで押えホルダー止めねじを右にまわして、しっかりつけます。

送りジョーズの使い方

送りジョーズは、上下の歯で布をはさみこみながら布送りをするので、薄物、ニット地、ビニールレザー、皮革などの素材に使用すると縫いずれや縫いじわを防止するのに効果があります。また、キルティングガイドを使って先に縫った縫い目をたどることもできます。

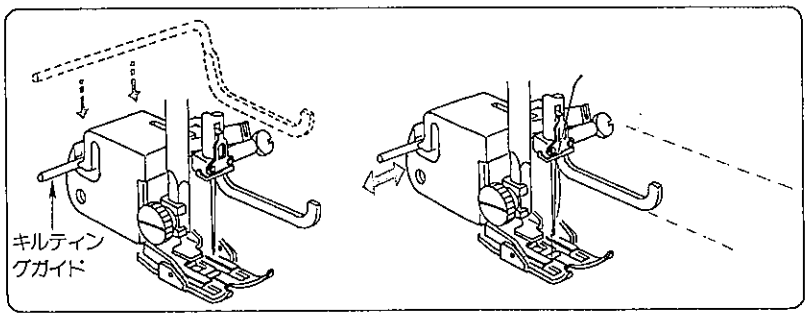
《送りジョーズのとりつけ方》



①針と押えをあげます。
②押えホルダー止めねじをゆるめて押えホルダーをはずします。
③レバーが針止めにのるように、送りジョーズを向こう側から押え棒にとりつけ、押えホルダー止めねじでしっかりとしめます。

＊低速から中速くらいの速さでミシンを運転してください。

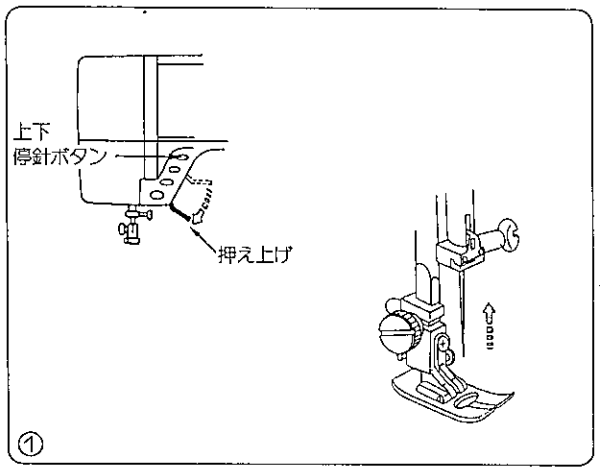
《キルティングガイドのとりつけ方》



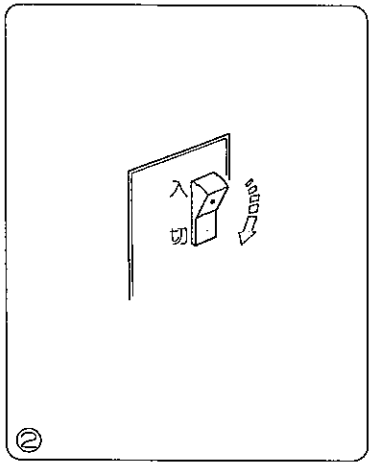
①キルティングガイドを上から下に向けて押し込んで固定します。

②ステッチ間かくに合わせて、キルティングガイドの左右方向の位置を調節します。

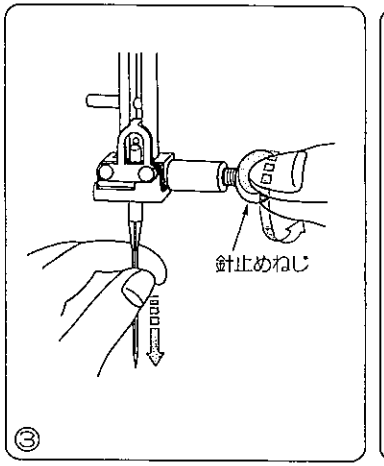
針のとりかえ



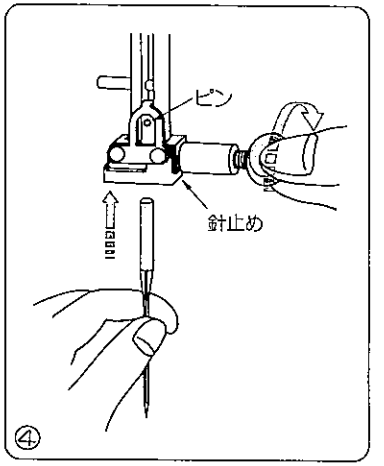
①上下停針ボタンを押して針をあげ、押え上げをさげます。



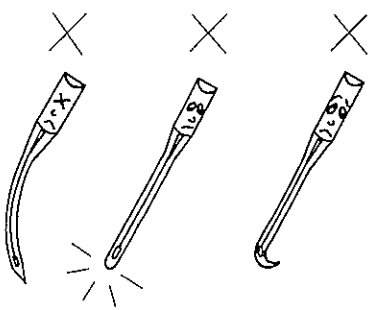
②電源スイッチを切ります。



③針止めねじを手前にまわしてゆるめ、針をはずします。



④針の平らな面を向こう側に向けて、奥いっぱいにピンにあたるまで針止めにさしこみ針止めねじをかたくしめます。



＊全体にまがってしまったものや、針先のつぶれたりまがったりしたものは、使用しないでください。

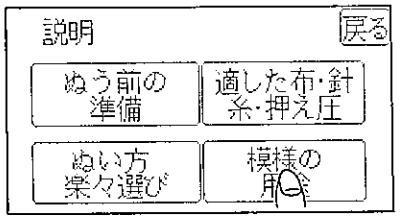
直線状の縫い目いろいろ

☆模様の用途キーの使い方

①説明画面の「模様の用途」キーを押すと、模様の使い方が表示されます。

＊説明画面の出し方は8ページ参照

（説明画面）

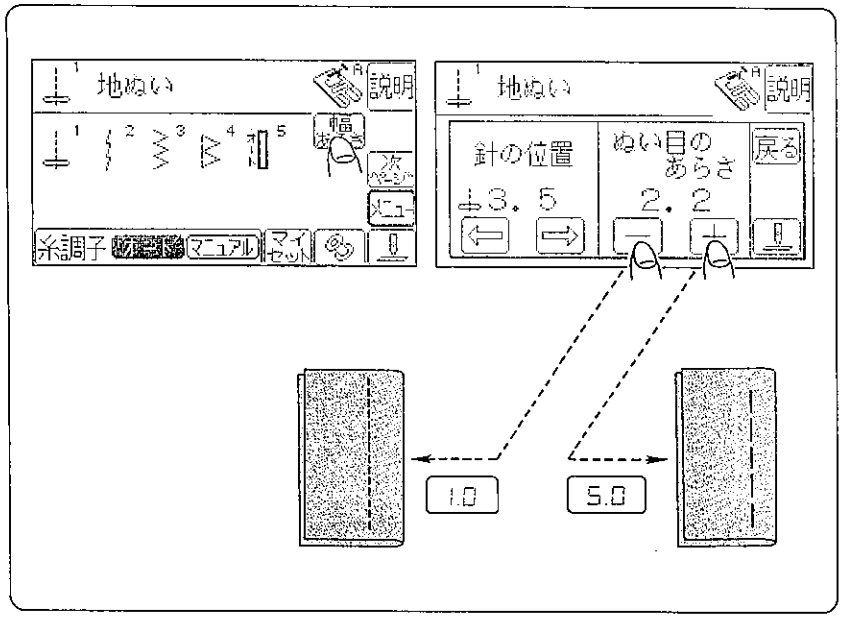


＊確認の後「戻る」キーを押してください。

縫い目	模様	押え	模様の用途
	1	A基本押え Eファスナー押え D三つ巻き押え	1 地ぬい 戻る ファスナー付け 地ぬい ピンタック 三つ巻きぬい
	2	A基本押え	2 伸縮ぬい 戻る ニット地の地ぬいに使います
（直線三重縫い）	6	A基本押え	6 三重ぬい 戻る 厚地、ニット地の地ぬい 股上カーブの補強ぬい
	7	A基本押え	7 地ぬい 戻る 落しミシンや端ぬいに使います
（自動返し縫いつき）	8	A基本押え	8 自動返しぬい 戻る しっかりした止めぬいを自動的に行うときに使います
（自動止め縫いつき）	9	A基本押え	9 自動止めぬい 戻る 目立たない止めぬいを自動的に行うときに使います

＊模様8（自動返しぬい）、9（自動止めぬい）の縫いおわりには、返し縫いボタンを1度押すと、数針返し縫い（止めぬい）をして自動的に止まります。

☆縫い目のあらさをかえるとき



○ 幅あらさ キーを押すと、最初は、自動セットの数値が表示されます。

ー キーを押すと、表示される数値が小さくなり、縫い目が細かくなります。

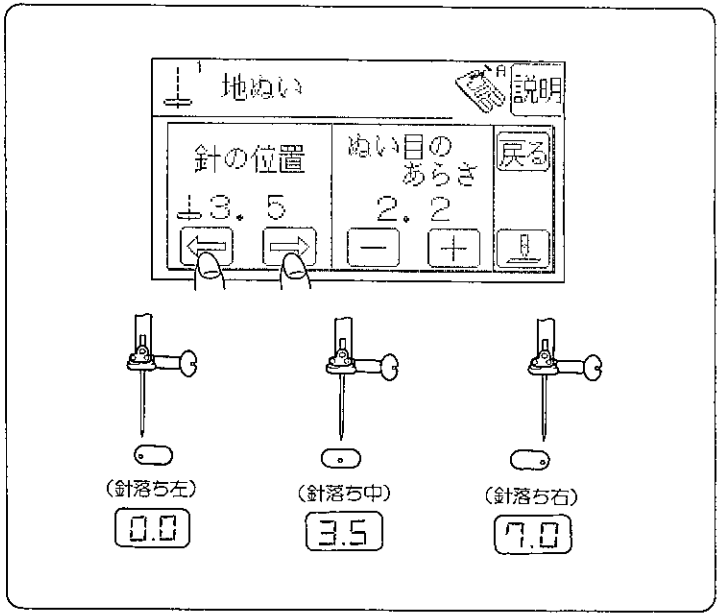
＋ キーを押すと、表示される数値が大きくなり、縫い目があらくなります。

＊縫い目のあらさ調節キーを押しつづけると、表示される数値が速くかわります。

＊返し縫いの縫い目のあらさは、2.5㎜以上にはなりません。

○ 戻る キーを押すと、模様表示の画面に戻ります。

☆直線縫いの針落ち位置をかえるとき



○直線状の縫い目、模様

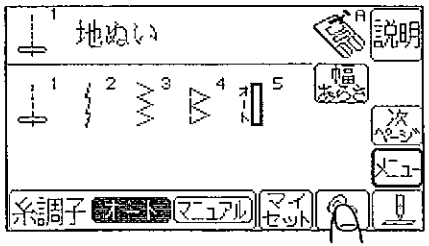
は、針落ち位置をかえることができます。

○針の位置調節キー → または ← を押して、針落ち位置をかえます。

ギャザーよせ

☆下糸残量の確認のし方

①[ ]キーを押します。



②下のどちらかが表示され、下糸の量を知らせてくれます。
「不足」表示の時は下糸を入れ替えてください。

下糸の量は足りています

または

下糸が不足しています

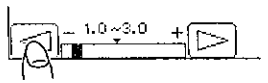
＊[ ]キーを押さなくても自動的に下糸の不足を知らせてくれますので下糸を入れ替えてください。

下糸が不足しています　普通ぬい

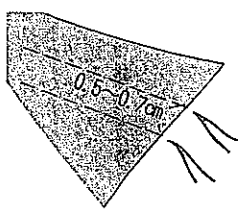
下糸が不足です　刺しゅう縫い

模様 を選びます。

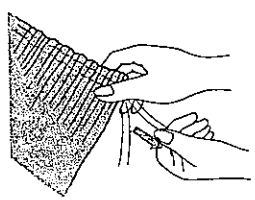
○マニュアル糸調子



○縫い目のあらさ3.0~5.0



①



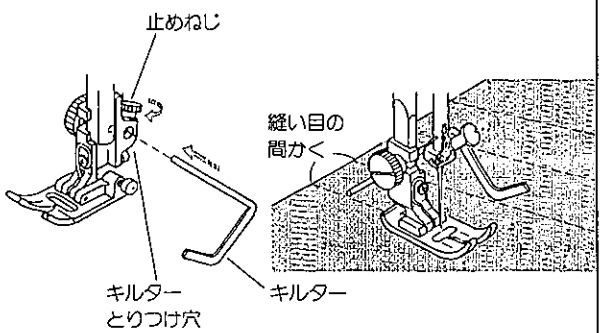
②

①0.5~0.7cmの間かくで2本平行に縫います。
②布を軽くつまみ、上糸はそのままにして、下糸を両端から引き、平均にギャザーをよせます。

キルティング

模様 1 を選びます。

○キルター（棒定規）



止めねじをゆるめて、キルターをとりつけ穴に入れ、縫い目の間かくに合わせて、止めねじをしめます。

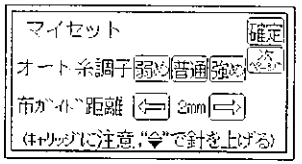
＊キルターは、先に縫った縫い目をたどるのに使います。

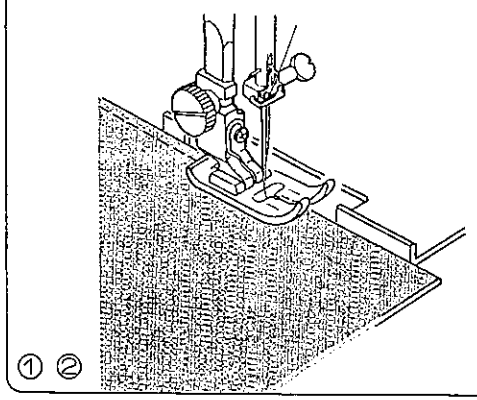
ピンタック

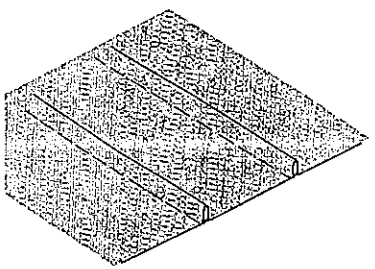
模様 1 を選びます。

○布ガイド

○布ガイド距離
（1㎜～3㎜）





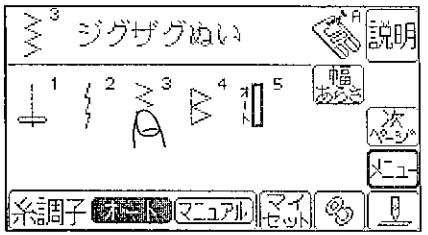


①布ガイドをセットして、ガイド距離を合わせます。（17ページ参照）
②布の折り山をガイドに当てて縫います。
③アイロンでピンタックの折り山を片側に倒します。

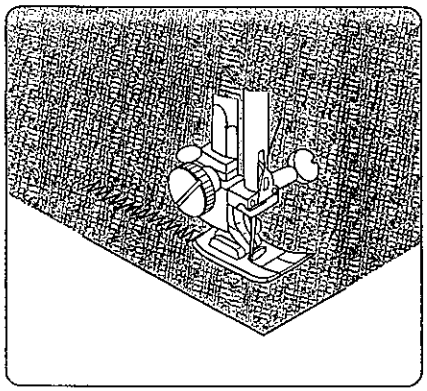
ジグザグ縫いとかがり縫い

普通ぬいの
直線 B.H 実用ぬい モードキーを
選び模様3 を
押して選びます。

（模様表示画面）

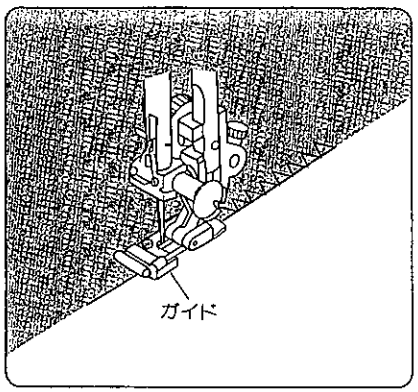


☆ジグザグ縫い



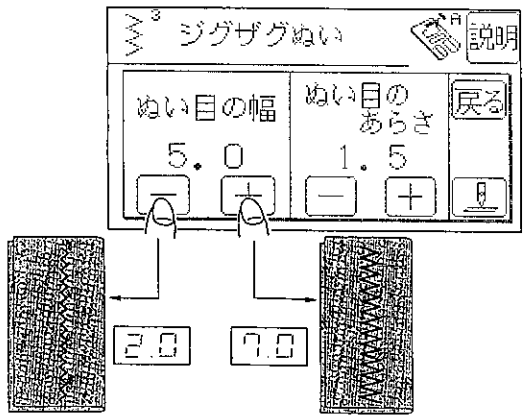
＊伸縮性のある布（ニット、ジャージー、トリコットなど）には接着芯を張るときれいに縫えます。

☆裁ち目かがりと
かがり縫いステッチ



＊布端を裁ち目かがり押えのガイドにあてて縫います。
＊かがり縫いステッチのときは、縫い目の幅をかえないでください。

☆縫い目の幅をかえるとき



○ 模様表示画面の 幅あらさ キーを押すと、自動セットの数値が表示されます。

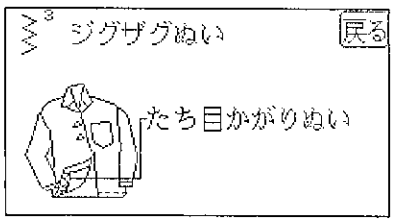
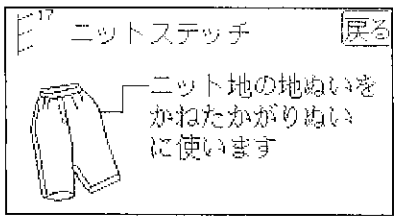
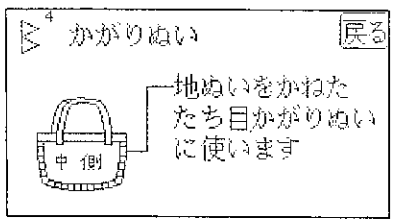
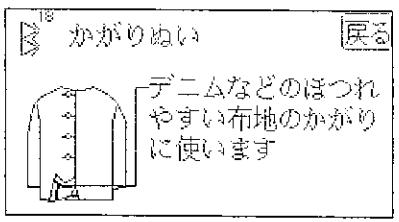
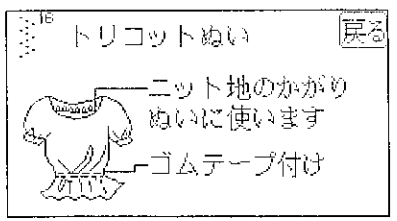
－ キーを押すと、表示される数値が小さくなり、縫い目の幅はせまくなります。

＋ キーを押すと、表示される数値が大きくなり、縫い目の幅は広くなります。

＊ぬい目の幅調節キーを押しつづけると、表示される数値が早くかわります。

○ 戻る キーを押すと、模様表示の画面になります。

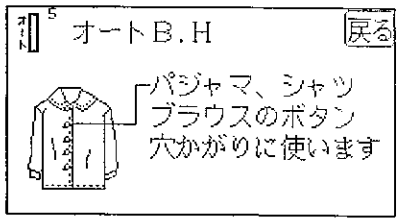
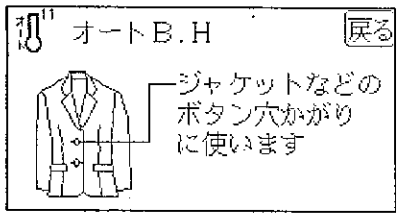
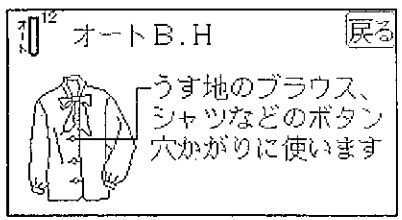
☆かがり縫いステッチの例

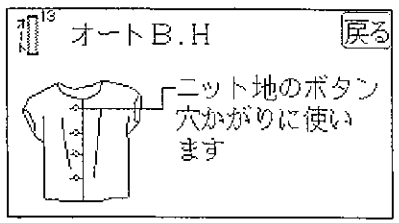
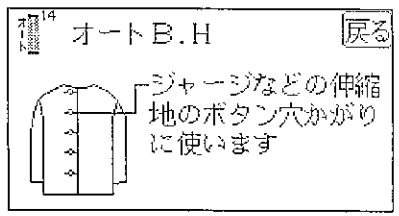
縫い目	模様	押え	模様の用途	縫い目	模様	押え	模様の用途
ジグザグ縫い 裁ち目かがり	3	A基本押え C裁ち目かがり押え	(模様の用途画面) 	ニット ステッチ	17	A基本押え	
かがり縫い ステッチ	4	C裁ち目 かがり押え		かがり縫い ステッチ	18	C裁ち目 かがり押え	
トリコット縫い 裁ち目かがり	16	A基本押え					

*模様の用途画面の出し方は、25ページをごらんください。

オートボタンホール

☆ボタンホールの種類

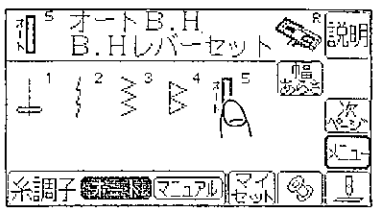
縫い目	模　様	模様の用途
	5	（模様の用途画面） 
	11	
	12	

縫い目	模様	模様の用途
	13	
	14	

＊模様の用途画面の出し方は、25ページをごらんください。

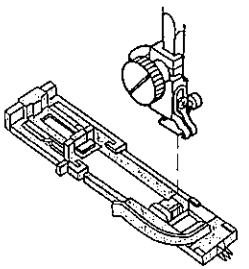
☆縫う前の準備

模様 を選びます。



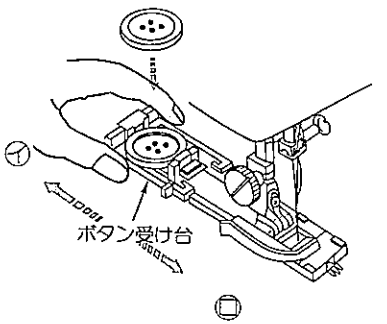
＊ボタンホールの長さは、使用するボタンをRオートマチックボタンホール押えのボタン受け台にはさみこむと自動的に決まります。
＊ボタンの直径が2.5cmまで、ボタン穴かがりができます。
＊ボタン穴かがり幅は、シャツなどのボタン穴の幅に自動セットされていますので、コートなどの幅の広いボタン穴かがりをするときは34ページをごらんください。
＊縫うものと同じ布で試し縫いをして、セットを確かめましょう。
＊伸縮性のある布には、裏に伸びにくい芯地を張ってください。
＊説明画面のぬう前の準備キーの次にオートB.Hキーを押すと、ぬう前の準備がわかります。
（8ページ参照）

☆縫い



①②

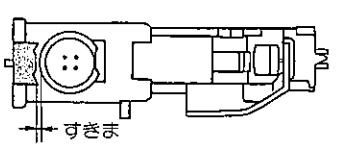
①上下停針ボタンを押して針をあげ、押え上げをあげます。
②R押えを取りつけます。

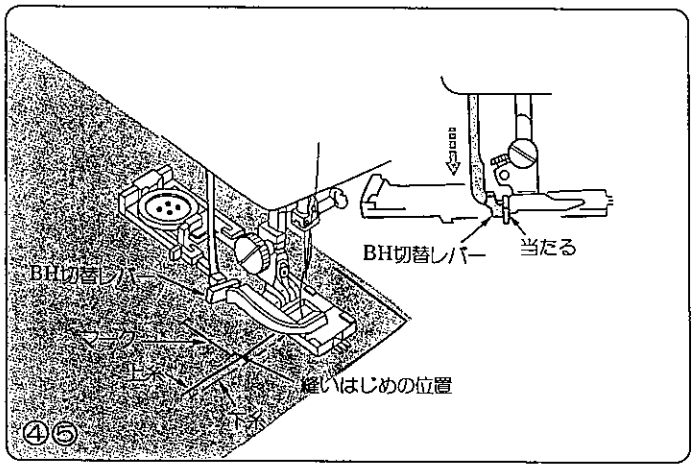


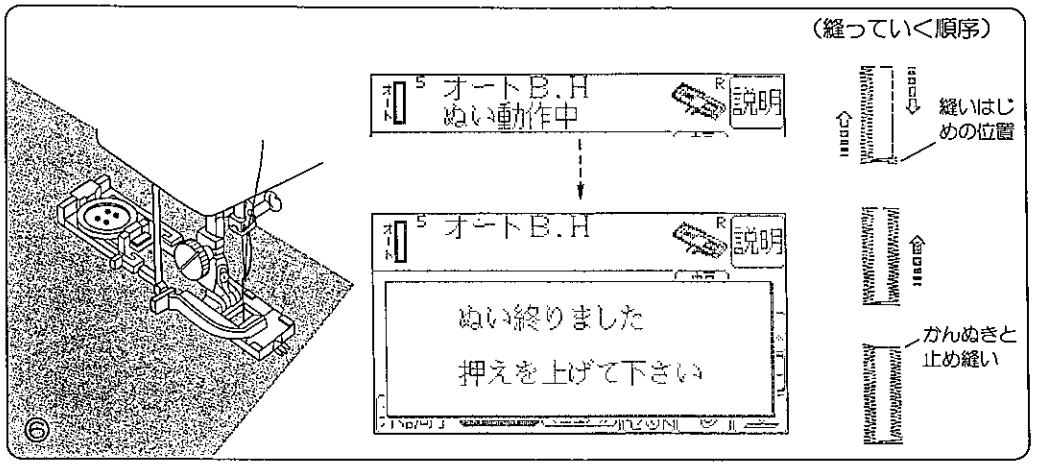
③

③ボタン受け台を㋐方向に引き、ボタンをのせて□の方向に戻し、はさみます。

＊使用するボタンが厚みのある場合は試し縫いをして確かめてください。
すきまをあけて位置決めするとその分大きいボタン穴ができます。



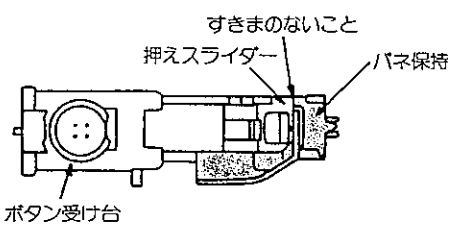




④押え上げをあげて、BH切替レバーを止まるまでいっぱいに引きさげます。

⑤上糸を押えの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
布を入れ、縫いはじめの位置に針をさして、押え上げをさげます。

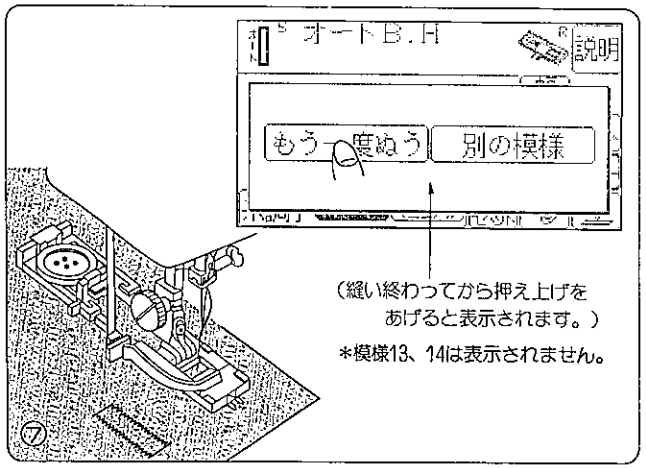
＊押えスライダーとバネ保持の間にすきまがないことを確認してください。



⑥自動的に止まるまで縫います。

＊縫っていく順序は、

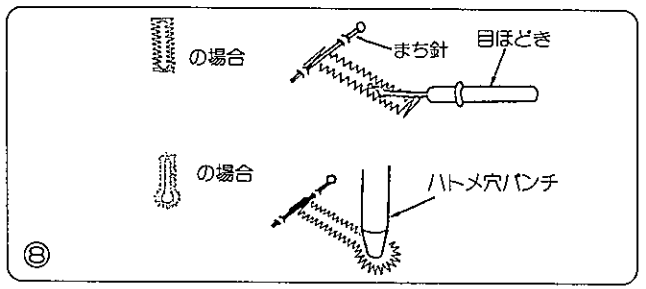
ステップ1．かんぬきと左側のボタン穴かがり縫いをします。
ステップ2．右側のボタン穴かがり縫いをします。
ステップ3．かんぬきと止め縫いをして自動的に止まります。



⑦引き続きオートボタンホール縫いをする場合には、

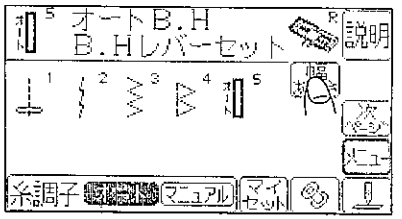
もう一度ぬう キーを押して再び縫います。

＊ボタンホール縫いがおわったら、BH切替レバーを止まるまでいっぱいに押しあげて戻してください。



⑧かんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどきでかがった糸を切らないように切りひらきます。

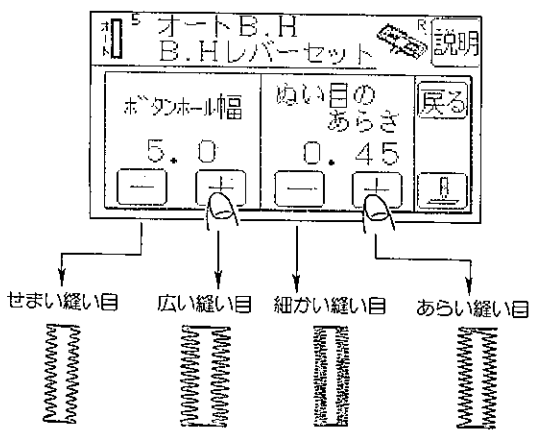
☆縫い目の幅をかえるとき



幅あらさ キーを押すと自動セットされている数値5.0が表示されます。

縫い目の幅をかえるには、−または＋キーを押して2.5~7.0の範囲でかえてください。

☆縫い目のあらさをかえるとき



幅あらさ キーを押すと自動セットされている数値0.45が表示されます。

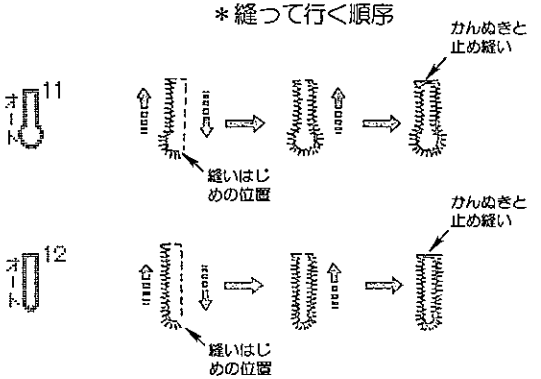
縫い目のあらさをかえるには、−または＋キーを押して0.2~0.7の範囲でかえてください。

＊ 13 14 15 (37ページ参照)のときも、上記の方法で縫い目の幅とあらさをかえることができます。

11 12 の場合

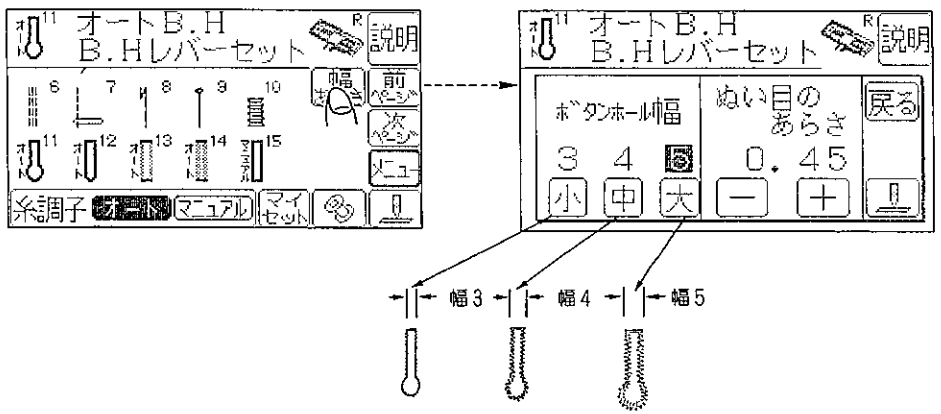
模様 11 または 12 を選びます。

＊縫って行く順序



○縫い方は 5 のときと同じです。
（32～34ページ参照）

★厚い布のボタンホール縫い

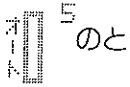


0.45…標準のあらさ
（ギャバジン・デニム等のしっかりした素材用）
0.70…あらい縫い目
（厚いウール地、ジャージニット類用）

○素材や縫い糸にあわせて縫い目のあらさを調節して縫います。

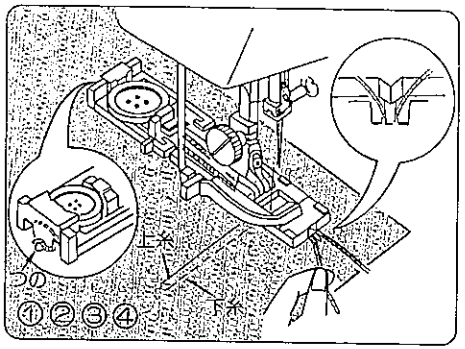
芯入りオートボタンホール

模様 を選びます。

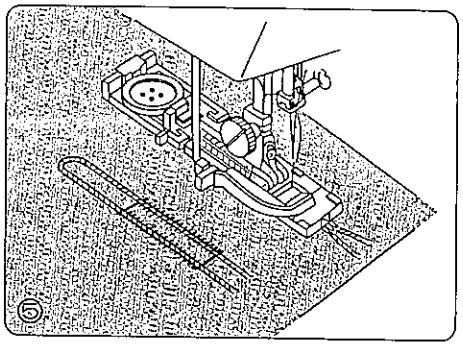
○縫い方は  のときと同じです。

（32～34ページ参照）

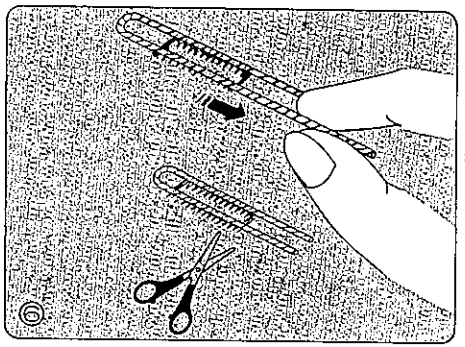
＊縫い目の幅は、芯糸に合わせてセットします。



①上糸と下糸を横に引き出してそろえます。
②R押え前部の、右側切り込みに芯糸の一方の端をはさみ、芯糸を、押えの下から後ろに引き、輪にして、つのに掛けます。
③つのに掛けた芯糸を、押えの下を通して、前部左側の切り込みに、しっかりはさみます。
④縫いはじめの位置に針をさして押え上げをさげます。



⑤スタート・ストップボタンを押して、オートボタンホールを縫います。

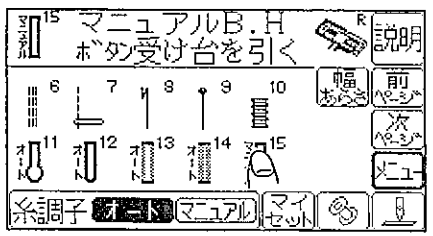


⑥左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

＊ボタン穴のあけ方は、34ページをごらんください。

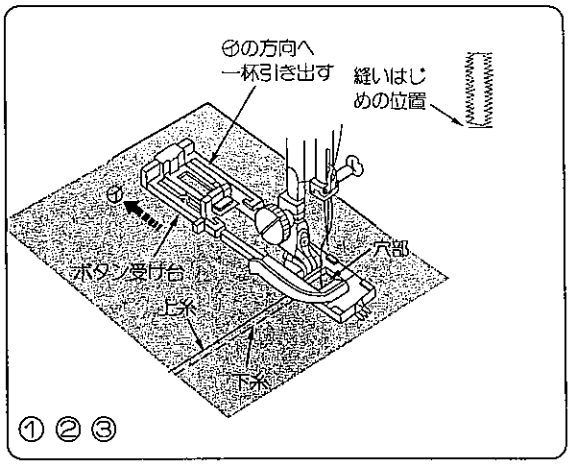
マニュアルボタンホール

模様 15 を選びます。



*縫い目の幅やあらさをかえたいときは、34ページをごらんください。

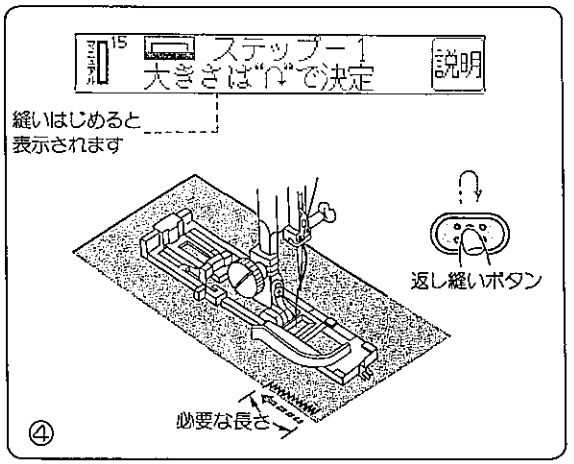
*左右の縫い目のあらさがそろわないときは、68ページをごらんください。



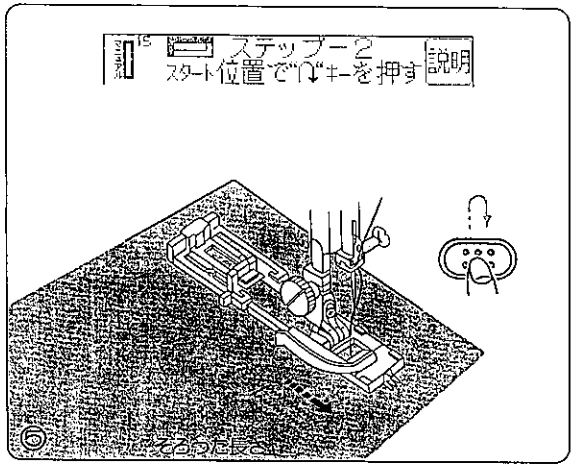
①ボタン受け台を㋐の方向に一杯に引き出します。

②上糸を押えの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。

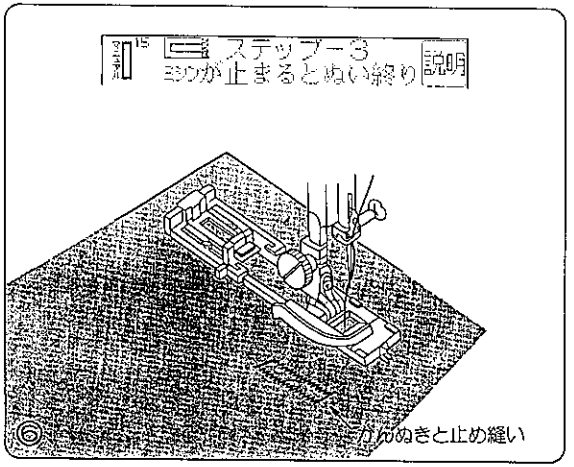
③縫いはじめの位置に針をさし、押え上げをさげます。



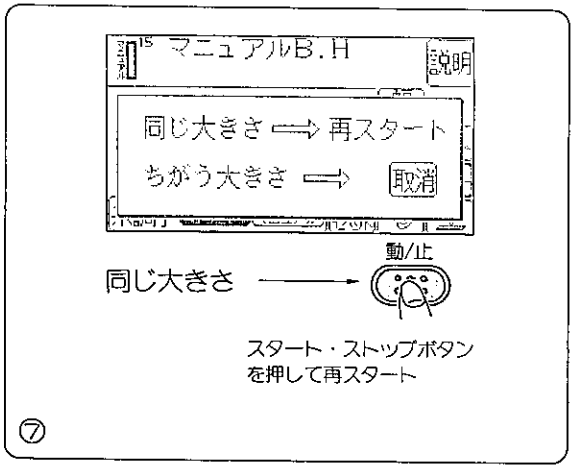
④左側のボタン穴かがり縫いを必要な長さまで縫ったら止めて、返し縫いボタンを押します。



⑤かんぬきと右側を縫い、縫いはじめの位置に戻ったら止めて、返し縫いボタンを押します。



⑥かんぬきと止め縫いをし、自動的に止まるまで縫います。



＊ミシンは、1度縫ったボタン穴の大きさを記憶しています。2度目からは、同じ大きさのボタン穴かがりが自動的にできます。

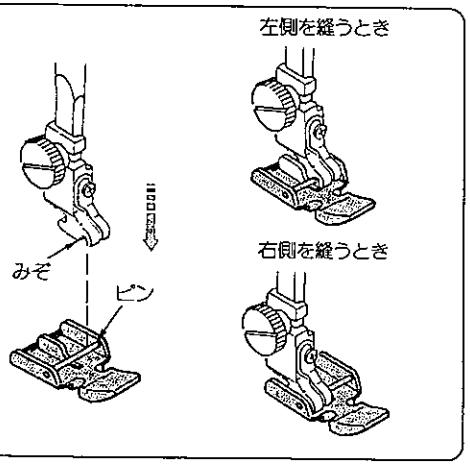
＊ボタン穴のあけ方は、34ページをごらんください。

ファスナーつけ

模様 を選びます。

○ Eファスナー押え

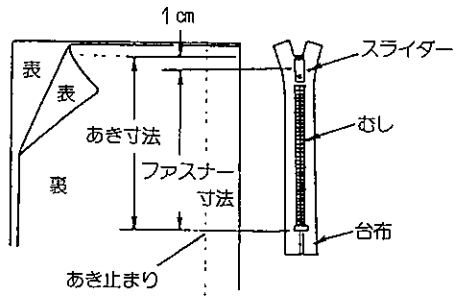
☆ファスナー押えのつけ方



○ 左側を縫うときは、押えホルダーのみぞにピンを合わせて右側にセットします。
○ 右側を縫うときは、押えホルダーのみぞにピンを合わせて左側にセットします。

☆準備

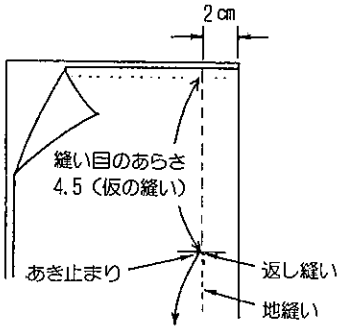
ファスナーあきの寸法をたしかめます



①

①あき寸法はファスナー寸法に1 cmプラスした寸法です。

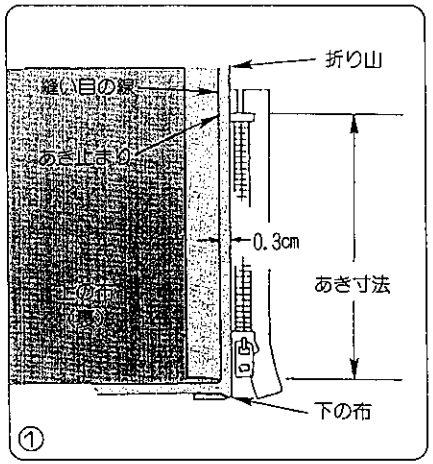
仮の縫いのしつけと地縫いをします

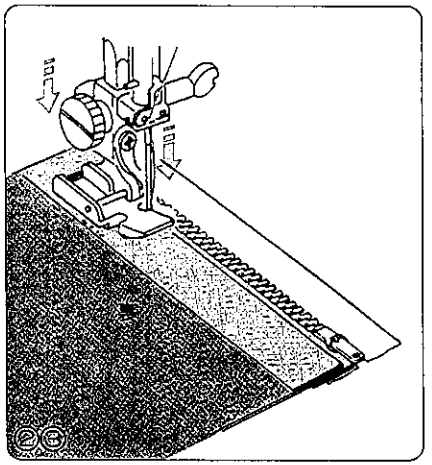


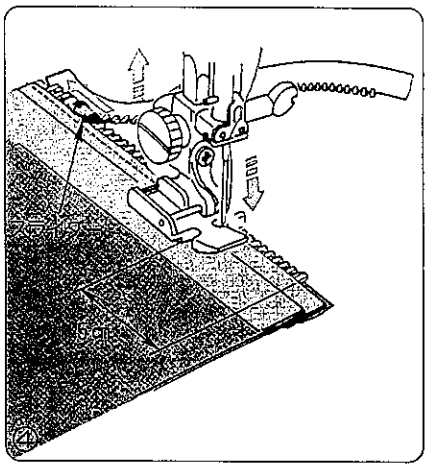
②③

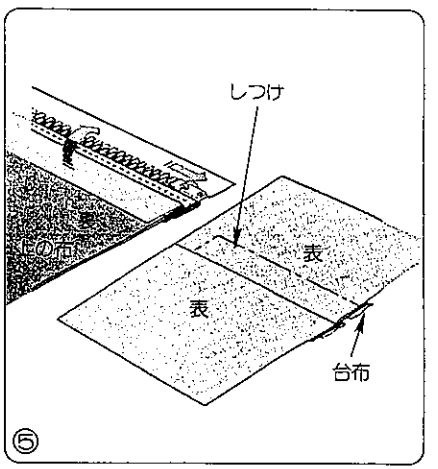
②布を中表に合わせて、あき止まりまで地縫いをします。
③あき部分は、縫い目のあらさ4.5で縫います。

☆縫い方







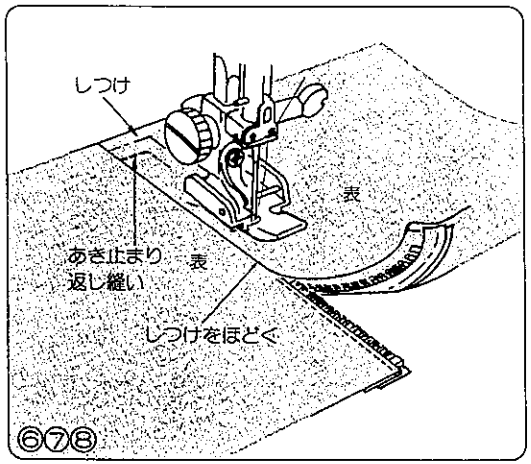


①縫いしろをわり、下の布の縫いしろを0.2~0.3cm出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

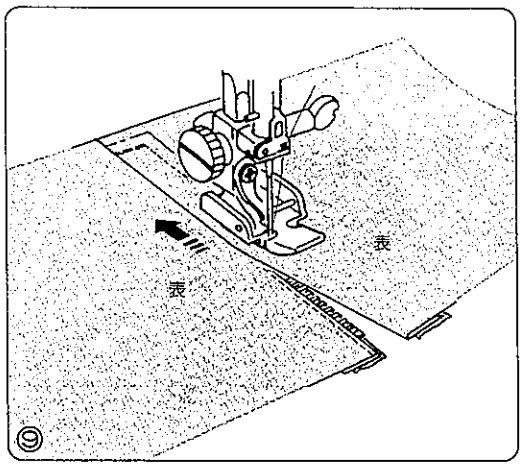
②押えホルダーをファスナー押えの右側にセットします。
③押えの端にむしのきわを当てて、あき止まりから縫います。

④ファスナーの端から5cm位手前でミシンを止め、針を布にさします。押え上げをあげてスライダーを押えの向こう側にずらし、押え上げをさげて残りの部分を縫います。

⑤スライダーをとじ、つまみの金具を上に倒し、上の布をファスナーの上にかぶせます。かぶせた布と台布をしつけで止めます。

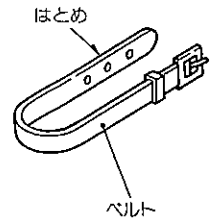


⑥押えホルダーをファスナー押えの左側にセットします。
⑦上の布のあき止まりを返し縫いして、押えの端にスライダーのきわを当てて縫います。
⑧ファスナーの上側を5cmくらい残したところでとめて、はずみ車をまわして針をさげ、針を布にさしたままで押え上げをあげて、しつけ糸をほどきます。



⑨スライダーを押えの向こう側にずらし、押え上げをさげて残りの部分を縫います。

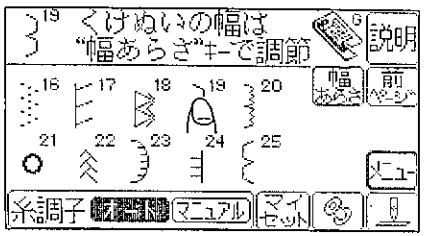
模様 21 ○ を選びます。



○ベルトの穴かがりなどに使います。
○縫い目の内側を鳩目打ちなどで穴をあけます。

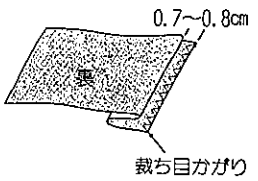
くけ縫い(まつり縫い)

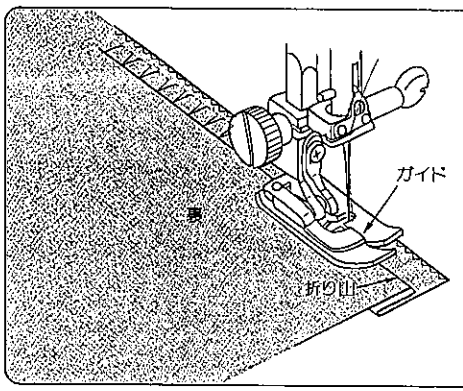
模様 19 を選びます。



＊伸縮性のある布を縫うときは、模様 20 を選びます。

〈布の折り方〉

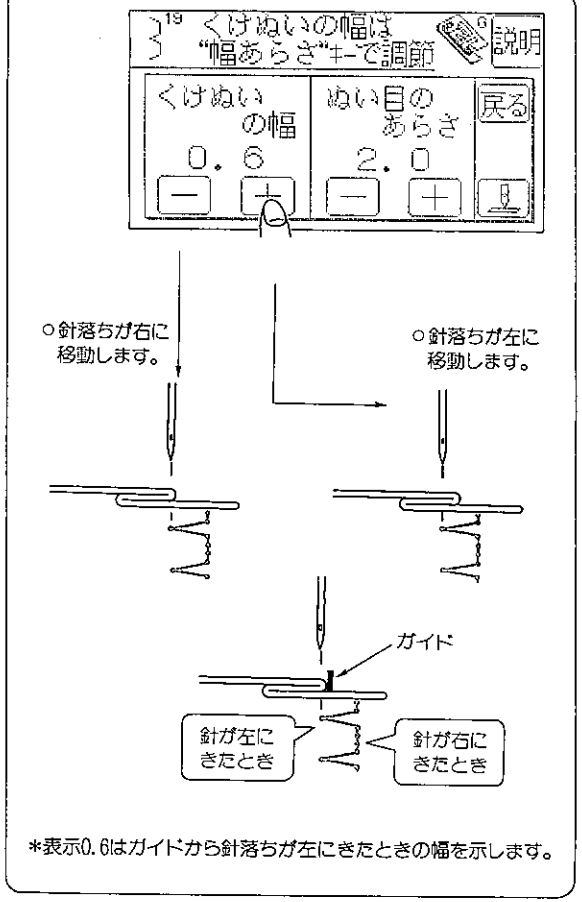




ガイドを折り山に合わせ、針が折り山からはずれないように縫い目の幅調節キーで針落ち位置を調節して縫います。

〈針落ち位置をかえたいとき〉

幅あらさ キーを押すと、自動セットの数値が表示されます。



＊表示0.6はガイドから針落ちが左にきたときの幅を示します。

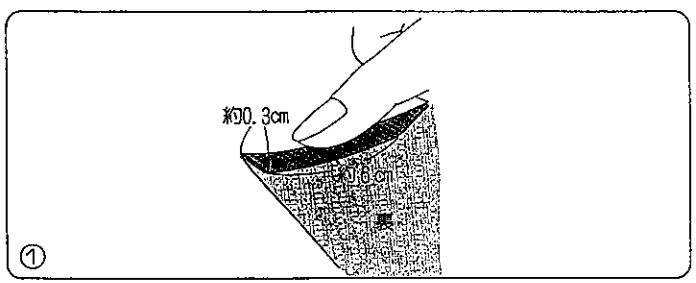
三つ巻き縫い

●直線三つ巻き縫い　模様 を選びます。

●ジグザグ三つ巻き縫い　模様 を選びます。

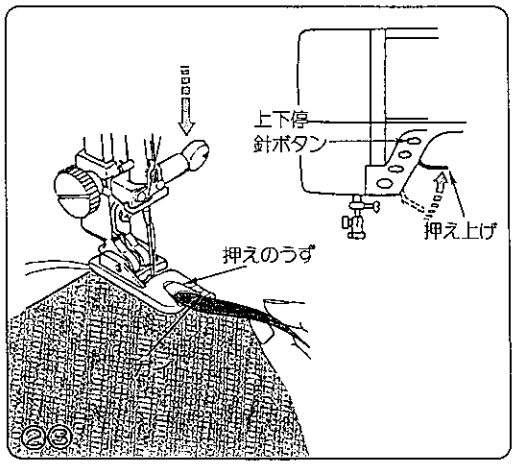
○ぬい目の幅1.0～2.0

＊縫い方は、直線三つ巻き縫い、ジグザグ三つ巻き縫いとも同じです。



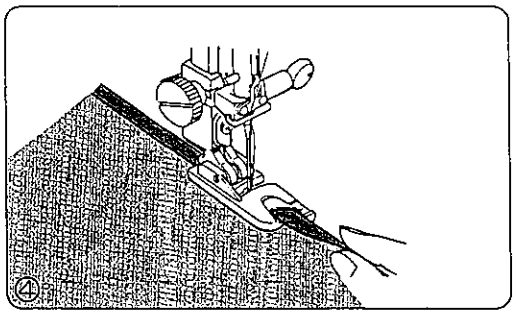
①布端の長さ約 6 cmを、約0.3cmの幅で2度折りまげます。

＊折り目のつきにくい布は、アイロンで折り目をつけておくと縫いやすくなります。



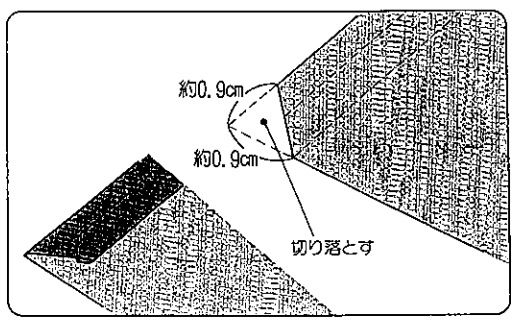
②縫いはじめの部分に針をさし、押え上げをさげます。
上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら、布端と押えのガイドを合わせて１～２cm縫います。

③上下停針ボタンを押して針をさし、押え上げをあげて、布の三つ折りの部分を開いて布端を押えのうずの中に巻きこみます。



④押え上げをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながら縫います。

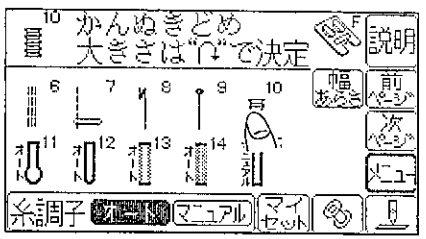
☆布端のしまつ



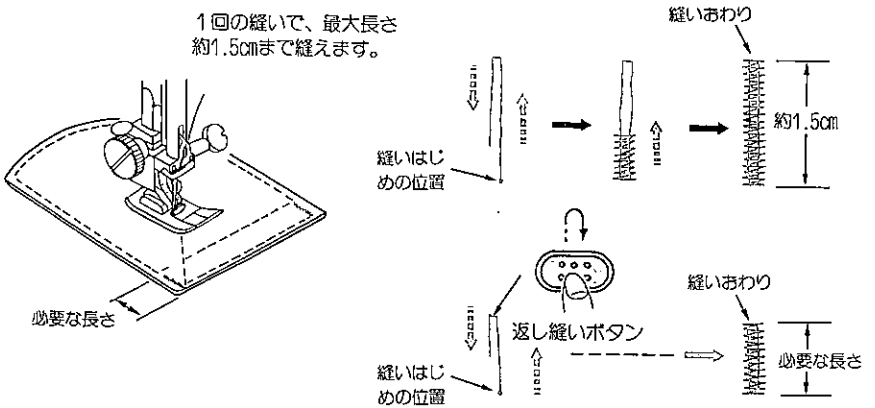
三つ巻き縫いの重なる角の部分は、布端を切り落として折り合わせ、厚みをうすくします。

かんぬき止め縫い

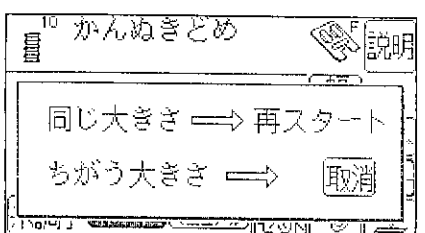
模様 10 を選びます。



○縫い目の幅、あらさをかえたいときは、
幅あらさ キーを押して調節してください。



○最初に必要な長さまで縫い、返し縫いボタンを押すと、その長さに決まります。
続けて針が自動的に止まるまで縫います。



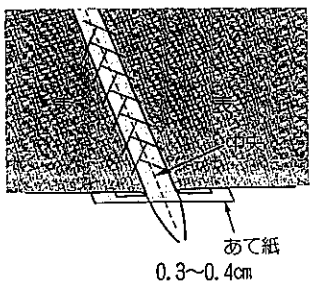
縫い終わると表示されます。

〈かんぬき止めの記憶〉

○スタート・ストップボタンを押して、再スタートすると、くり返し同じ長さのかんぬき止めが縫えます。

ファゴティング

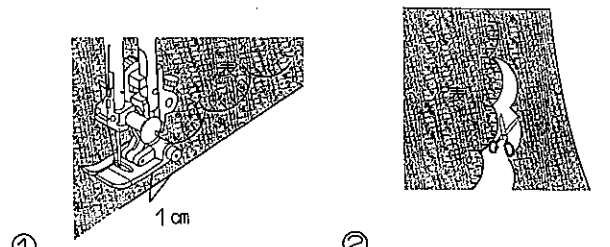
模様 22 を選びます。



①布端と布端の間かくを0.3~0.4cmあけて、裏にあて紙をします。
②布の表から、間かくの中央を中心にして縫います。
③あて紙をとります。

スカラップ

模様 23 を選びます。



①布を表から、布端を1cmくらい残して縫います。
②糸を切らないように、外側の布を切り落とします。

もようの幅	ぬい目のあらさ	縫い目の変化
自動セットされている数値		
7.0	2.5	
5.0	1.5	

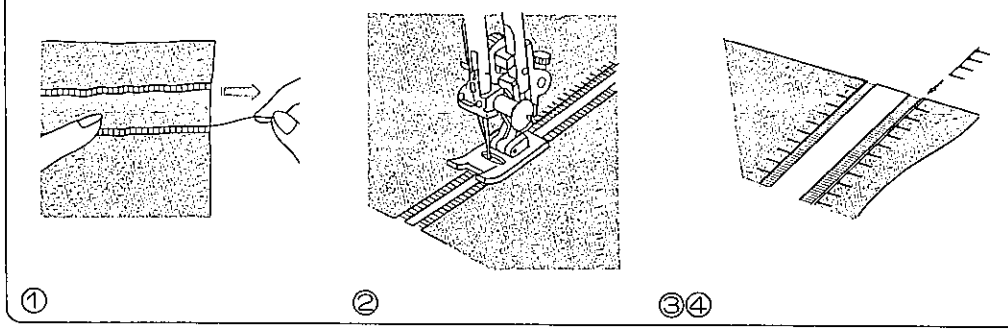
ドロンワーク

模様 24 を選びます。

○押え圧ダイヤル

「2」

○模様は 6 24 91 などが使えます。



①ドロンワークする部分の両側の織り糸を
1～2本抜きとります。

②織り糸を抜いた左側を縫います。

③右側を縫います。

＊模様 91 は、反転記憶キーを押して右側を縫います。

④ドロンワークする部分の残りの織り糸全部を抜きとります。

＊縫いおわったら、押え圧ダイヤル「3」に戻します。

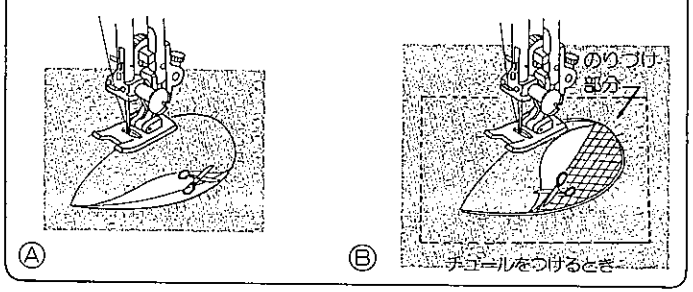
カットワーク

模様 24 を選びます。

「2」

○押え圧ダイヤル

○模様は 24 91 が使えます。



Ⓐ布の表から図案のふちをかがり、かがった糸を切らないように中を切り抜きます。

Ⓑ布の裏に、図案の内側にはみ出さないように、糊をつけ、チュールをはりつけます。布の表から模様のふちをかがり、かがった糸と布の下のチュールを切らないように、布だけを切り抜きます。

＊縫いおわったら、押え圧ダイヤルを「3」に戻します。

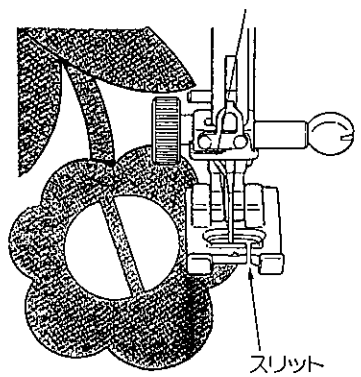
＊のりづけ部分に接着芯を使用すると便利です。

アップリケ

模様 24 を選びます。

○ 押え圧ダイヤル「2」

○ 模様は 24 91 が使えます。

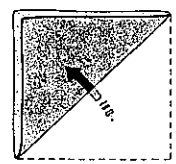


アップリケ布を糊づけするか、しつけで止めます。アップリケ布の縁の右に針がくるようにして縫います。

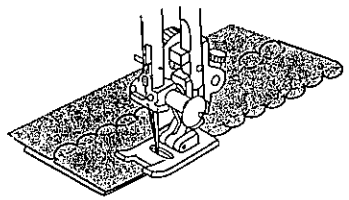
*カーブのところや方向転換をするところでは、上下停針ボタンまたは上下停針キーを使い、針を布端側に下げたままで縫い方向をかえると、きれいに仕上がります。
*縫いおわったら、押え圧ダイヤルを「3」に戻します。
*両面接着芯を使うと、便利です。

シェルタック

模様 25 を選びます。



①



②③

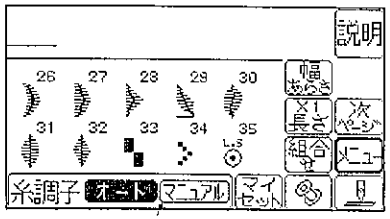
*うすい布地を使用してください。

①布をバイアスに2つ折りにします。
②右の針落ちが、布の折り山のきわにおりるようにして縫います。
③布をひらいて、アイロンで山を片側に倒します。

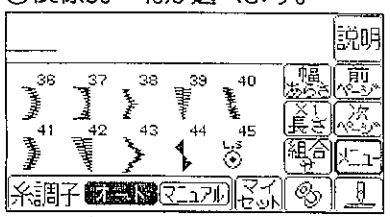
☆模様の選び方と操作キー(「かざりぬい」モードキーを選びます。14ページ参照)

○「次ページ」キーおよび「前ページ」キーで画面を変えて選びます。
(8画面あります。)

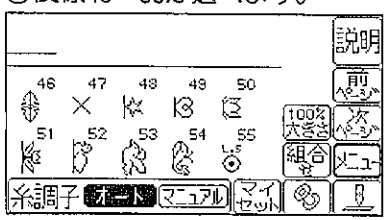
①模様26～35が選べます。



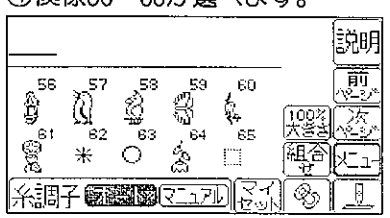
②模様36～45が選べます。



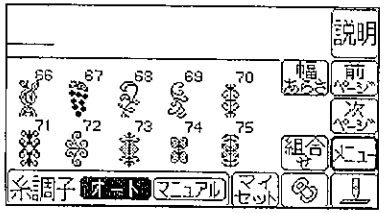
③模様46～55が選べます。



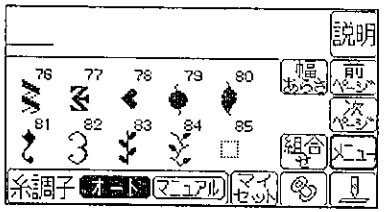
④模様56～65が選べます。



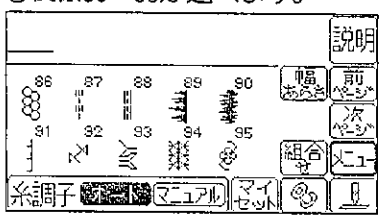
⑤模様66～75が選べます。



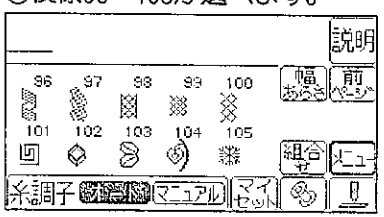
⑥模様76～85が選べます。



⑦模様86～95が選べます。

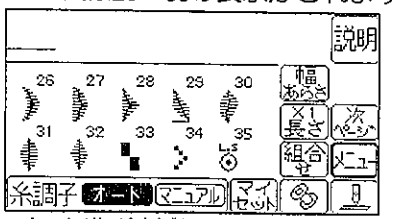


⑧模様96～105が選べます。



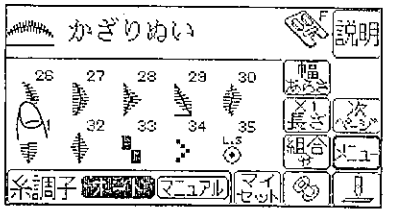
(例) 模様26を選ぶとき

①「かざりぬい」モードキーを押すと模様26～35の表示がされます。



*カーソルが点滅しています。

②模様表示26の中央部を押すと模様と、押えが表示され選べます。



長さ …模様の長さを変えるキー
(51ページ参照)

100%大きさ …模様の大きさを変えるキー
(53ページ参照)

組合せ …模様を組み合わせるキー(49ページ参照)

*組合せキーを押すと画面の下に表示されます。もう一度押すと元の画面に戻ります。

記憶 反記 ストック コール 取消 頭出し

記憶 …模様を記憶させるキー
(49ページ参照)

反記 …模様を反転記憶させるキー
(49ページ参照)

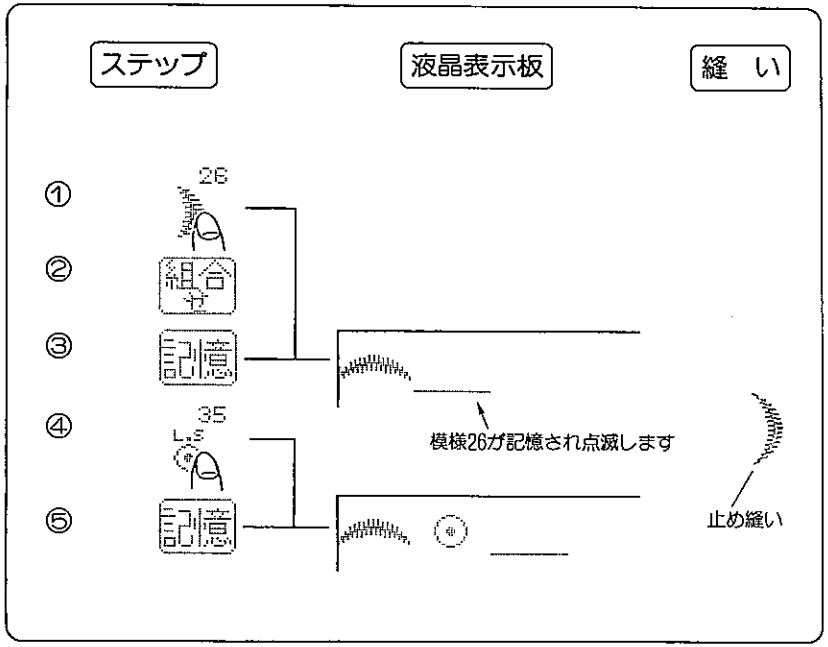
ストック …模様を登録するキー
(60ページ参照)

コール …登録した模様を呼び出すキー
(60ページ参照)

取消 …取消しをするキー
(49ページ参照)

頭出し …登録した模様を先頭表示させるキー
(49ページ参照)

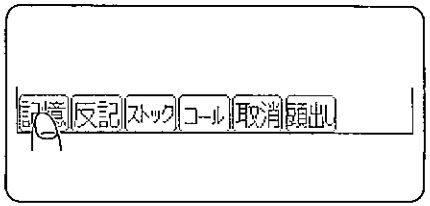
☆ワンサイクル縫いの例



＊模様のおわりに、止め縫いを記憶させて縫います。
（模様のはじめには、止め縫いがはいっています。）

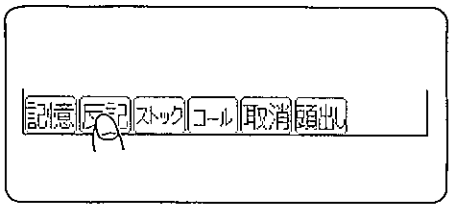
〔止め縫いを記憶させないときのサイクル縫い〕
○縫いはじめてから、止めぬいボタンを押すと、その模様の最後で自動的に止め縫いをして止まります。

☆「記憶」キーの使い方



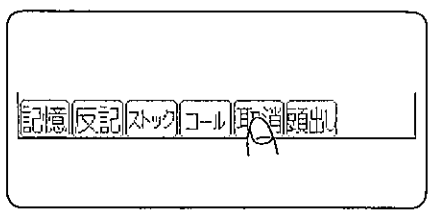
模様を選んでから記憶キーを押すと、キーを押した数だけその模様を記憶します。さらに、他の模様を選んでから記憶キーを押すと、前の模様に続けて、次に選んだ模様を記憶します。

☆「反記」（反転記憶）キーの使い方



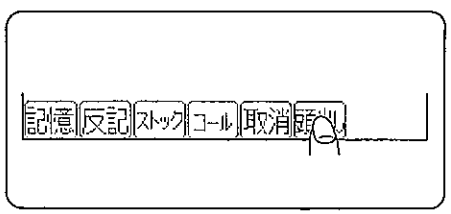
模様を選んでから反転記憶キーを押すと、選んだ模様を左右反対に記憶します。

☆「取消」キーの使い方



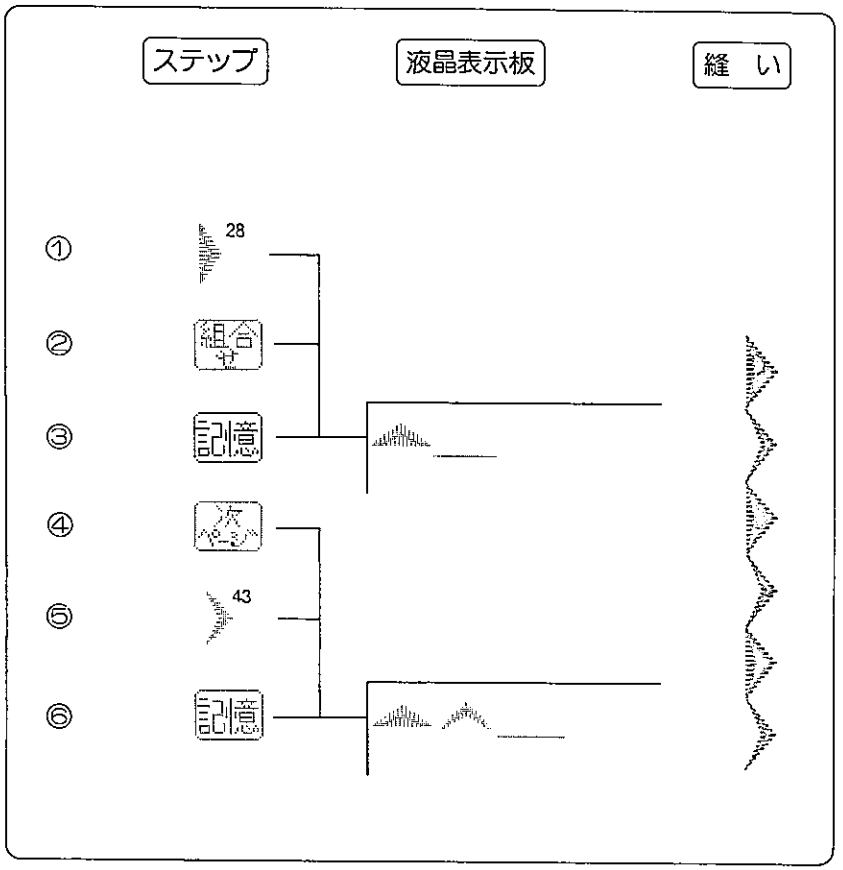
縫いはじめる前に、取り消しキーを押すと、プログラムのうしろから順に記憶を取り消します。
縫いはじめてから、取り消しキーを押すと、プログラムがすべて取り消されます。

☆「頭出し」キーの使い方

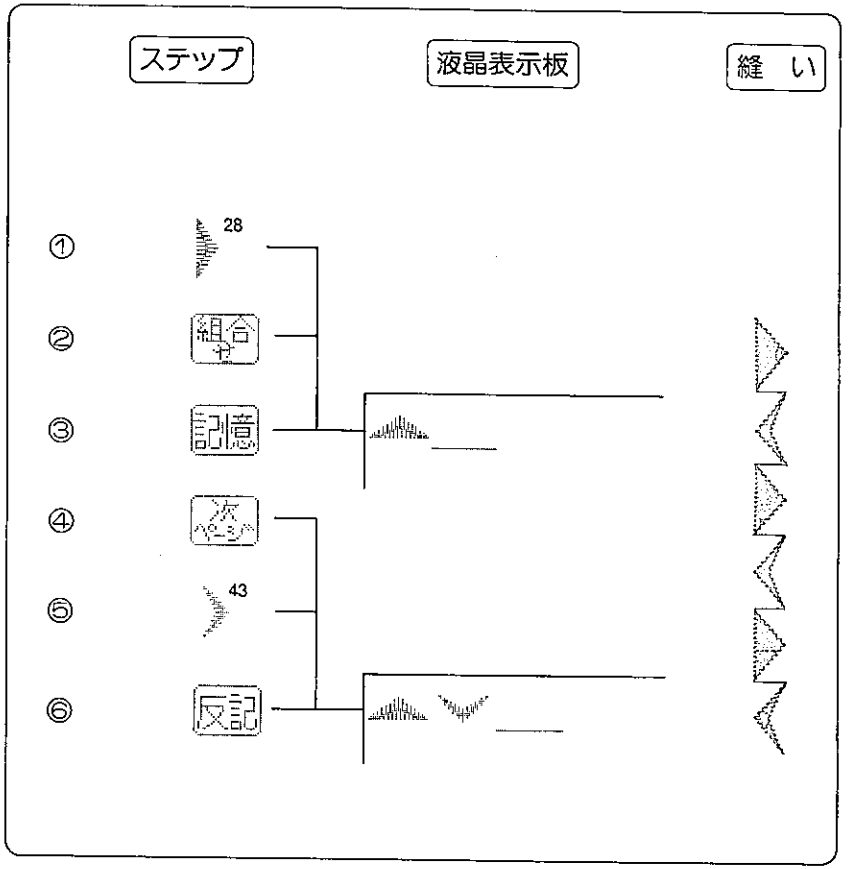


縫い途中で、模様の最初から縫い直したいときに頭出しキーを押します。表示が先頭表示され縫い直しができます。

☆連続模様縫いの例



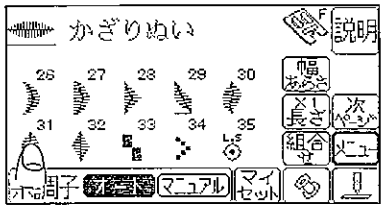
☆記憶キーと反転記憶キーを使った模様縫いの例



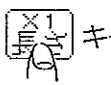
＊必要な模様数の最後の縫い途中で止めぬいボタンを押すと
その模様を縫って自動的に止まります。

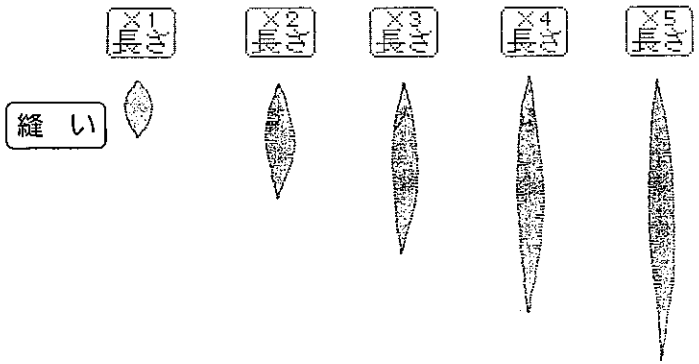
エロンゲータ縫い

模様 を選びます。



＊模様は26～44が使えます。（止めぬいは除く）

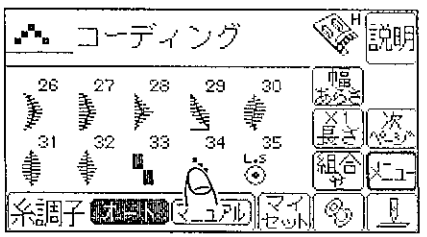
○  キーを使って、模様の長さを1～5倍に変えられます。



○縫い目の幅または縫い目のあらさを変えると、模様はさらに変化します。

● 3本コードのとき

○ 模様 34 を選びます。



○ Hコーディング押え

● 1本コードのとき

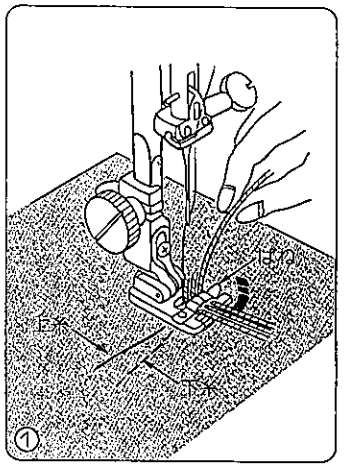
○ 模様 3 を選びます。

○ もようの幅3.0

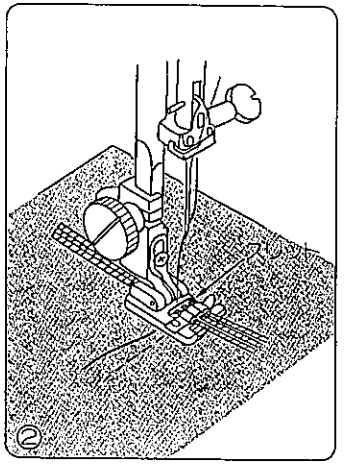
○ Hコーディング押え

○ 1本コードのときは、コーディング押え中央のみぞを使います。

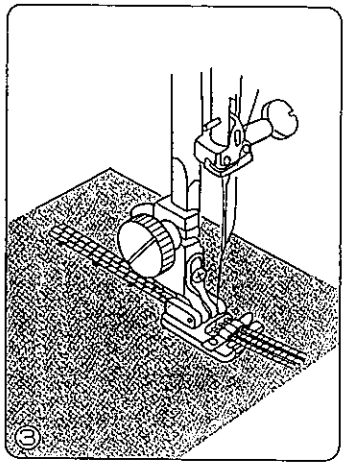
＊コードは、極細毛糸やフランス刺しゅう糸、レース糸、リリヤンなどを利用します。



①コードを、押えのばねの下にくぐらせ、みぞに通します。



②向こう側に10cmくらい引きだし、押えのスリットから押えの下をくぐらせ、押えの裏のみぞに入れます。

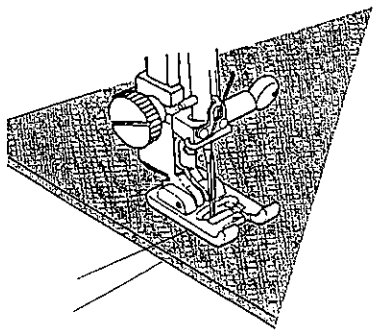


③3本コードを平行にそろえて、縫い目がコードにまたがるように縫います。

ワンポイント縫い

ワンポイント縫いの例（ ）

模様 56 を選びます。



縫い

○縫いはじめは、上糸と下糸を横に引き出します。

*ワンポイント模様は、模様のはじめとおわりに、止め縫いが自動セットされています。

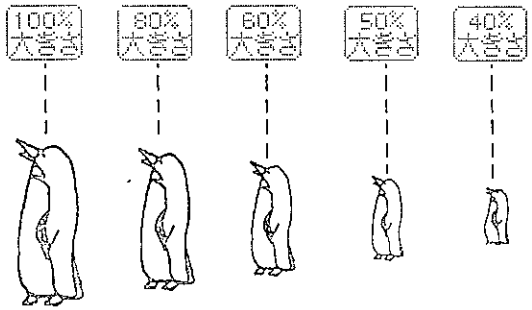
*ワンポイント模様は、56～64があります。

相似模様縫い

相似模様縫いの例（ ）

模様 57 を選びます。

○100% 大きさ キーを使って、模様の大きさを相似的に変えられます。



○相似模様は46～64があります。（55「⊙」（止めぬい）は含まず。）

*模様46～54は、止めぬいが自動セットされていませんので模様55「⊙」（止めぬい）を記憶させて縫ってください。

クロスステッチ

模様 47 を選びます。

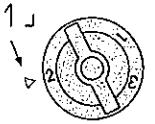
刺しゅうによく使われるクロスステッチができます。

＊ 100% 大きさ キーで調整すると、ステッチの大きさがかえられます。

砂縫い

模様 86 を選びます。「2」または「1」

○押え圧ダイヤル



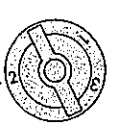
図案の中を縫いつぶすのに使います。出来あがりの感じが、砂をまいたように見えます。

＊角やせまい場所は、縫い目の幅を小さくして縫います。
＊縫いおわったら押え圧ダイヤルを「3」に戻します。

粒縫い

模様 87 を選びます。「2」

○押え圧ダイヤル



図案の輪かくをはっきりさせたいときや粒状の模様縫いなどに使います。

図案にそって輪かくを縫います。

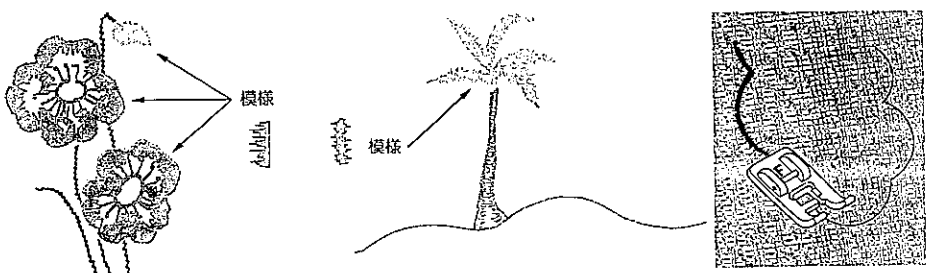
＊急なカーブを縫うときは、ゆっくり縫います。
＊縫いおわったら押え圧ダイヤルを「3」に戻します。

シャーディング

模様 89 または 90 を選びます。

「2」または「1」

○押え圧ダイヤル



○図案のふちどりや縫いつぶし
などに利用できます。

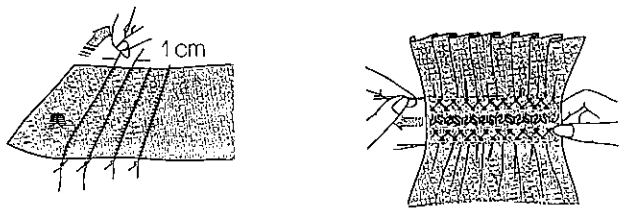
○図案にそって縫います。

＊縫い目のあらさや幅を変えると、変化した
シャーディングができます。
＊縫いおわったら、押え圧ダイヤルを「3」
に戻します。

スモッキング

模様 92 を選びます。

○模様は 22 92 93 94 100 などが使えます。



①② ③

①マニュアル糸調子1.0~2.0にセットして、縫い目のあらさ3.0~4.0の直線を、1cm間かくで数本縫います。

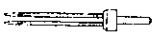
②上糸と下糸を布の片側で結び、反対側から下糸を引いて、ギャザーをよせ、上糸と下糸を結びます。

③直線縫いの糸と糸の間に模様縫いをしてから、直線縫いの糸を抜きとります。

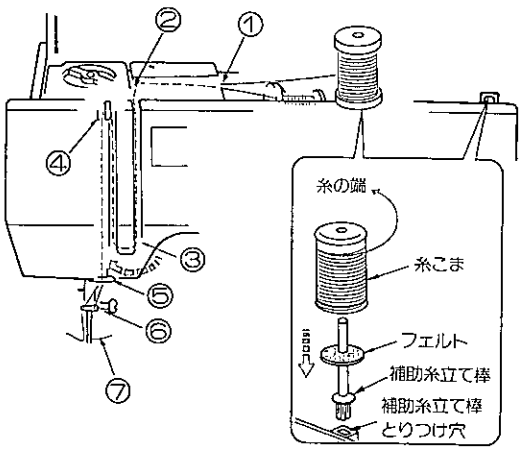
2本針縫い

模様 22 を選びます。

○ ぬい目の幅　3.0

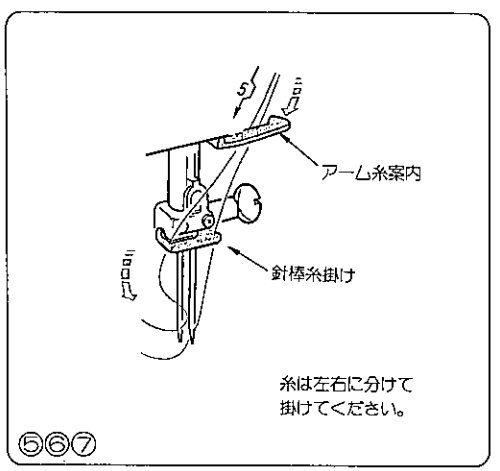
○ 針　  2本針

○ 模様は などが使えます。



*補助糸立て棒とりつけ穴は
2ヶ所あります。
どちらも利用できます。

*針のとりかえは、ミシンのセットをした後に行ってください。
*補助糸立て棒を立て、フェルト、糸こまを入れます。
*縫い目の幅調節キーは、3.0以上にセットしないでください。



①〜④の糸の通し方は、1本針のときと同じです。11ページをごらんください。
⑤アーム糸案内に右から掛けます。
⑥針棒糸掛けに左右に分けて掛けます。
⑦2本針に左右に分けて糸を通します。

*糸通しは使えませんので、針の手前から向こう側に、手で糸を通してください。

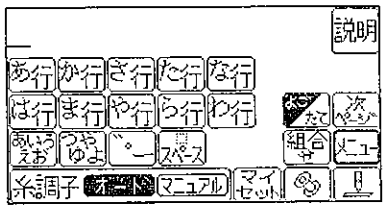
文字縫い

文字刺しゅうの際、編集にすると、普通刺しゅうより一文字少ない
普通刺しゅうを使うこと。

☆模様の選び方（「文字ぬい」モードキーを選びます。）

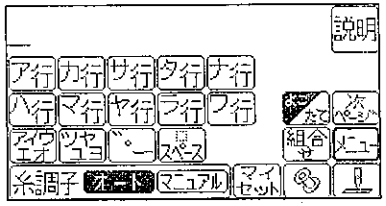
○ 次ページ キーおよび 前ページ キーで、ひらがな、カタカナ、アルファベット（ブロック体）（数字）、アルファベット（スクリプト体）（数字）の画面を表示させて文字、数字を選んでください。（４画面あります。）

①ひらがなが選べます。



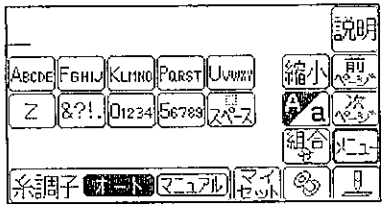
たて …横書き・縦書き切替キー

②カタカナが選べます。



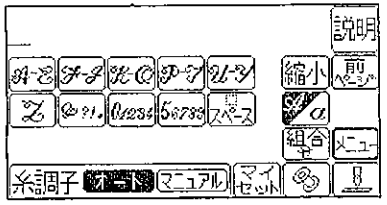
縮小 …文字の大きさが約⅔に縮小されます。（キーは一度押すと縮小となりもう一度押すと大文字に戻ります。）
（58ページ参照）

③アルファベット（ブロック体）文字、数字が選べます。



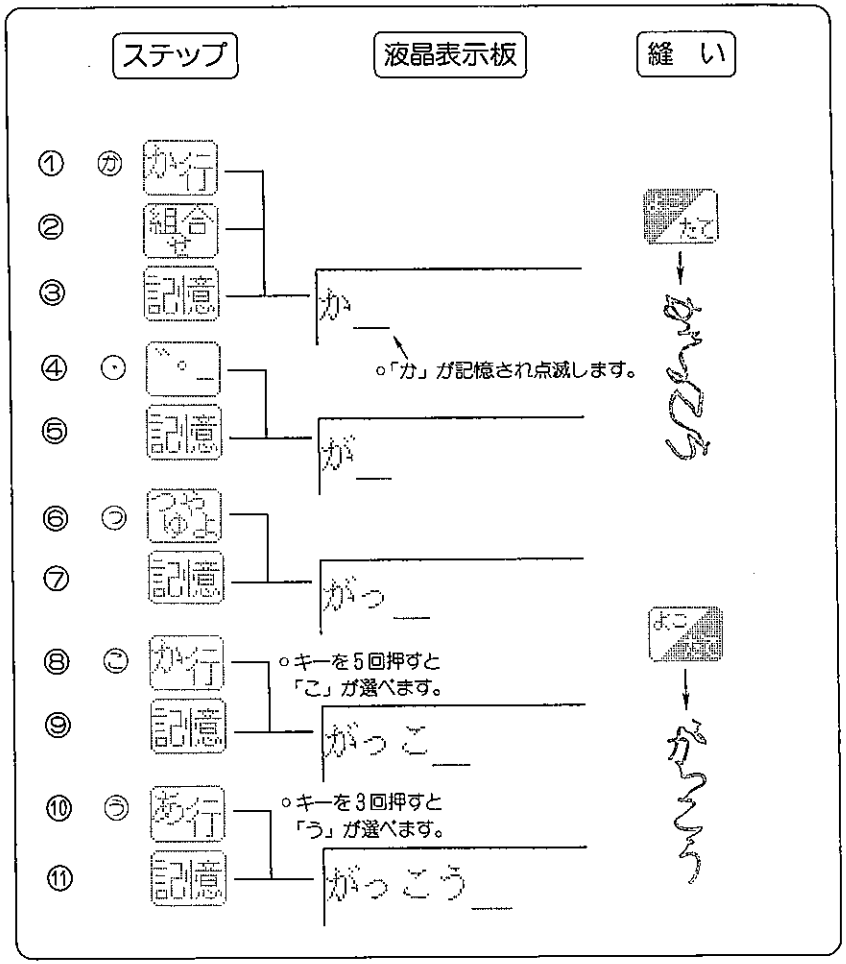
A a …書体切替キー（押すごとに大文字・小文字にかわります。）
（58ページ参照）

④アルファベット（スクリプト体）文字、数字が選べます。



a …書体切替キー（押すごとに大文字・小文字にかわります。）

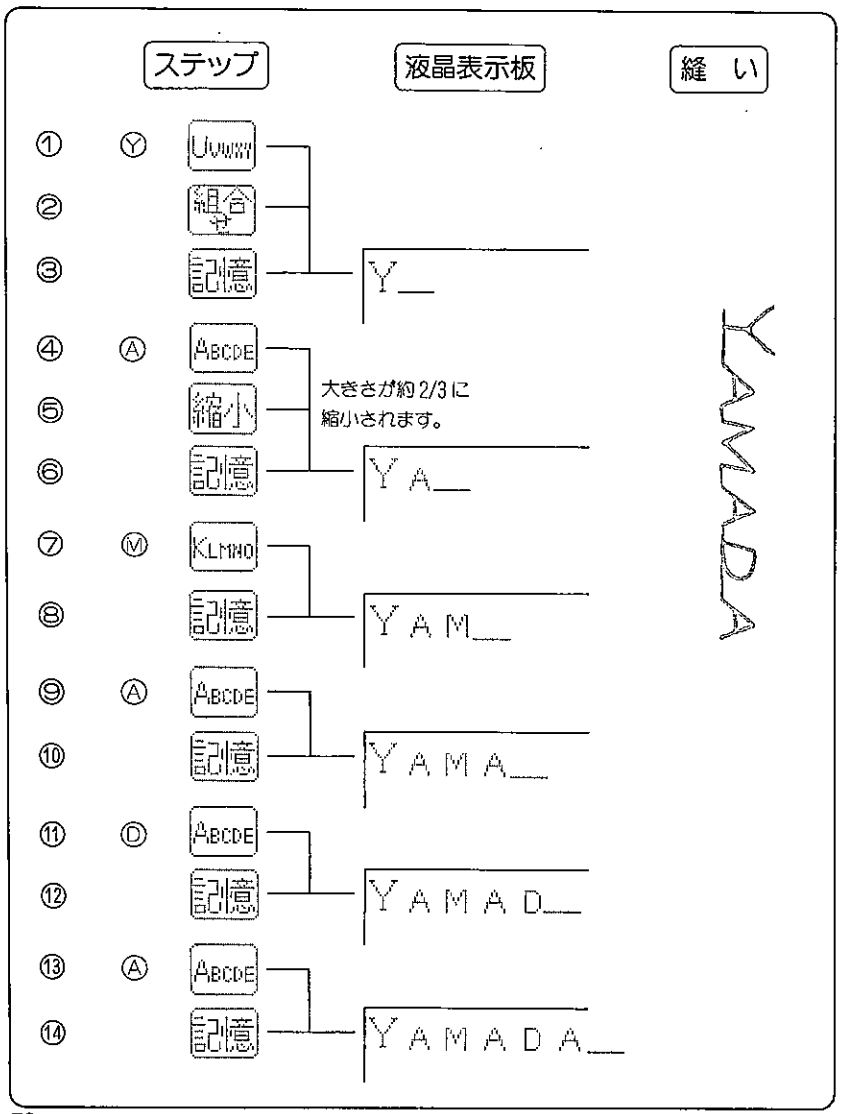
☆ひらがな縫いの例（がっこう）



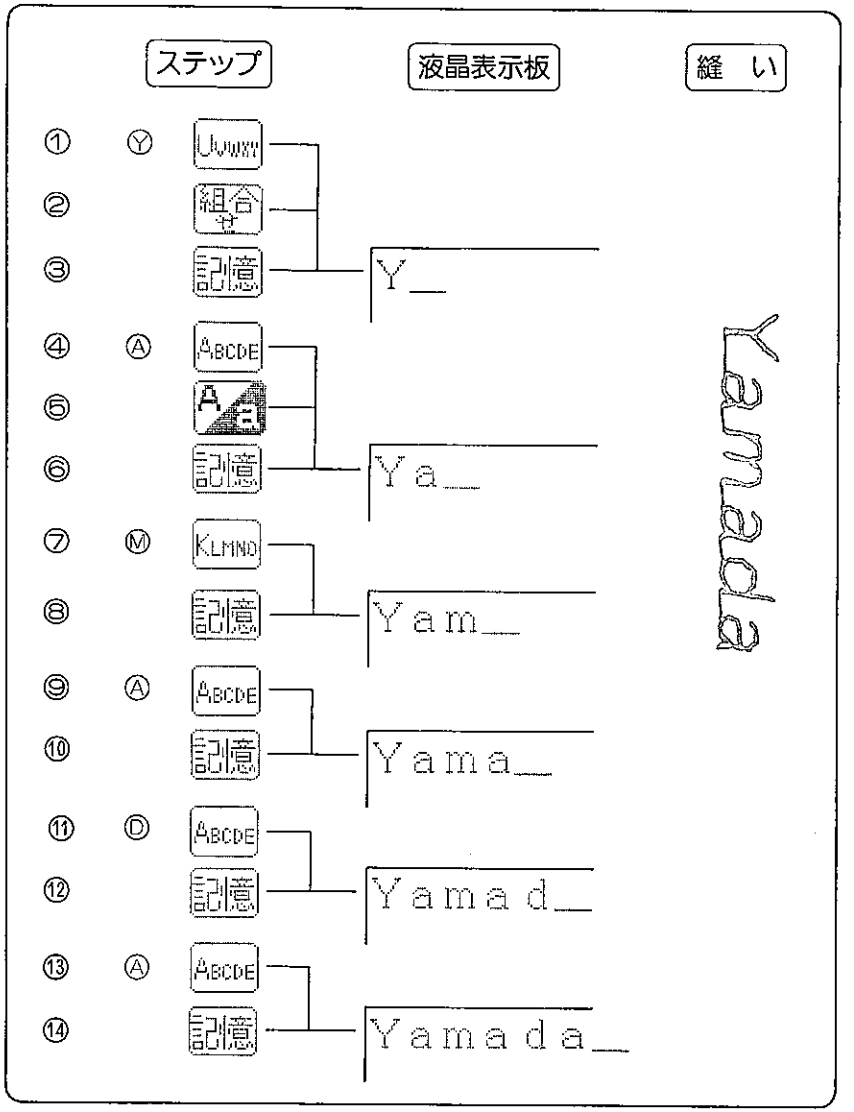
＊縫い終ったらいらない糸（わたり糸）を切って下さい。

（例）

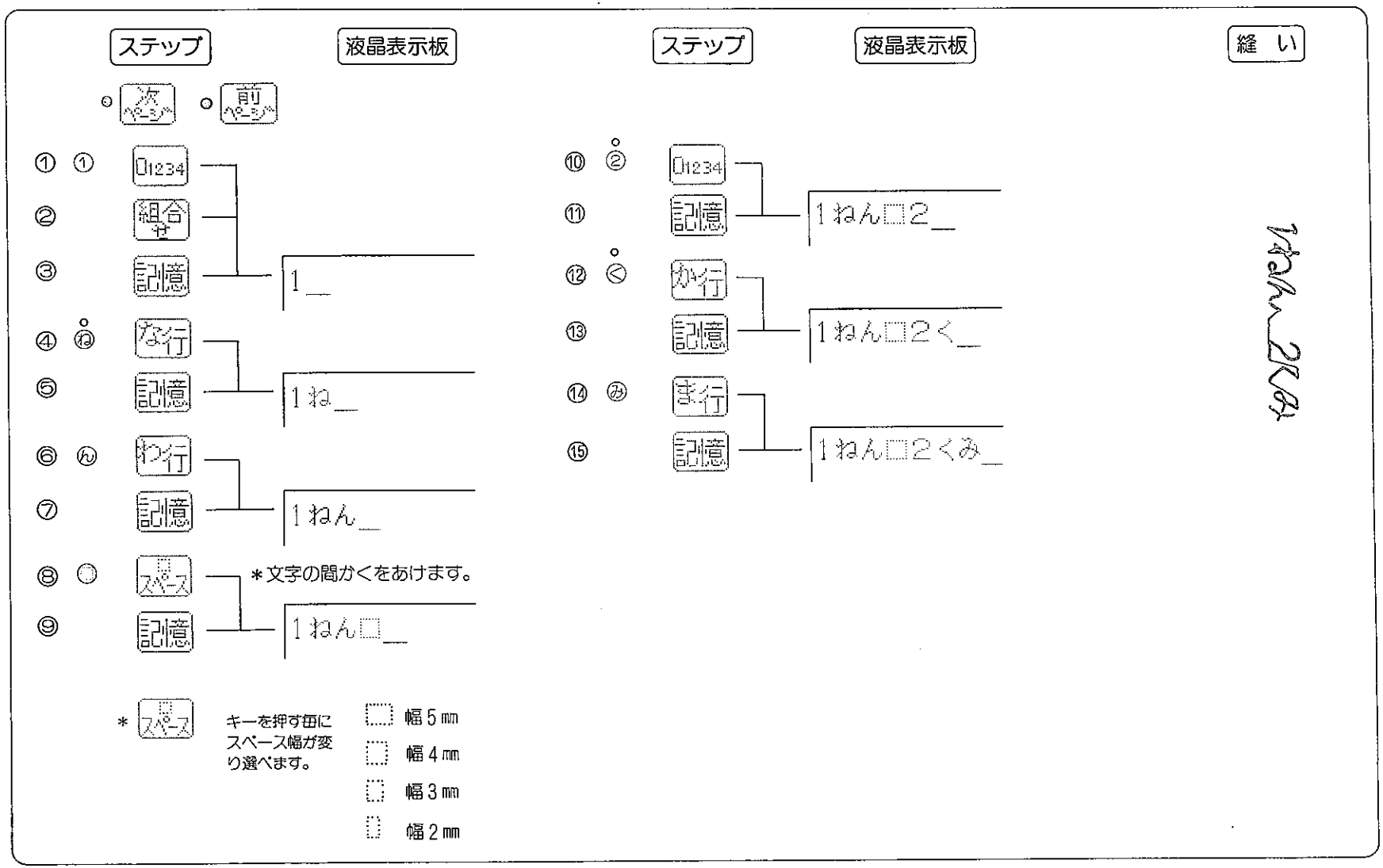
☆アルファベット（ブロック体）縫い 縮小キーを使った例



☆アルファベット（ブロック体）縫い 小文字キーを使った例



☆数字と文字の組み合わせ縫いの例（1ねん□2くみ）



＊◎印、○印のところで次ページキー及び前ページキーで模様を切替えてください。

☆「ストック」キーの使い方（登録のし方）

〝1ねん〟をストックキーに登録させたいときの例

ステップ	液晶表示板
①〝1ねん〟を記憶させます。	1ねん
②〝ストック〟キーを押します。	記憶 ストック コール 取消 頭出し
③ストックさせたい番号を押して、ストックキーを押します。 手順：①、②	画面表示が変わります。 1 2 3 4 5 ① ② ストック 戻る
Ⓐの表示後約2秒後に、Ⓑの表示となります。	Ⓐ 登録されました Ⓑ 1ねん

☆「コール」キーの使い方（呼び出し方）

〝1ねん〟を1番のストックキーに登録させたときの例

ステップ	液晶表示板
①〝コール〟キーを押します。	記憶 ストック コール 取消 頭出し 画面表示が変わります。
②〝1〟番キーを押して〝コール〟キーを押します。 ＊〝●〟印が登録されていることを示します。	1ねん 1 2 3 4 5 コール 戻る
約2秒後に表示が変わり呼び出せます。	1ねん

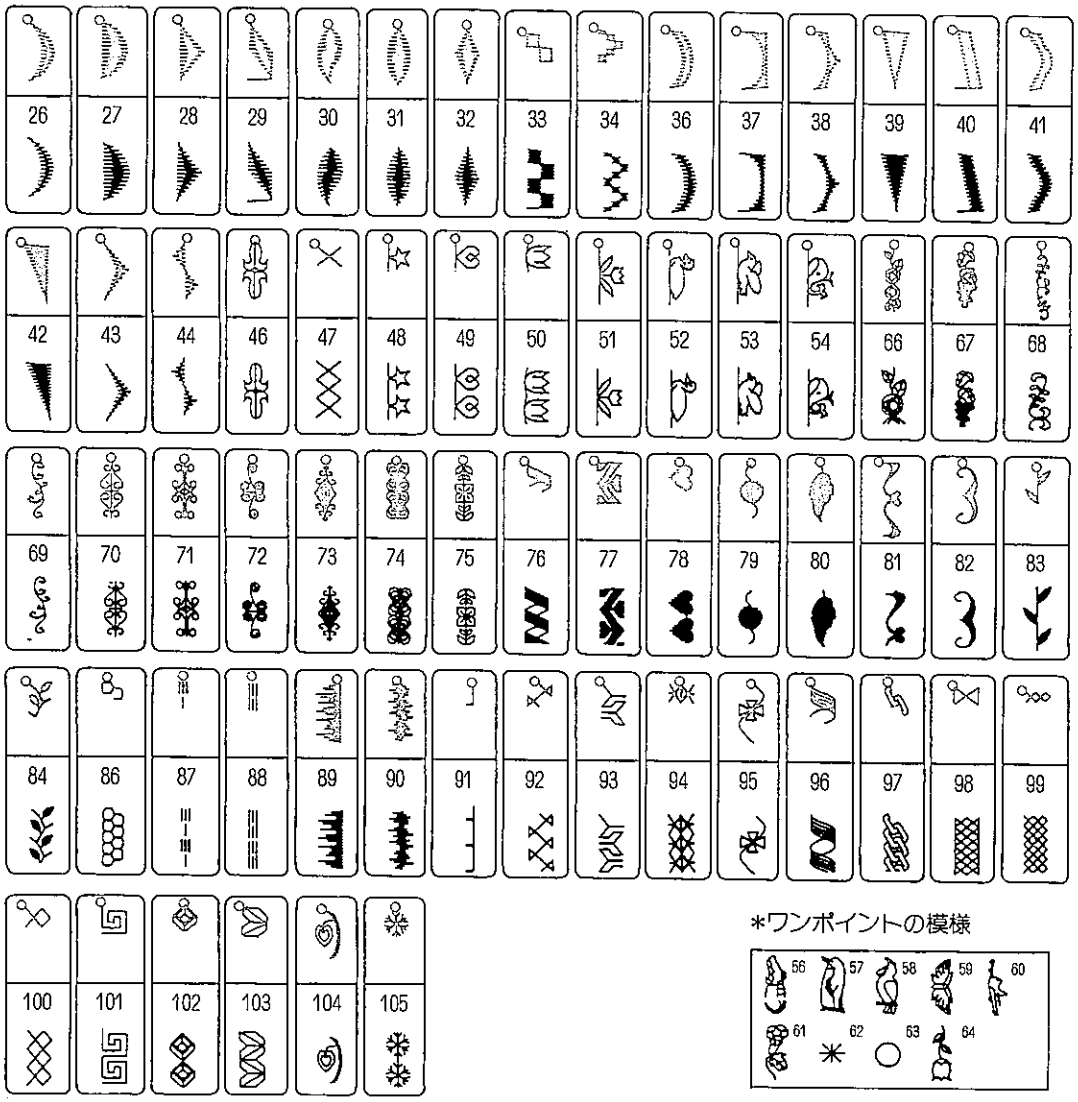
○ ストック に登録された模様は約3週間残ります。

○ ①～⑤番全部に登録してあり、新規に登録するときは、いらない登録番号を押して「ストック」キーを押してください。前の登録は消されて、新らたに登録されます。

☆組み合わせするときに知っておきたいこと（「普通ぬい」の場合）
（プログラム）

1．プログラムをはじめるときは、取り消しキーを押して、前に入っている記憶をあらかじめ消してください。
長いプログラムは、手順をメモしておくと誤りがふせげます。
2．模様は、50個まで記憶できます。
ただし、「直線、ＢＨ、実用ぬい」はプログラム記憶できません。
3．プログラムの途中で、模様をまちがえて選んで記憶させたことに気づいたら、取り消しキーを押すと、その模様だけが取り消されます。
4．アルファベットスクリプト体小文字の数字と「.」（ピリオド）及び「&」（アンド）の組み合わせのときには「.」（ピリオド）または「&」（アンド）の後に「␣」（スペース）を入れてください。
5．つぎの場合には、プログラム全部が取り消されます。
●電源を切る。
●プログラムした模様を縫いはじめてから、途中でミシンを止めて模様キーまたは、メニューキーを押す。
6．プログラムするとき間違い操作をすると警告電子音が鳴って誤りを知らせてくれます。

☆組み合わせするときの模様の単位



○上側の模様が、それぞれの模様をプログラムするときの１記憶単位となります。

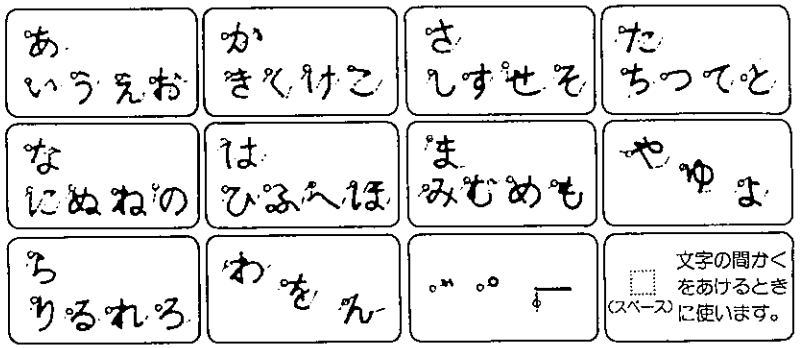
*模様を選んで止めぬいボタンを押して縫うとサイクル縫いになり上側模様の長さ（単位）まで縫って自動的に止まります。

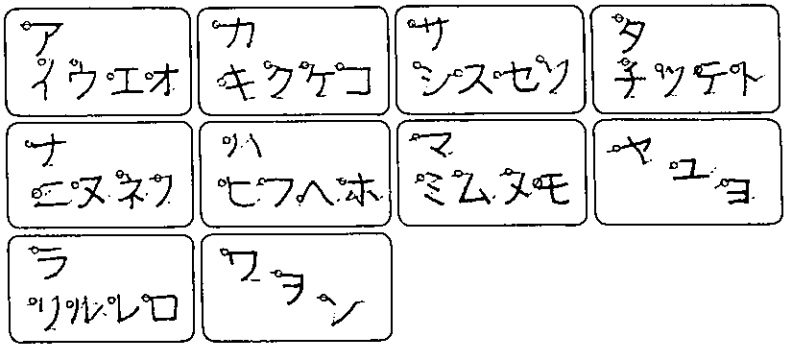
*○印をつけたところが、模様を縫いはじめる位置です。

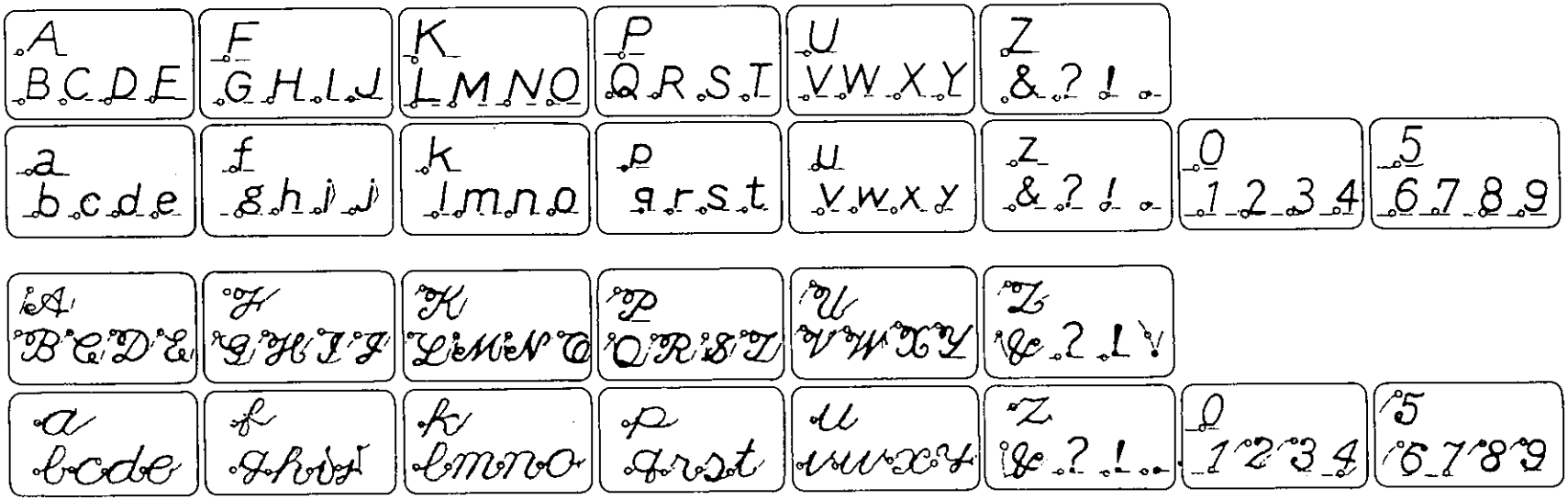
*ワンポイントの模様

☆文字と数字の糸を切る位置（ワンポイント縫い）

はじめとおわりの止め縫いを含んでいる模様を示し、
それぞれの模様がプログラムするときの１記憶単位となります。





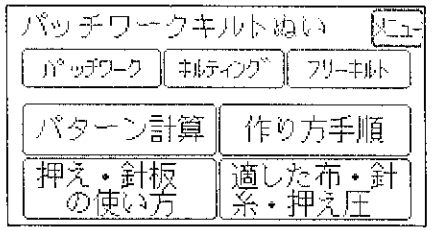


*○ 印をつけたところが、模様を縫いはじめる位置です。

*文字と数字の不要な縫い目を切るときは、図の線のところを切ってください。

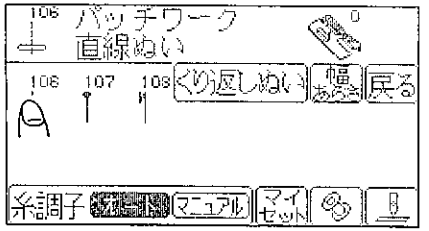
パッチワークキルト縫い

○メニュー画面の「パッチワーク」モードキーを押すとパッチワークキルトぬいの画面表示になります。

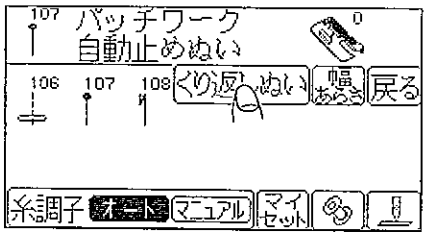


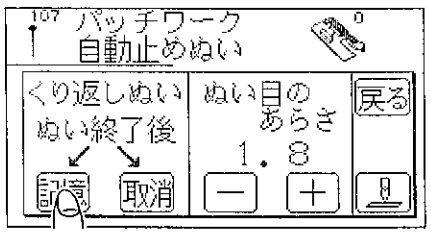
☆パッチワークキー

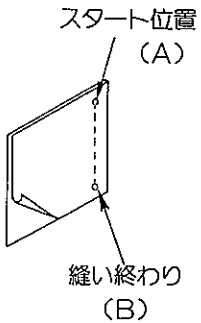
キーを押すと模様106～108が選べます。



☆くり返しぬいキー…はぎ合わせのとき同じ長さの縫いをくり返し使うときに押します。







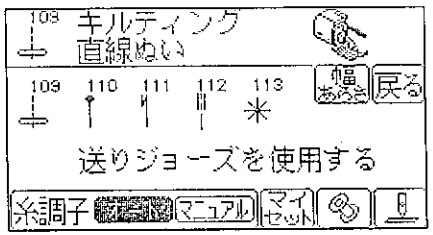
手順

①模様（106～108）を選びます。
②「くり返しぬい」キーを押します。
③「取消」キーを押します。
④スタートして（A）、ぬい終わり位置（B）で返しぬいボタンを押します。（模様106はスタート・ストップボタンを押します。）
⑤自動的に止まったら「記憶」キーを押します。

＊縫い通したい時や、縫い長さを変えたい時は、「取消」キーを押してから縫い始めます。

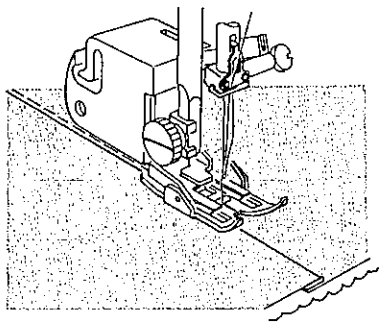
☆ キルティング キー

模様109～113が選べます。



〈縫い〉

送りジョーズを使用します。

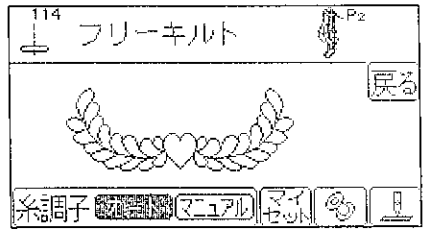


○ 模様109～113を選びキルティングや落しミシン（接ぎ合わせた布どうしの縫い目のきわに目立たないようにかけるステッチ）をします。

*送りジョーズのつけ方は、23ページをごらんください。

☆ フリーキルト キー

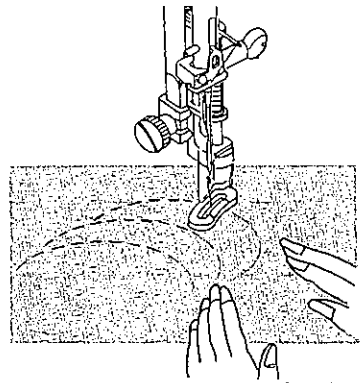
模様114が選べます。



*「フリーキルト」キーを押すと自動的に送り歯が下がります。（キャリッジが移動しますので注意して下さい。）

〈縫い〉

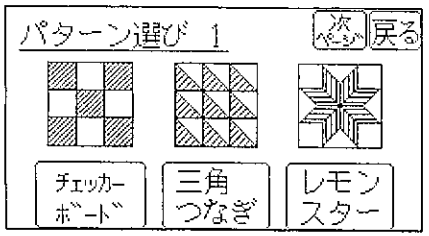
ダーニング押さえを使用します。



○ 曲線などの図案を両手で布を案内しながらキルティングします。

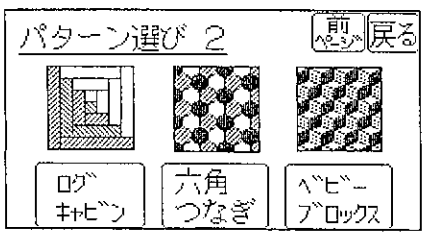
*ダーニング押さえのとりつけ方は、69ページをごらんください。

☆ パターン計算 キー…布片の大きさ、
枚数がわかります。



「次ページ」キーで変わる。

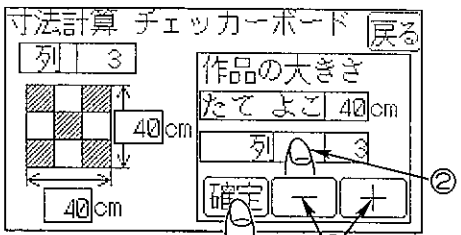
「前ページ」キーで変わる。



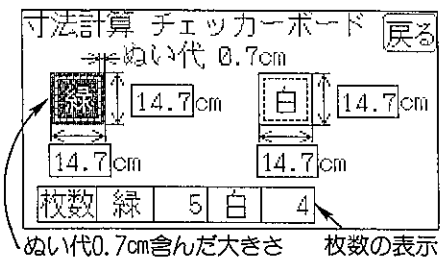
○パターンの種類は6つあります。

〈計算のし方〉

例) チェッカーボード キーを押したとき



「確定」キーを押すと変わります。



①作品の大きさを「ー」、「＋」キーで入力します。

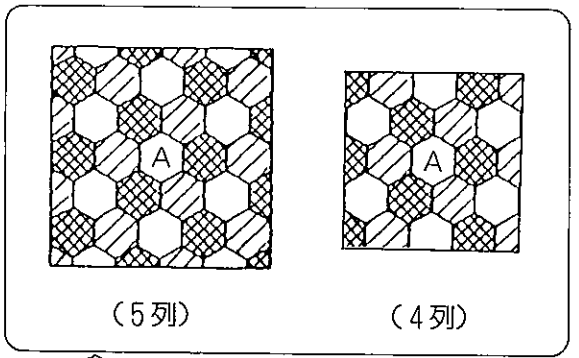
作品の大きさ
- チェッカーボード……5cm～100cm
- 三角つなぎ、レモンスター、六角つなぎ……8cm～100cm
- ログキャビン…… 11cm～100cm
- ベビーブロックス……9cm～100cm

②「列」キーを押して「ー」、「＋」キーで入力します。

③「確定」キーを押します。

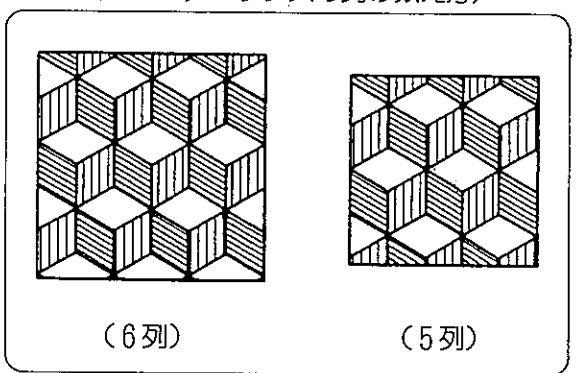
④布片の大きさ（ぬい代0.7cmを含む）と必要な枚数が表示されます。
＊配色の例も表示されます。

〈六角つなぎの列の数え方〉



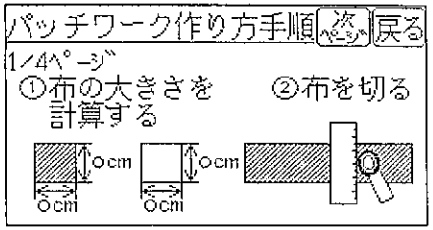
○白 Ⓐ を中心に6角形の数を横に数えます。

〈ベビーブロックスの列の数え方〉

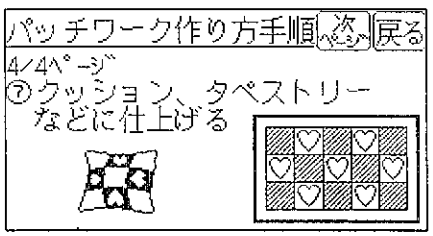


○ を中心にして数えます。

☆ 作り方手順 キー…パッチワーク作りの手順がわかります。

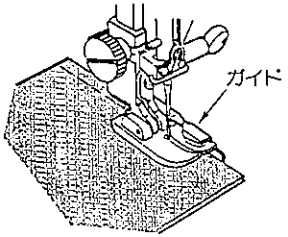


「次ページ」キーで変わります。
(1/4~4/4ページがあります。)

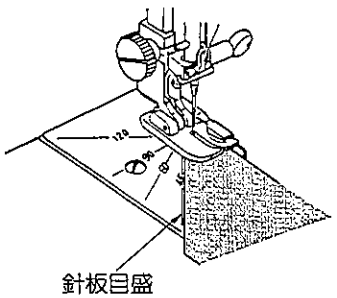


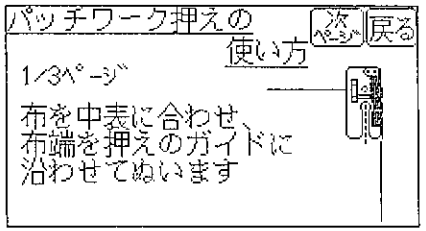
*確認後「戻る」キーを押してください。

☆ 押え・針板の使い方 キー…パッチワーク押えの使い方および針板の角度目盛の使い方がわかります。

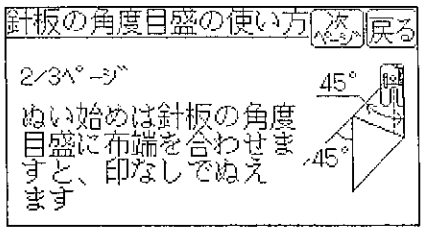


*ガイドに布端をあてるだけでぬい代0.7cmが縫えます。

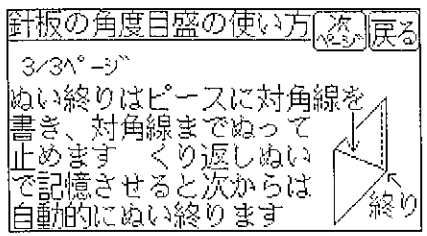




「次ページ」キーで変わります。

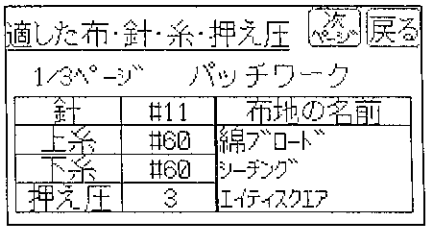


「次ページ」キーで変わります。

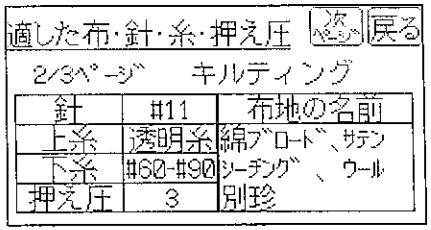


*確認後「戻る」キーを押してください。

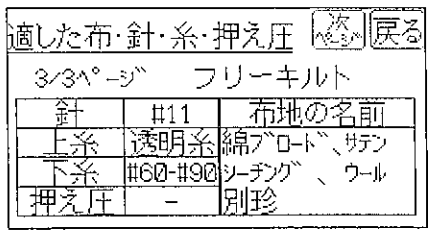
☆ 適した布・針糸・押え圧 キー…パッチワーク、キルティング、フリーキルトに適した布・針・糸・押え圧がわかります。



「次ページ」キーで変わります。



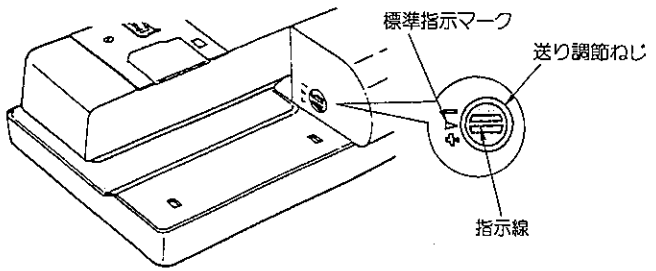
「次ページ」キーで変わります。



*確認後「戻る」キーを押してください。

模様の形の整え方

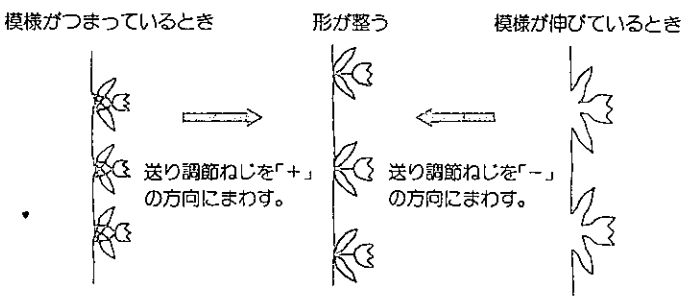
布の種類、厚さ、縫いの速さなどによっては、模様の形がくずれる場合があります。実際に縫うときと同じ条件で試し縫いをしながら、送り調節ねじでつぎのようにして調節してください。



＊標準指示マークと指示線が一致する位置が、模様を正しく縫える目安の位置です。

☆スーパー模様の形の整え方

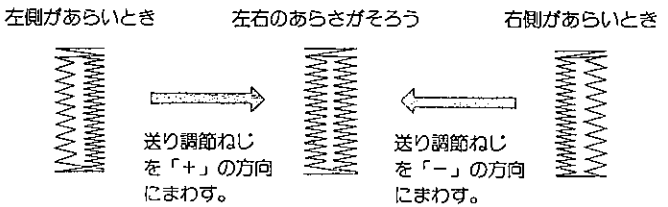
スーパー模様の形が伸びたり、つまったりして整わないときは、下の方法で調節します。



☆マニュアルボタンホールの左右の縫い目のそろえ方

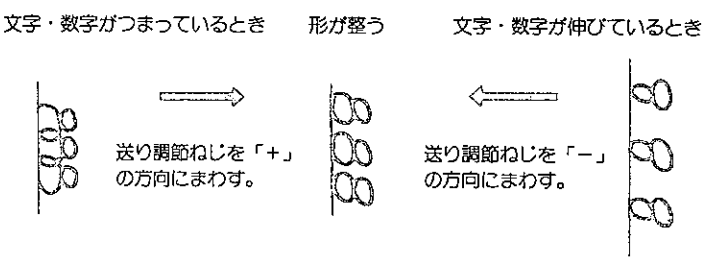
ボタン穴かがりの左右の縫い目のあらさがそろわないときは、下の方法で調節します。

＊ボタン穴かがりはRオートマチックボタンホール押えを使います。



☆文字・数字の形の整え方

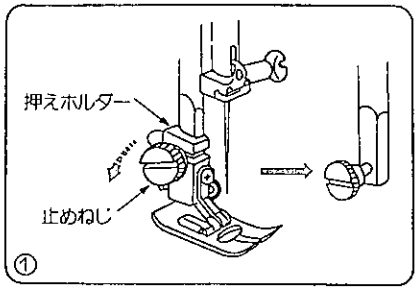
文字・数字の形が整わないときは、下の方法で調節します。



ダーニング押えの使い方

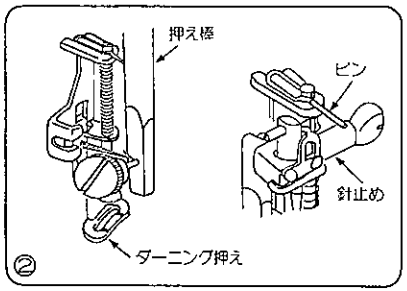
☆ダーニング押えのとりつけ方

①押えホルダーを外す。



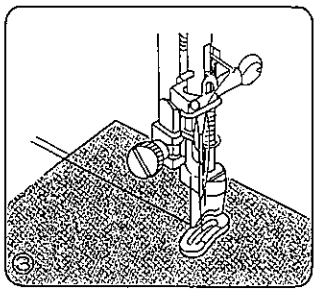
○押え上げをあげます。
○止めねじをゆるめて、押えホルダーを外してください。

②ダーニング押えを取付ける。



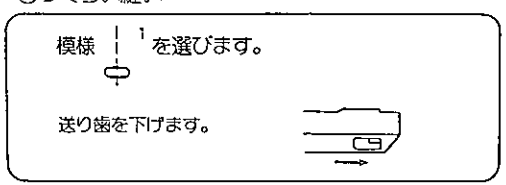
○ダーニング押えは、ピンを針止めの上に乗せるように押え棒に取付けます。
○止めねじでしっかり固定してください。

③糸を通す。

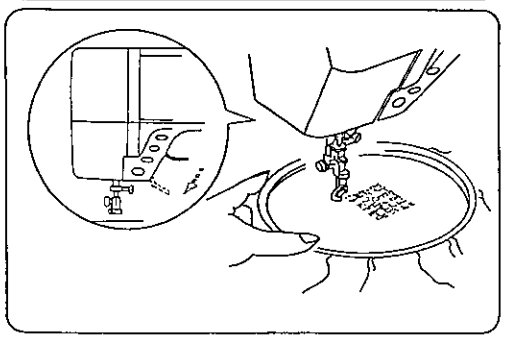


○上糸を押えの針穴に上から下へ通し下糸と一緒に向こう側に引いて下さい。

①つくろい縫い



*送り歯を下げて、スタート・ストップボタンを押すと「OKモニター」が表示されますので、確認の後「戻る」キーを押して、スタートして下さい。

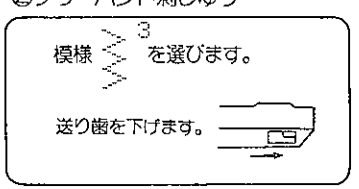


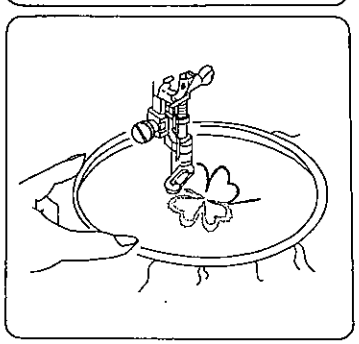
①つくろい縫いを始める位置に針を刺して、押え上げをさげます。

②ゆっくり縫い始め、刺しゅう枠を前後に移動してつくろい部分を縫って埋めます。

③刺しゅう枠を90°回転して、先きの縫い目に直角につくろい縫いを再びします。

②フリーハンド刺しゅう





○刺しゅう枠に布を張り図案にそって縫います。

○図案のふちどりや縫いつぶしなどに利用できます。

*縫い目の巾を変えると、変化したフリーハンド刺しゅうができます。

刺しゅう縫いをする前に

☆芯地

きれいに仕上げるには、芯地を使うときれいに仕上がります。

①刺しゅう部分の布の裏側に芯を張る

フェルトやしっかりした厚手の布なら芯を張らずにそのまま縫えます。薄い布や化繊合繊の布、またはジャージーのような伸縮性のある布の場合は、不織布の芯地を張ります。

芯地はアイロンで接着するタイプと接着しないタイプがあります。接着しないタイプの芯地はアイロンをかけられない布やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうする時に使って下さい。

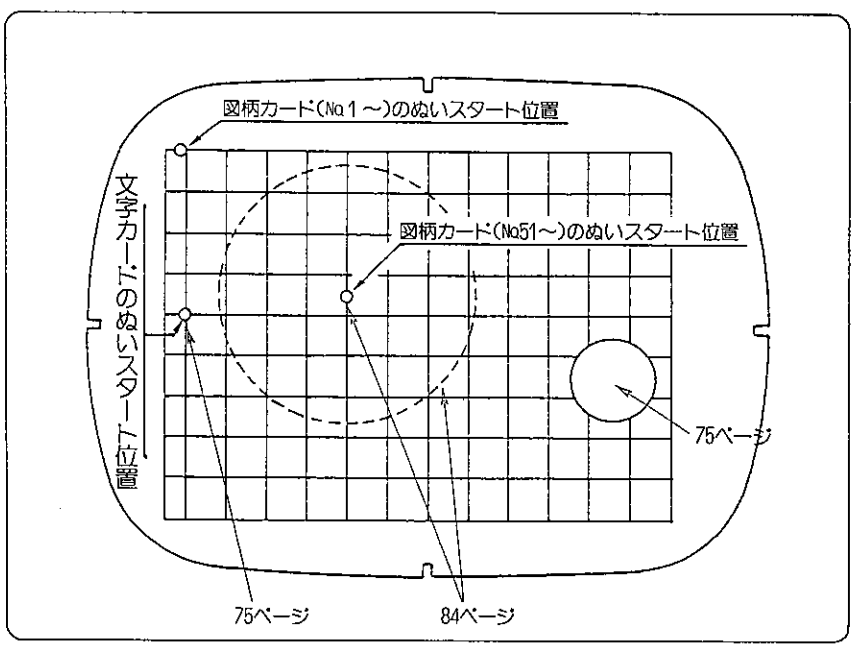
布がしっかりしている場合には芯地の代りに布の下に薄紙を敷いてもよいでしょう。接着芯は布の厚さに合せて選びます。厚手の布の場合は、ややそれより薄い芯地がよいでしょう。

☆布と針と糸の関係

布	針	糸
●うすい布	●11番 ●ブルー針	●ミシン刺しゅう糸 （ジャノメテレーザ 50番） ●絹糸　50番～100番 ●化繊糸　50番～100番
●普通の布		
●ニット地		
●厚 い 布	●14番	

＊刺しゅう縫いの下糸には、専用の「テレーザ下糸用スパン糸90番」をおすすめします。

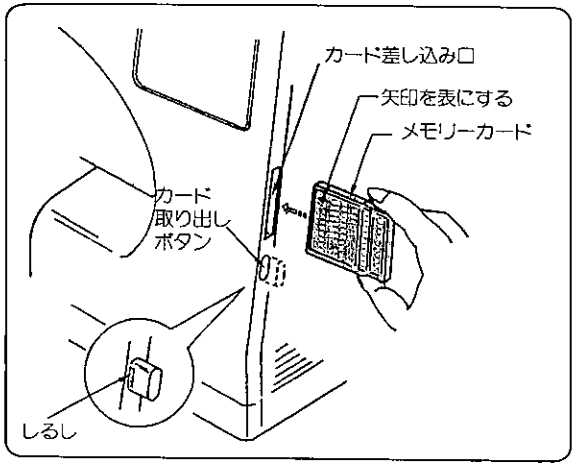
☆テンプレート



テンプレートの使い方は、上図のページをごらんください。

☆メモリーカードのセットの仕方と取り出し方

〈セットの仕方〉



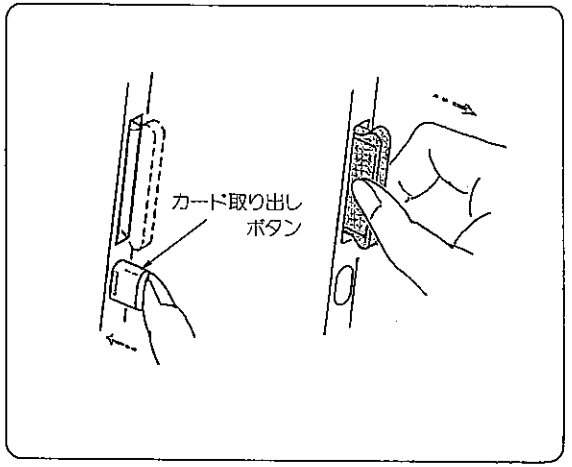
①電源スイッチを切にします。
②メモリーカードの矢印を表にして、カード差し込み口にまっすぐさしこみます。
③「カチ」と小さな音がするまで、少し強く押しこみます。

＊カード取り出しボタンの赤いしるしが見えて、カードが約2㎜飛び出ている状態が正しくセットされた位置です。（右図参照）

④電源スイッチを入れます。ミシンは、メニュー画面になり、数秒後に自動的に直線縫いにセットされます。

＊刺しゅう縫いモードでは、コントローラー（別売品）は使用できません。スタート・ストップボタンを使用してください。

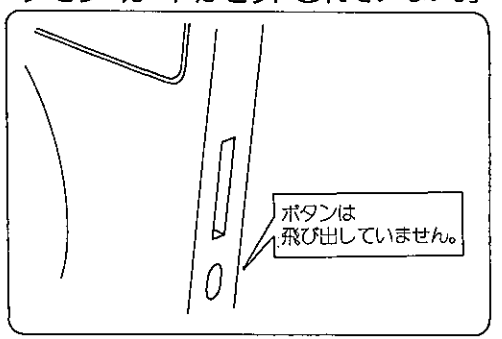
〈取り出し方〉



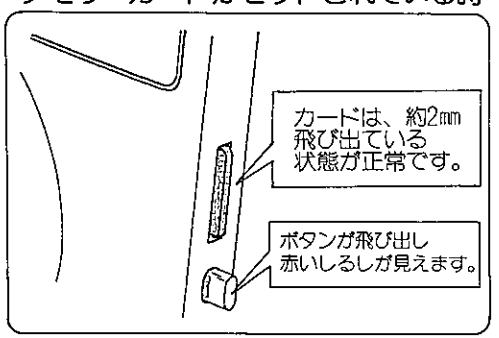
①電源スイッチを切にします。
②カード取り出しボタンを押します。
③少し飛び出したカードを手で引き抜きます。

＊カードの取り出しは電源を切った状態で行なってください。

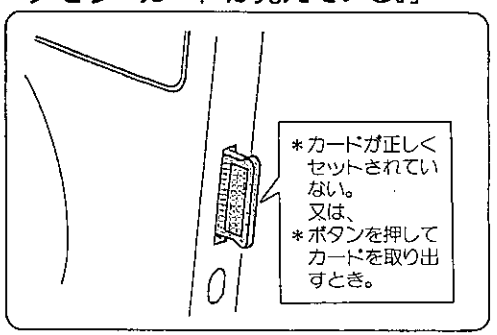
●メモリーカードがセットされていない時



●メモリーカードがセットされている時



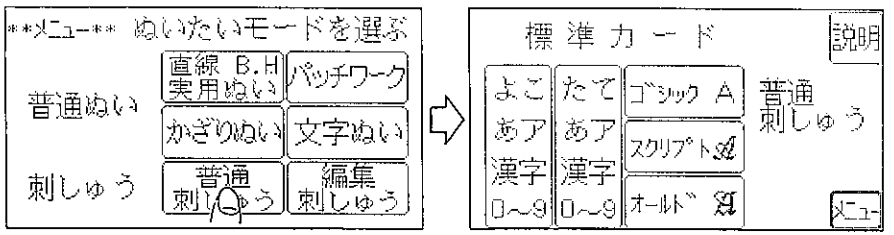
●メモリーカードが見えている時

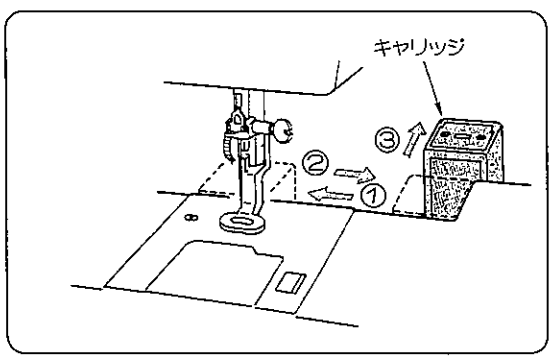


☆普通刺しゅうモードまたは、編集刺しゅうモードを選びましょう。

例). 標準カードを使用のとき

①「普通刺しゅう」モードキーを押すと…。　○文字選択画面が表示されます。





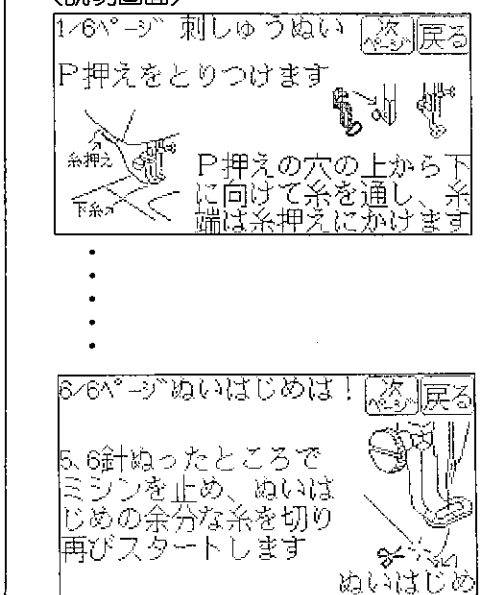
○キャリッジが①~③の順に移動し、送り歯が自動的にさがります。

＊キャリッジが移動しますので、キャリッジの向う側には、物を置かないでください。
＊電源を切る前には、必ずメニュー画面に戻し、キャリッジを収納してください
＊キャリッジの移動中に、はずみ車を手で回さないでください。
＊編集刺しゅうぬいは、87ページをごらんください。

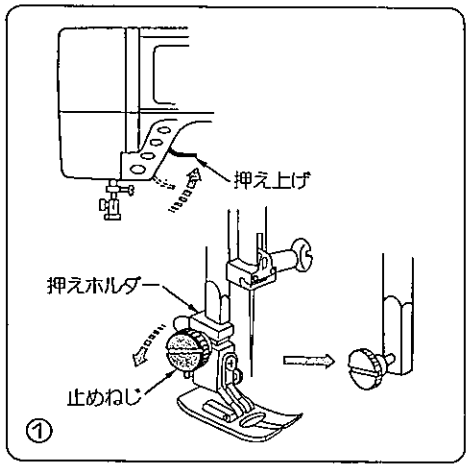
☆「説明」キーの使い方

○文字選択画面の「説明」キーを押すと、刺しゅう縫いに必要な準備の手順がわかります。
「次ページ」キーで画面を切替えてください。

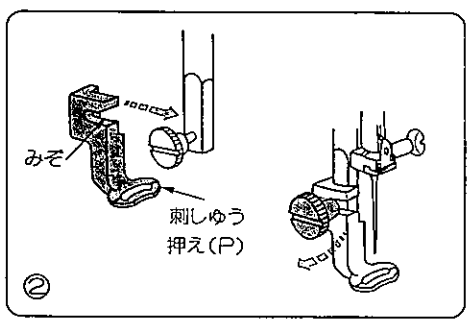
（説明画面）



☆刺しゅう押え(P)のとりつけ方

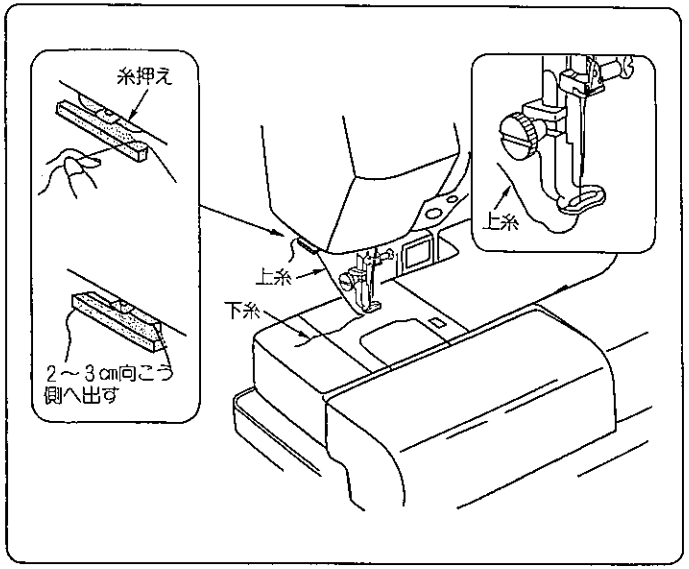


①押え上げをあげ、止ねじをゆるめて押えホルダーをはずします。
(23ページ参照)



②刺しゅう押え(P)をとりつけ、ねじまわしで止めねじをしっかりしめます。

☆縫いはじめの糸掛け

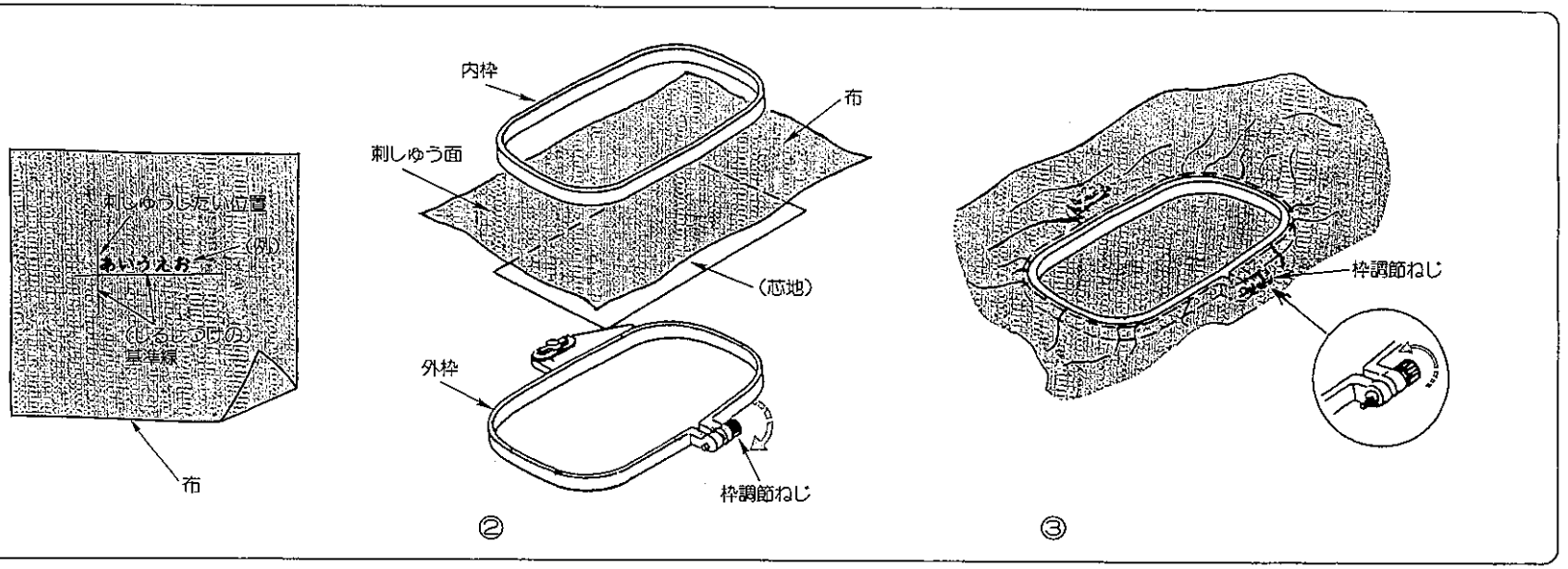


○糸の通し方は、通常縫いをごらんください。
(11ページ参照)
○刺しゅう押え(P)の穴の上から下に向けて上糸を通して、縫いはじめの糸端を糸切りの糸押え部に手前から掛けます。
(2～3cm向こう側へ出します。)

☆補助テーブルの使用

○刺しゅう縫いのときには、補助テーブルを使用して下さい。
(5ページ参照)

☆布の張り方

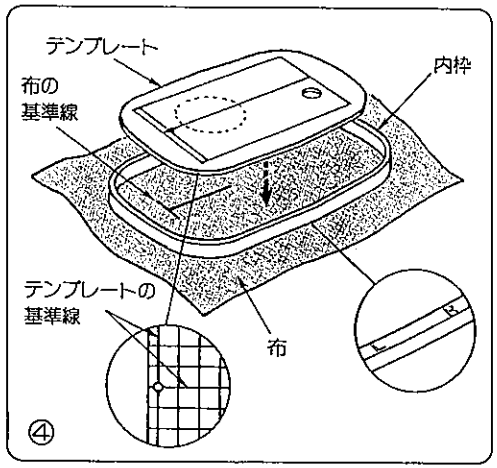


①布の刺しゅうしたい位置にチャコで基準線のしるしをつけます。

②外枠の枠調節ねじをゆるめておき、外枠の上に布をかぶせその上から内枠ではさみつけます。

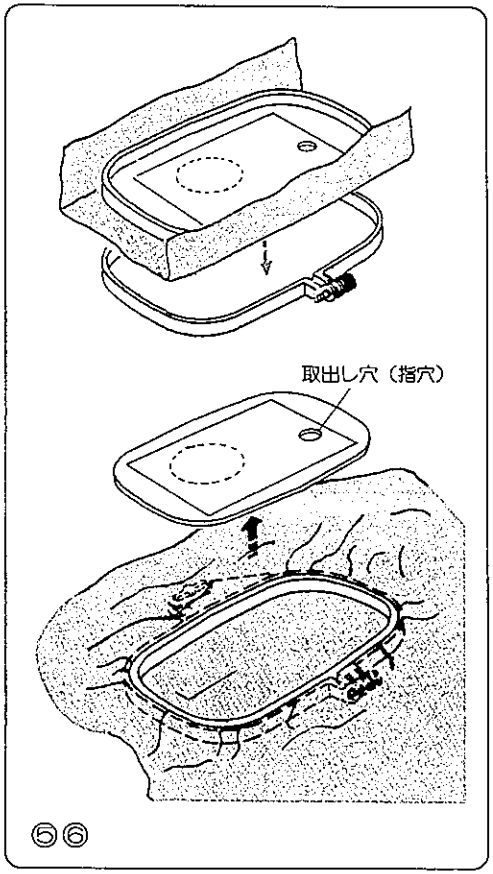
③枠調節ねじを指先でしまったのが確認できるまでしめます。しめおわったら、枠調節ねじはうごかさないで内枠と布をいったん外枠からはずします。

＊布を張るときは、外枠を平らな場所に置いて張ってください。
＊うすい布や伸びやすい布の場合は、70ページをごらんください。



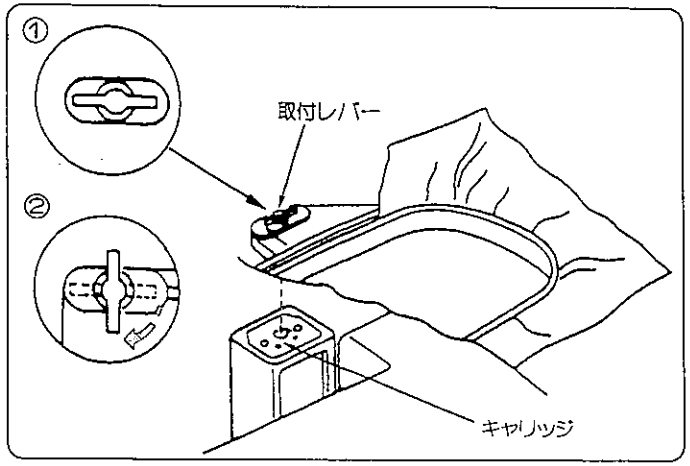
④平らな場所に布を置き、その上に内枠をのせ、つきにテンプレートを入れ、テンプレートと布の基準線を合わせます。(文字カードの場合)

＊図柄カードのときの基準線の合わせ方は、84ページをごらんください。
＊内枠マークを上にし、Rを枠調節ねじ側にしてください。



⑤布とテンプレートの基準線がズレないように外枠にセットします。
⑥取り出し穴に指を入れて、テンプレートを取り出します。

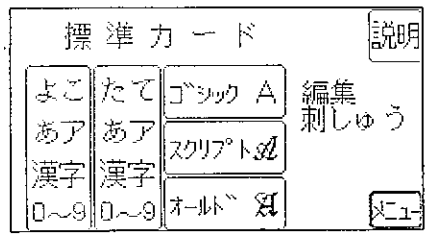
☆刺しゅう枠のとりつけ方



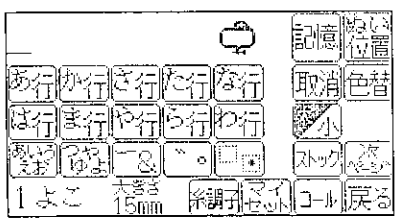
①取付レバーを横にしてキャリッジの穴に差込みます。
②取付レバーを手前に回して固定します。

標準メモリーカードによる普通刺しゅう縫い

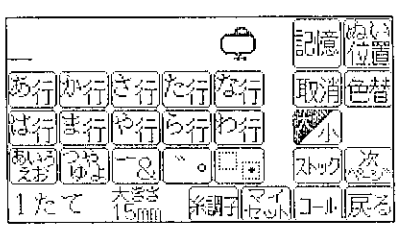
☆文字の選び方と操作キー



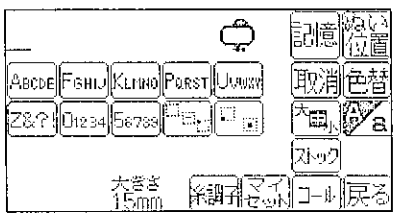
① よこ / 漢字 / 0～9 キーを押したとき、横書きのひらがな、漢字、数字が選べます。



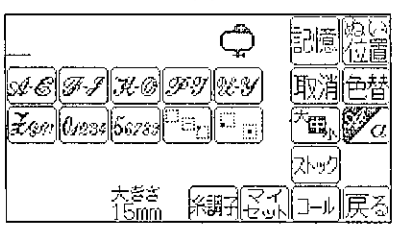
② たて / 漢字 / 0～9 キーを押したとき、縦書のひらがな、漢字、数字が選べます。



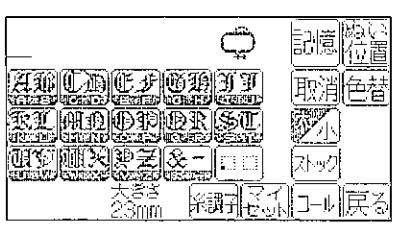
③ ゴシック A キーを押したとき、ゴシック文字が選べます。



④ スクリプト キーを押したとき、スクリプト文字が選べます。



⑤ オールド キーを押したとき、オールドイングリッシュ文字が選べます。



ぬい位置 ----- 模様の縫い位置を確認するキー
（78ページ参照）

色替 ----- 上糸の色を変えるときに使うキー
（79ページ参照）

記憶 ----- 模様を記憶させるキー
（49ページ参照）

取消 ----- 取消しをするキー
（49ページ参照）

大 / 小 ----- 文字サイズ切替キー
（押すごとに文字の大きさがかわります。）

A / a ----- 書体切替キー（押すごとに大文字・小文字にかわります。）

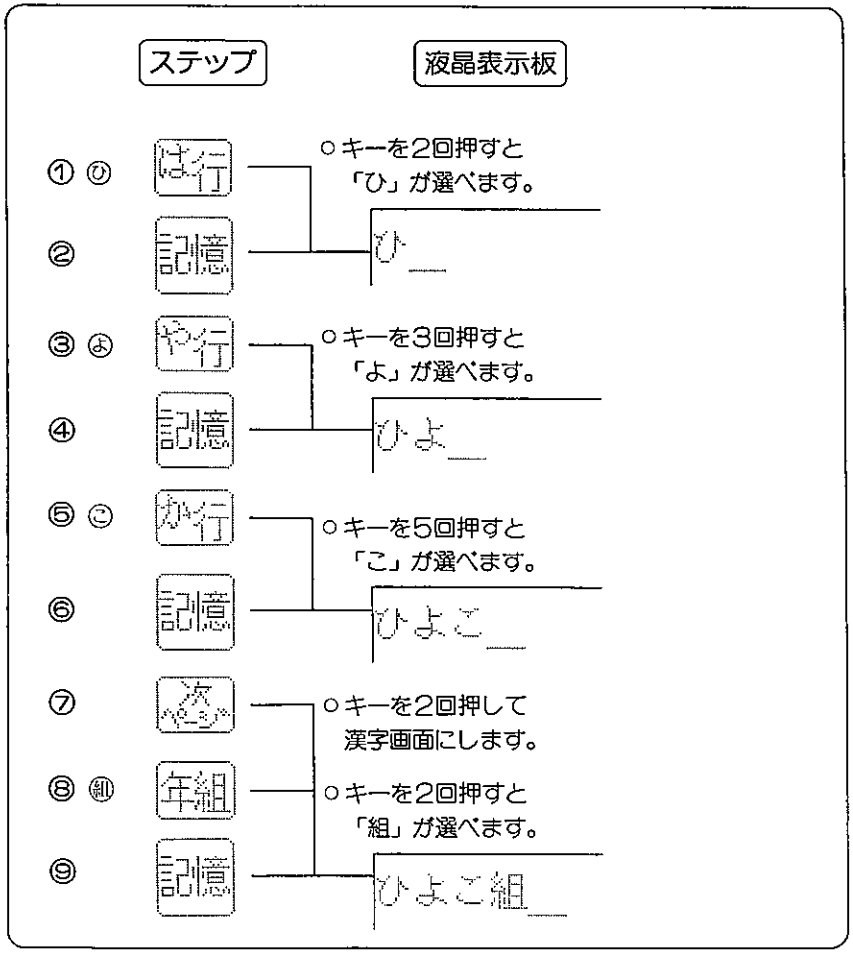
ストック ----- 模様を登録するキー
（60ページ参照）

コール ----- 登録模様を呼び出すキー
（60ページ参照）

マイセット ----- 糸調子のオート値を変更するキー
（21ページ参照）

糸調子 ----- マニュアルで調整するときのキー
（82ページ参照）

☆ひらがなと漢字の組み合わせ縫いの例（ひよこ組)「よこ」



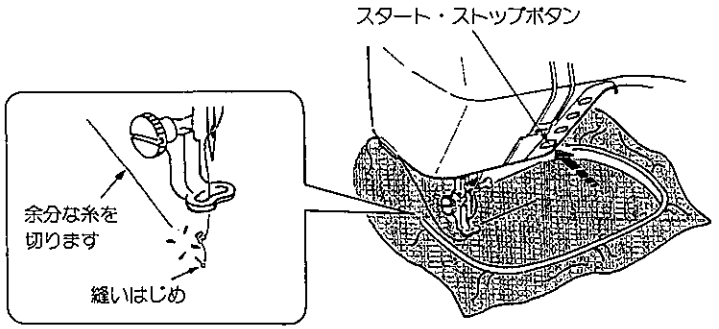
縫　い

ひよこ組 → ひよこ組

（わたり糸）

*縫いおわったらわたり糸を切ってください。

● 縫い方



①押え上げをさげて、スタート・ストップボタンを押し、5～6針縫ったところで、スタート・ストップボタンをもう一度押して、ミシンを一旦止めます。

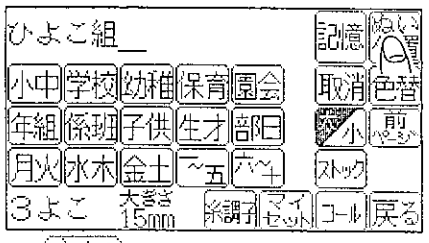
②押え上げをあげて、縫いはじめの余分な糸を縫い目のきわから切り、押え上げをさげます。

*刺しゅう縫いの縫いはじめには、必ず余分な糸を切ってください。

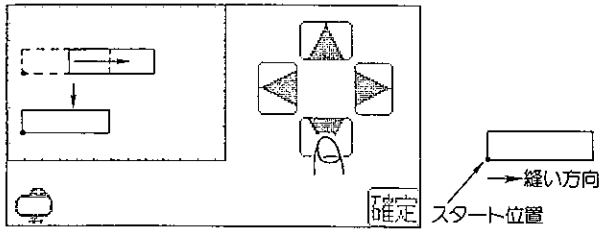
③再び、スタート・ストップボタンを押して、縫いはじめると、液晶表示板の「ひよこ組」が移動して、縫いおわると最初の表示に戻ります。

☆つづけて同じ文字を他の位置へ、縫う場合

《ぬい位置キーの使い方》



① ぬい位置 キーを押すと最初のスタート位置と文字の縫える範囲を表示します。



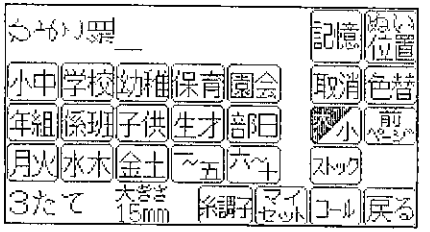
② ✥ キーのいずれかを押して針先を縫いたい位置に合わせます。（合わせおわったら「確定」キーを押します。）

③スタート・ストップボタンを押して縫います。

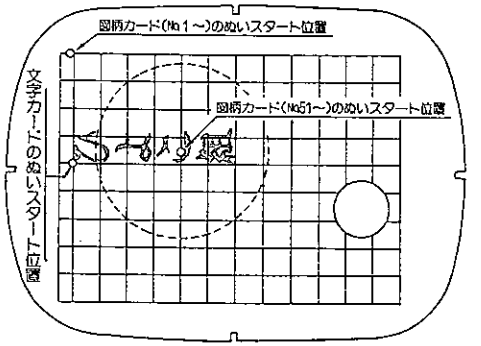
☆ひらがなと漢字の組み合わせ縫いの例（ひよこ組）「たて」

① たて あア 漢字 0~9 キーを押して、「ひよこ組」を記憶させます。
手順は（77ページ参照）

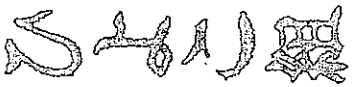
表示もたてに変わり、縫いも表示の向きに縫われます。



*右図の位置に縫えます。



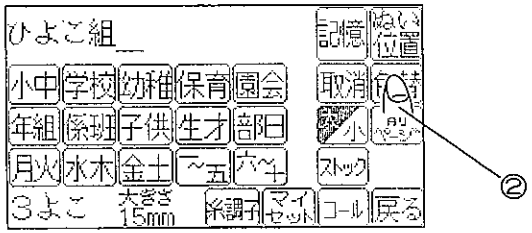
縫い



☆色替キーの使い方 “ひよこ組” の各文字を色替するときの例

《手順》

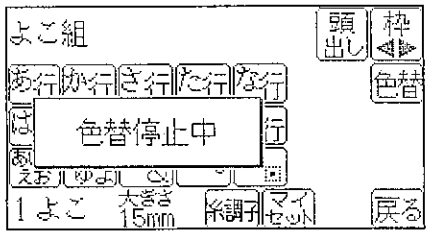
①“ひよこ組” を記憶させます。



② 色替 キーを押します。

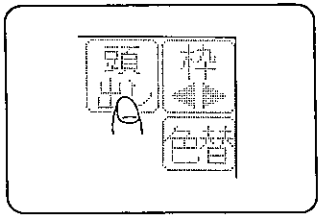
③スタート・ストップボタンを押して縫います。

④1文字縫うたびに自動的に止まり、「色替停止中」表示が出ますので、別色の糸と交換します。

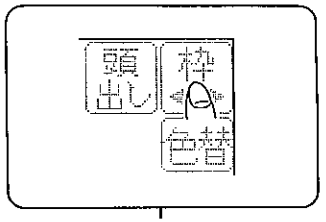


☆頭出しキーの使い方

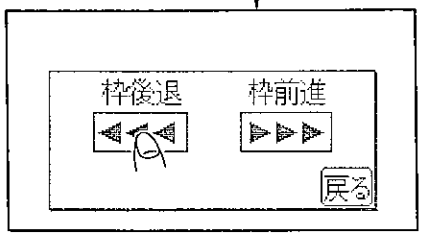
スタート位置に枠が戻ります。
縫い途中で模様の最初から縫い直したいときに使用します。



☆枠キーの使い方……枠を後退させたり、前進させるときに使います。



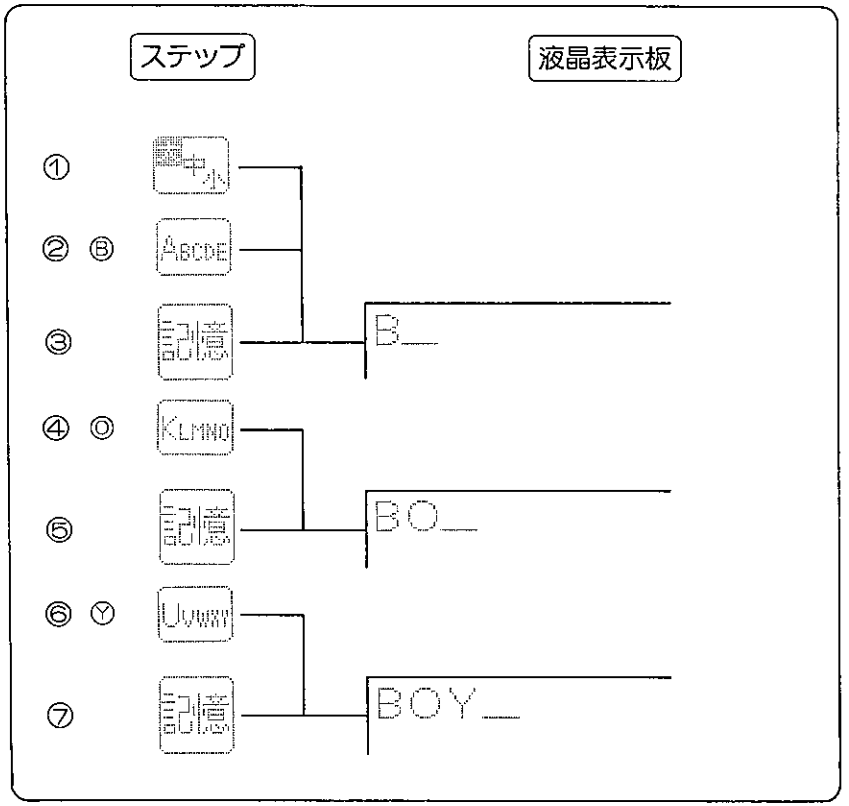
表示が変わります。



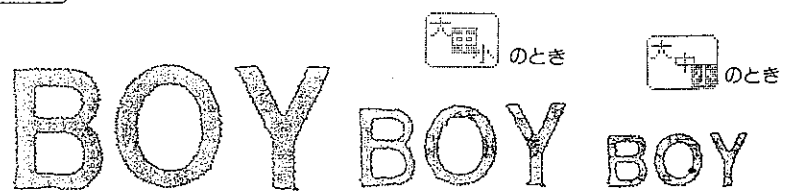
○枠後退キーの使い方
縫わずに枠だけ後退させます。
*押すごとに10針後退します。
糸の切れた部分から模様を縫いつなぐときに使用します。

○枠前進キーの使い方
縫わずに枠だけ前進させます。
*押すごとに10針前進します。
枠を戻しすぎたときの修正に使用します。

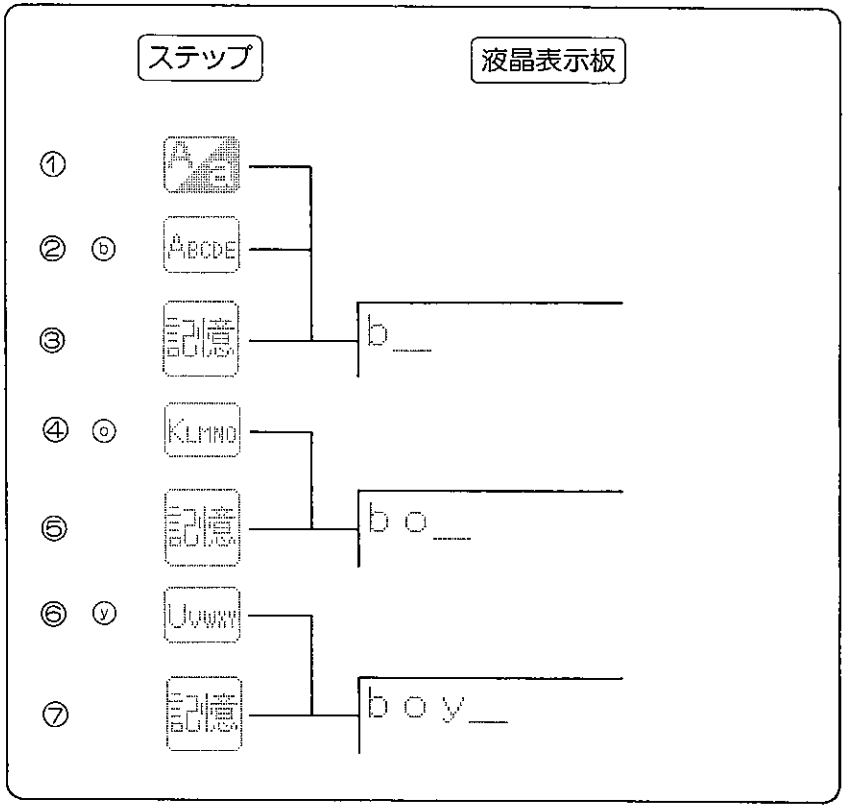
☆ゴシック体（大文字）大型文字縫いの例（BOY）



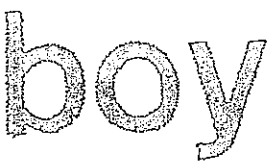
縫　い



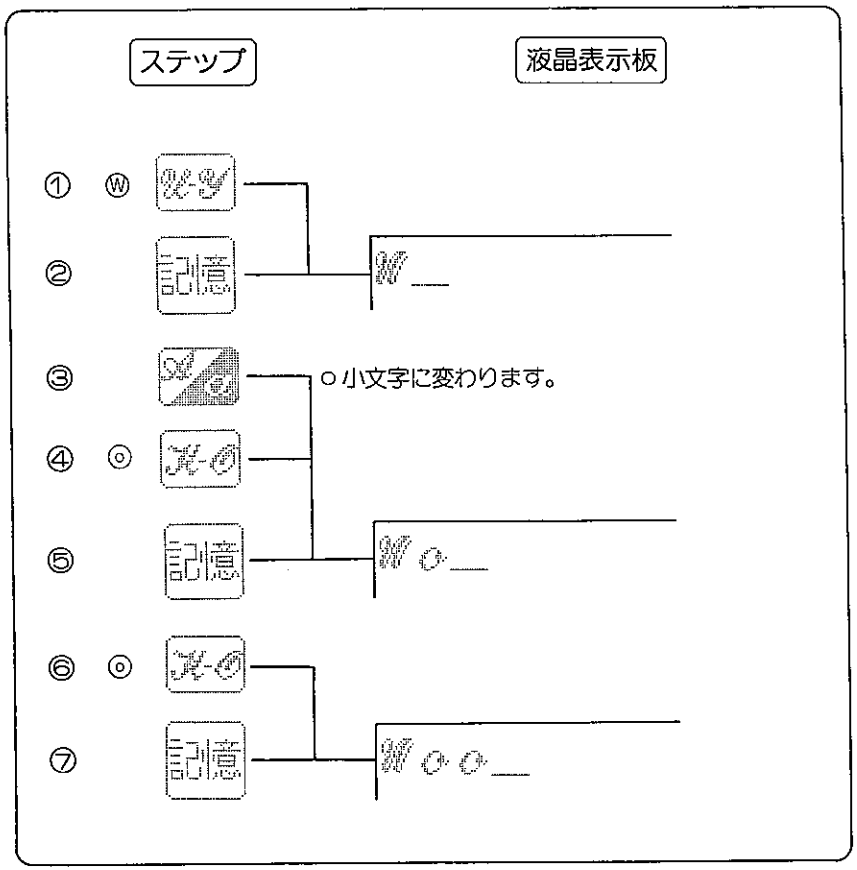
☆ゴシック体（小文字）縫いの例（ｂｏｙ）



縫　い

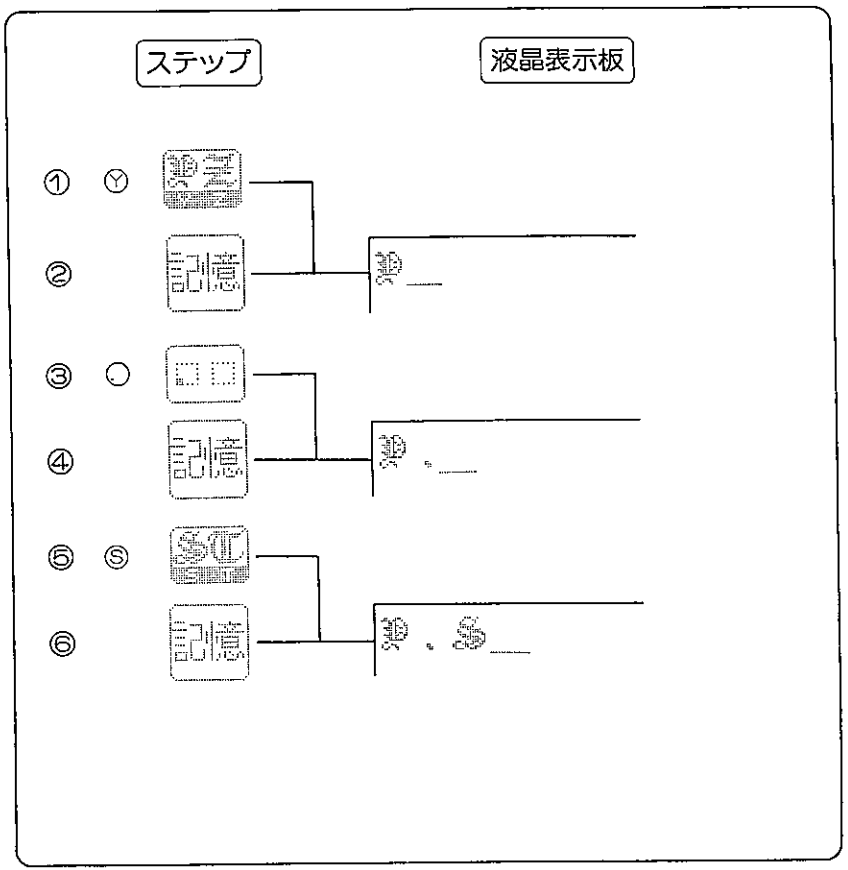


☆スクリプト体(大文字、小文字)組み合わせ縫いの例(Ｗｏｏ)



縫い

☆オールドイングリッシュ文字縫いの例（Ｙ。Ｓ）



縫い

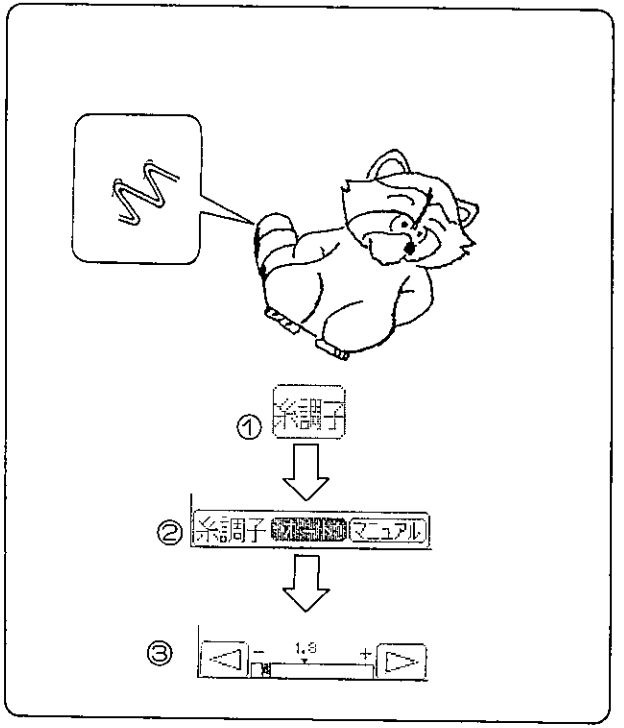
☆組み合わせするときに知っておきたいこと（刺しゅう縫いの場合）

1．はじめに取り消しキーを押して、前に入っている記憶をあらかじめ消してください。
長いプログラムは、手順をメモしておくと誤りがふせげます。

＊記憶できなくなると警告電子音が鳴ります。

2．プログラムの途中で、模様をまちがえて選んで記憶させたことに気づいたら、取り消しキーを押すと、その模様だけが取り消されます。
3．プログラムするとき正しくない操作をすると警告電子音が鳴って誤りを知らせてくれます。
4．つぎの場合には、プログラム全部が、取り消されます。
- 電源を切る
- プログラムした模様を縫いはじめてから、途中でミシンを止めて取消しキーや模様キー、戻るキーを押す。

☆糸調子の合わせ方



下糸が布の表に出る時の直し方の手順は、
①糸調子 キーを押します。
②マニュアル キーを押します。
③◁キーを押して数値を小さくします。

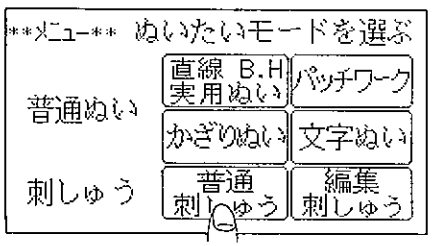
キャラクターシリーズ(WOO WOO PARADISE)別売品による普通刺しゅう縫い

☆模様の選び方

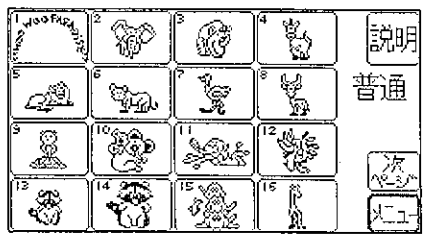
①メモリーカードを差し替えます。(71ページ参照)

*電源スイッチを切って、差し替えを行なってください。

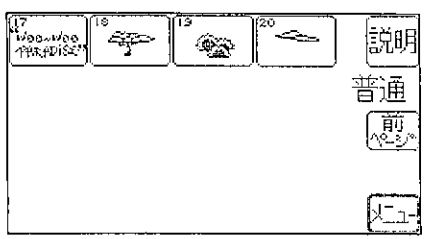
②「普通刺しゅう」キーを押します。



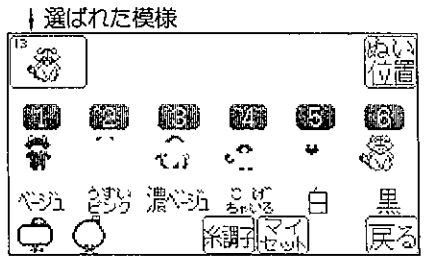
③図柄模様No.1～16が表示され選べます。



④「次ページ」キーを押すとNo.17～20の模様が表示され選べます。



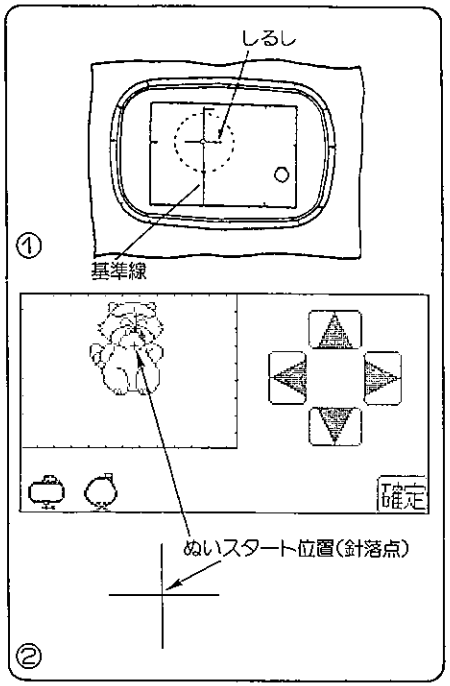
⑤③、④の画面の模様を押して選びます。



⑥糸の色と縫う順序が表示されます。

*画面表示左下に、を表示している模様は、標準刺しゅう枠と丸形刺しゅう枠(別売品)が使用できます。を表示している模様は、標準刺しゅう枠を使用してください。(丸形刺しゅう枠は使用できません。)

☆模様の縫い方（例）模様№13

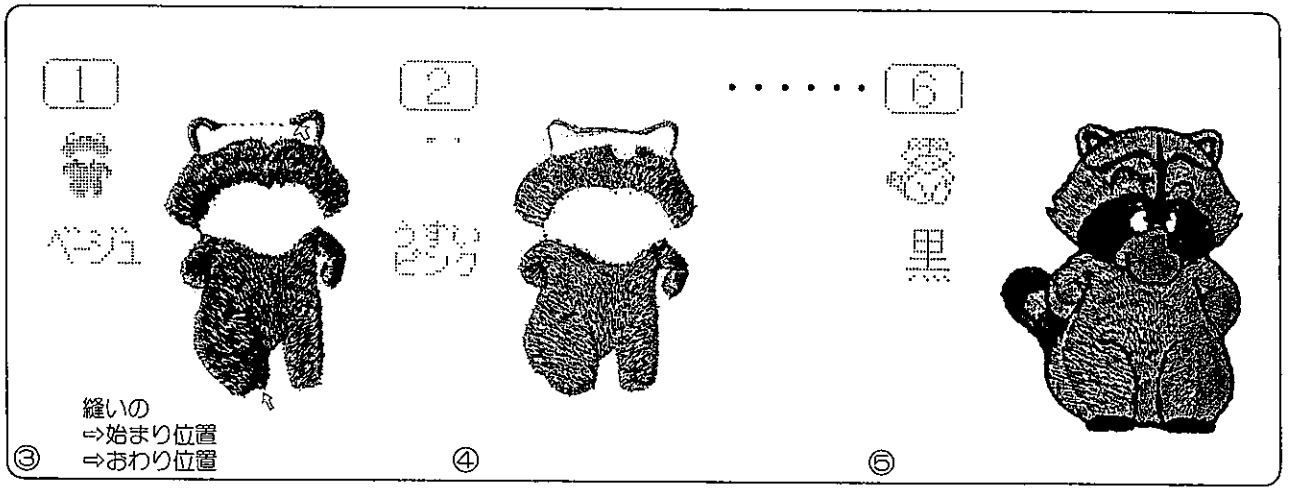


①テンプレートの円形の基準線と合わせて布を張り、刺しゅう枠をキャリッジにセットします。

②模様はぬいスタート位置を基準に縫えます。

＊しるしとテンプレートの基準線がずれた場合は「ぬい位置」キーを押して、針先がしるしの線に合うように◀▲▶▼キーで合わせます。

＊合わせ終わったら「確定」キーを押します。



③スタートボタンを押すと、縫い順序の１の模様を縫って自動的に止まります。

＊縫い始めは５～６針縫って糸押えに掛けた糸を切ってください。

＊縫い終わり位置で糸を切ってください。

＊わたり糸は、各縫い順序の終わりに切ると、きれいに仕上がります。

④糸を交換し、順序２の模様を縫いおわると自動的に止まります。

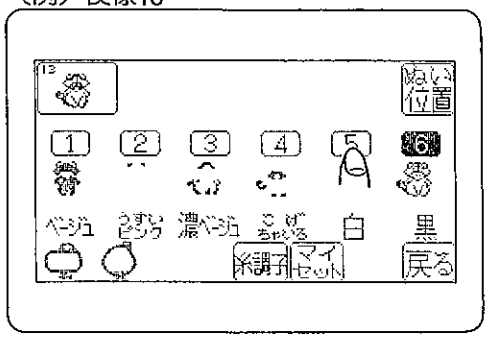
⑤同じ要領で色替え順序３、４、５、６を縫います。

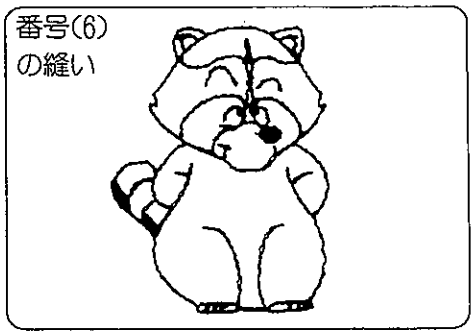
⑥縫いおわったら、わたり糸を切ります。

＊下糸のジャンプ糸（わたり糸）を切るときは、0.5cm以上残して切ってください。

☆スキップ縫い（模様を部分的に縫う場合に使います）（No.51～のカードのみ対象）
1～17まではできない

（例）模様13

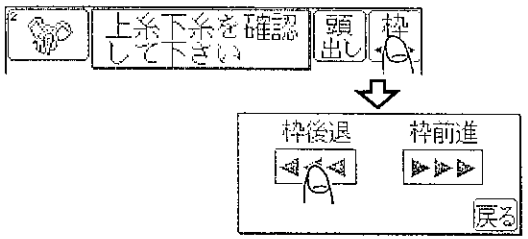




①模様を選びます。
②縫いたい番号(6)の前の番号(5)を押します。
③スタートして、縫います。

☆糸切れのときの直し方

メッセージが表示されます。



●上糸が切れ、自動的にミシンが止まったとき。

〈手順〉

①押え上げをあげます。
②糸を通し直します。
③糸端を糸切りの糸押え部に手前から掛けます。
④枠後退キーを押して、糸が切れた部分より若干多目に枠を戻します。(おわったら「戻る」キーを押します。)
⑤押え上げをさげて、スタート・ストップボタンを押します。(縫いはじめの糸は、切らないでください。)
⑥縫いおわってから、刺しゅう枠をはずして、縫いはじめのほつれ止めをします。

＊下糸の確認は、押え上げをあげ上糸を切り、枠をはずします。
確認後、枠を取付け再スタートさせます。

●スタート・ストップボタンを押して、ミシンを止めたとき。

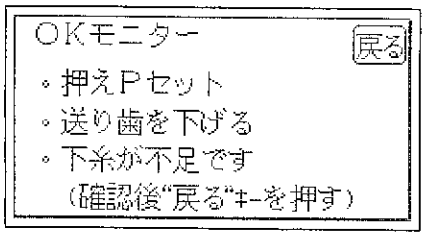
〈手順〉

「上糸が切れ、自動的にミシンが止まったとき」の手順と同じです。
枠を戻す位置がわからなくなった場合は、頭出しキーを押して、スタート位置に枠を戻して、最初から縫ってください。

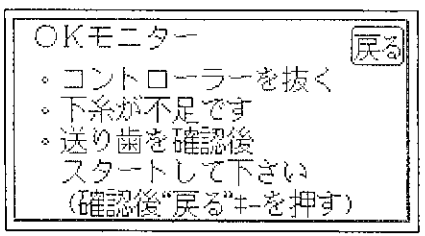
☆OKモニター

○縫い始めたとき、下記項目のOKモニターが表示されたときには、項目にしたがって直し、(または確認)“戻る”キーを押して、スタートします。

(刺しゅう縫いの時表示されます。)



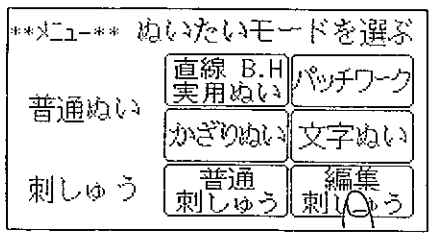
(普通縫いの時表示されます。)



(つくろい縫いなどのとき送り歯を下げて縫う場合に表示されますので下がっているか確認の後、スタートして下さい。)

☆編集刺しゅう縫い（編集刺しゅう縫いには、必ず標準刺しゅう枠を使用してください。他の枠（丸形刺しゅう枠・小型枠）別売品は使用できません。）

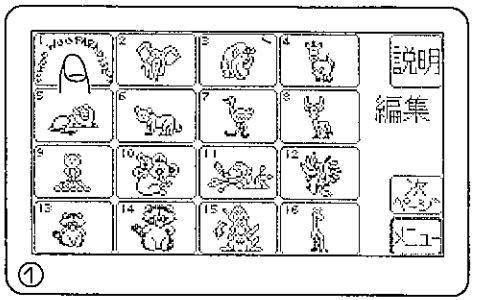
○同じカードの模様組み合わせや、別のカード（メモリーカードNo.51～）と組み合わせたりするときにメニュー画面の「編集刺しゅう」キーを押します。



○キャラクターシリーズ（Woo Woo PARADISE）別売品の例

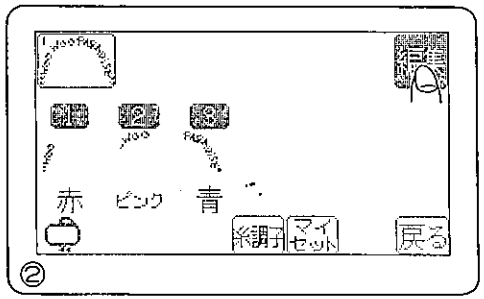
☆別の模様との組み合わせ

（例）キャラクターシリーズ模様No.1と模様No.13



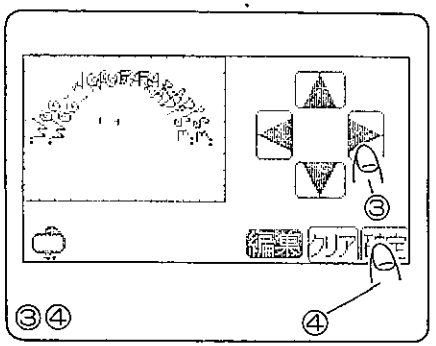
①

①模様No.1を選びます。

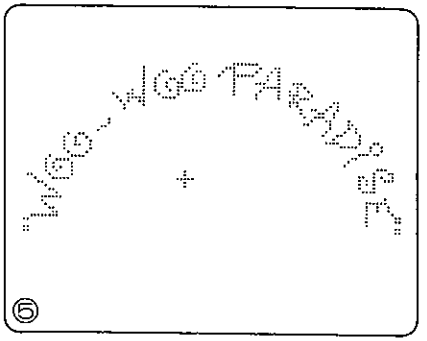


②

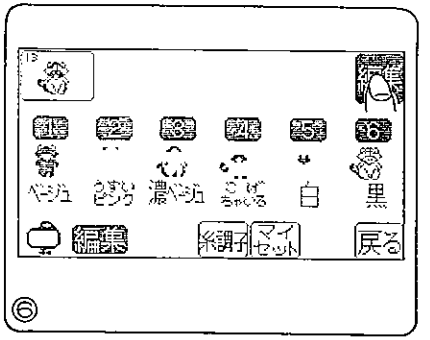
②「編集」キーを押します。



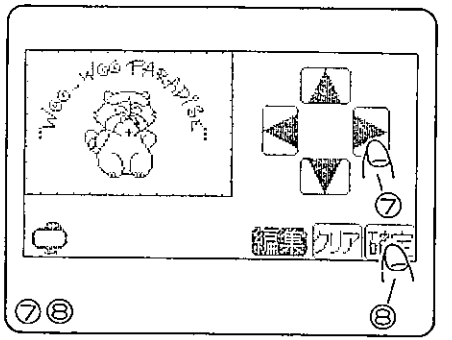
③✥キーで下にさげすぎないように移動させます。
④「確定」キーを押して画面を戻します。
*編集画面にいらない絵が残っているときには「クリア」キーで消してください。



⑤スタートして模様№1を仕上げます。



⑥模様№13を選び、「編集」キーを押します。



⑦前に縫った模様№1の絵と組み合わせ出来るように、✥キーで操作します。
⑧「確定」キーを押します。

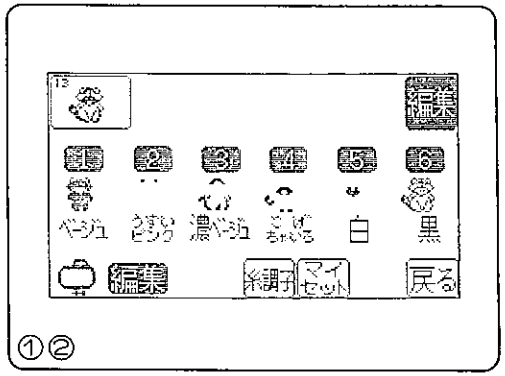
⑨

⑨スタートして模様№13を仕上げます。

＊編集刺しゅう縫いでは、重ね縫いはしないでください。

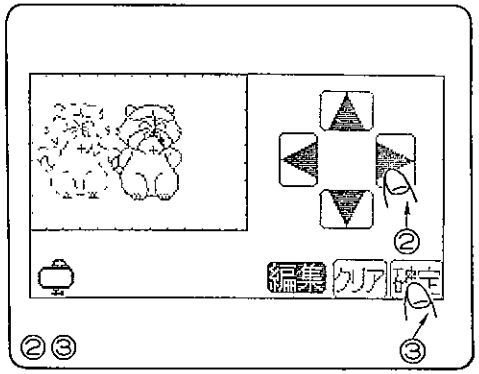
＊模様№5.6.17の組み合わせ例

☆同じ模様の組み合わせ
（例）模様№13



①②

①模様№13を選んで縫います。
②「編集」キーを押します。

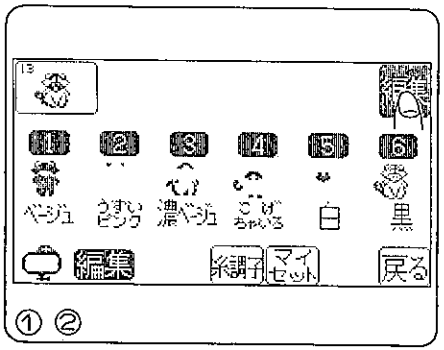


②③

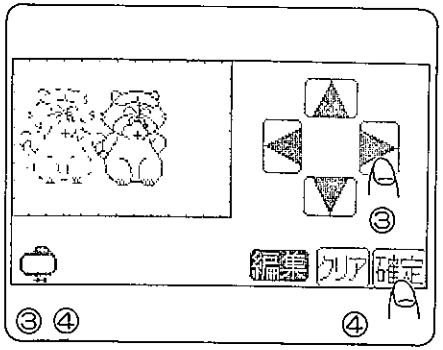
②↔ キーを押し、前に縫った絵と組み合わせ出来るように操作します。
③「確定」キーを押します。
④スタートして、模様№13を縫います。

☆他のカードの模様との組み合わせ

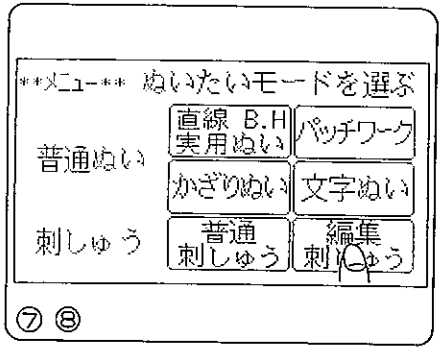
（例）キャラクターシリーズ（模様№13）と標準カード



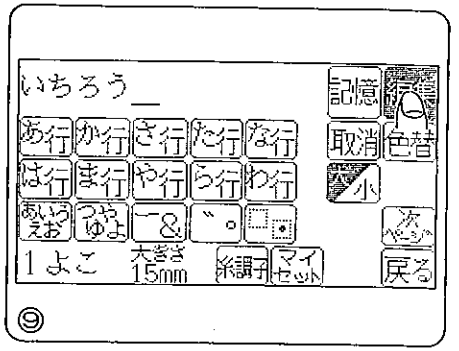
① ②



③ ④ ④

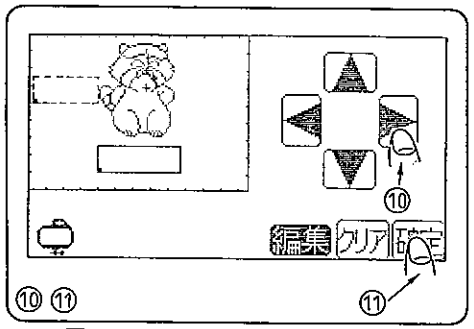


⑦ ⑧



⑨

①キャラクターシリーズ(模様№13)を選びます。
②「編集」キーを押します。
③ キーを操作して縫う位置を決めます。
④「確定」キーを押します。
⑤スタートして縫います。
⑥縫いおわったら、電源スイッチを切り、カードを出します。
⑦標準カードを差し込み、電源スイッチをいれます。
⑧「編集刺しゅう」キーを押します。
⑨「いちろう」を記憶します。
⑩「編集」キーを押します。



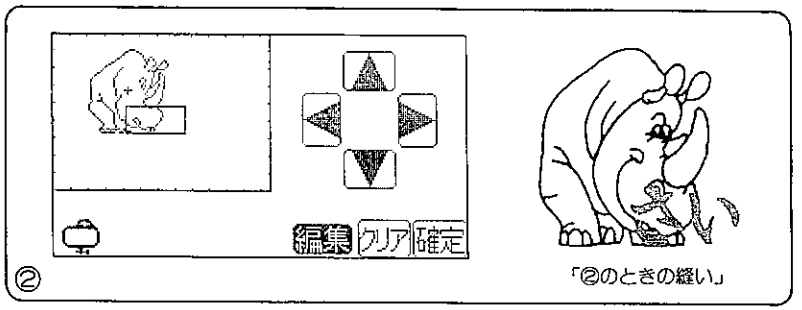
⑩ ◀▲▶▼ キーを操作して、縫い位置を決めます。

⑪「確定」キーを押します。

⑫スタートして縫います。

○文字が模様に重さなるときの直し方

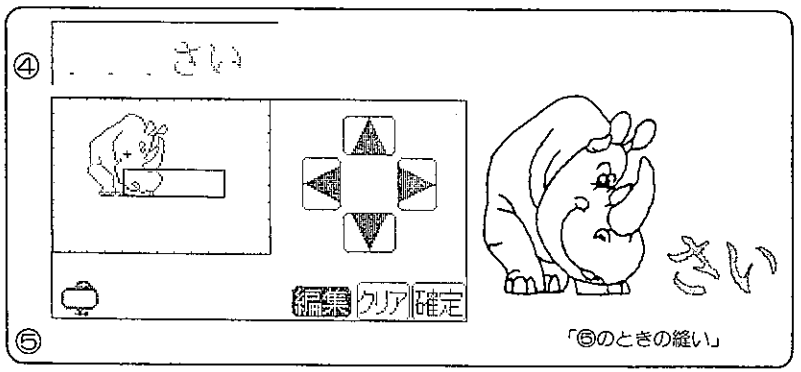
(例)キャラクターシリーズ(模様No.3)と標準カード「さい」の組み合わせ



①模様No.3を縫って、カードを差替え「さい」を記憶します。

②「編集」キーを押して ◀▲▶▼ キーを操作し、右側に文字を縫うとき、模様No.3と文字「さい」(□) が重さなっている場合には、文字記憶のやり直しをします。

③一度「確定」キーを押し、文字記憶「さい」を削除します。



④「□」を2～3個「さい」の前に記憶します。

⑤「編集」キーを押して、縫い位置を確しかめ、「確定」キーを押してスタートします。

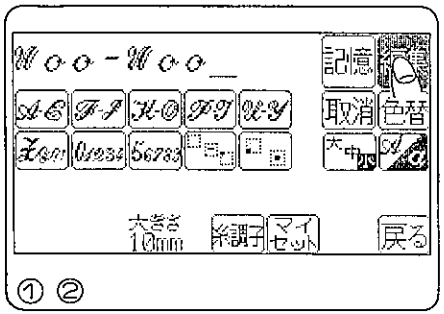
＊模様に□が重さなっていますが、先頭の「□」部分は縫いませんので、「さい」が模様より離れた位置に縫われます。

○標準カードの例

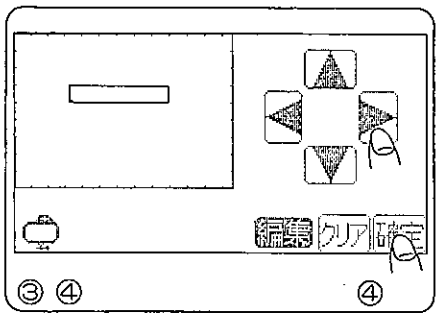
＊標準カード（文字）を差込み、メニュー画面の「編集刺しゅう」キーを押します。

☆他の文字との組合わせ

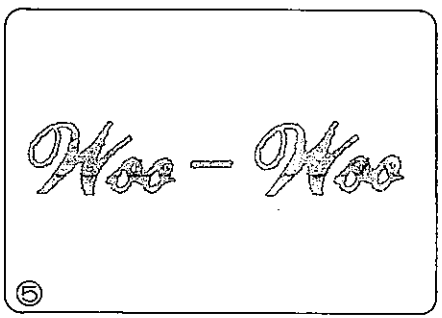
（例）スクリプト体とカタカナ（Woo－Woo/パラダイス）



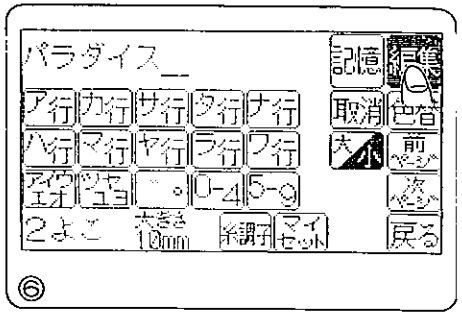
①②



③④　　④



⑤



⑥

①スクリプト体の「Woo－Woo」を記憶します。

②「編集」キーを押します。

③キーを操作して縫う位置を決めます。

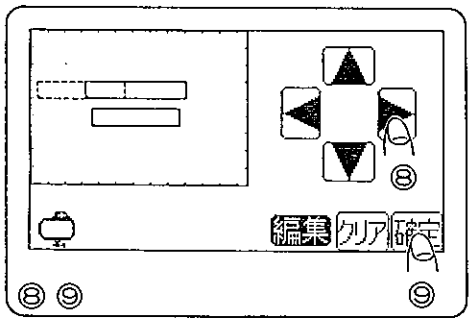
④「確定」キーを押します。

⑤スタートして縫います。

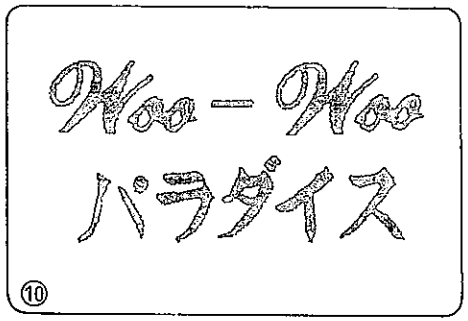
＊縫いおわったら「戻る」キーを押します。

⑥カタカナの「パラダイス」を記憶します。

⑦「編集」キーを押します。



⑧⑨



⑩

⑧前に縫った模様の範囲と組合わせ出来るように、 キーを操作します。

⑨「確定」キーを押します。

⑩スタートして縫います。

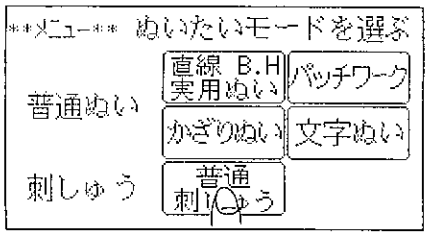
大型模様メモリーカードNo.1~16(別売品)による刺しゅう縫い

☆模様の選び方

①メモリーカードをさし替えます。(71ページ参照)

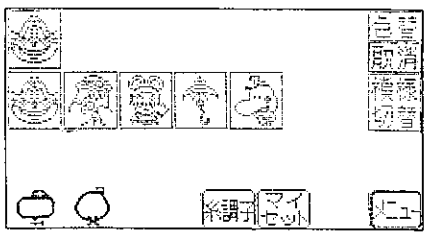
＊電源スイッチを切って、さし替えを行なってください。

＊別売品のメモリーカードにつきましては、最寄りの支店あるいは、お客様相談室へお問い合せ下さい。

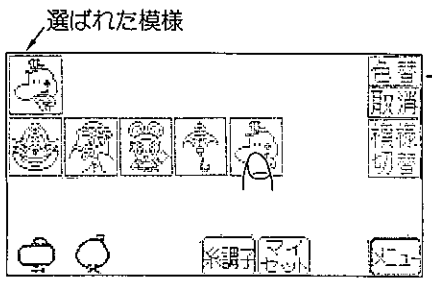


＊メモリーカードNo4、No9、No10には標準刺しゅう枠では縫えない模様が含まれています。

②メニュー画面の「普通刺しゅう」モードキーを押すと、大型模様の表示に変わります。



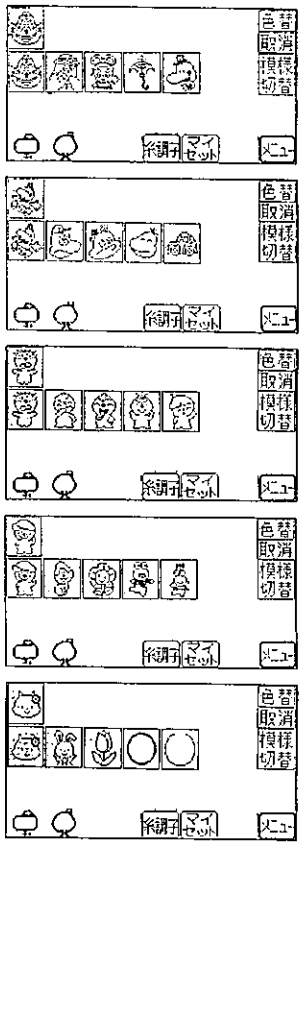
③画面の模様の上を押して選びます。



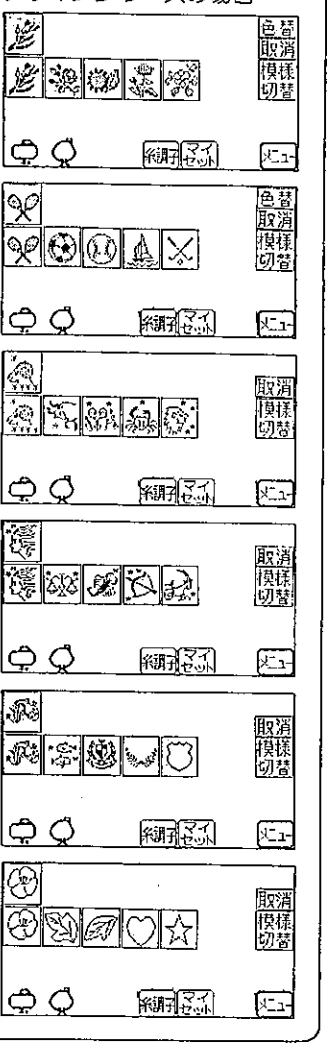
＊色替えできる模様の場合だけ色替と表示されます。(95ページ参照)

(例)

キャラクターシリーズの場合

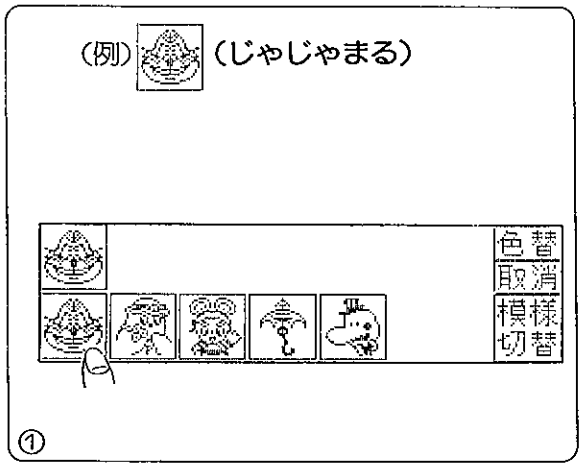


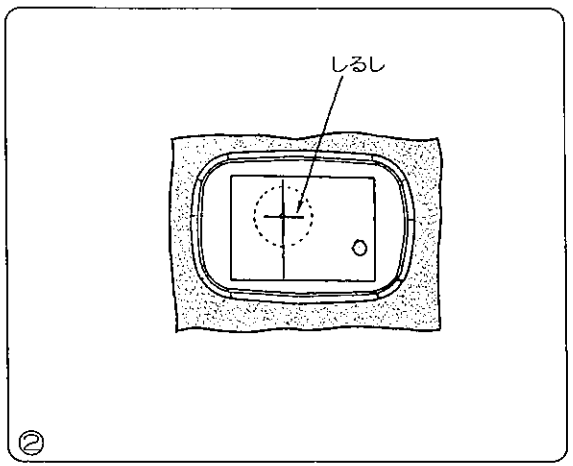
デザインシリーズの場合

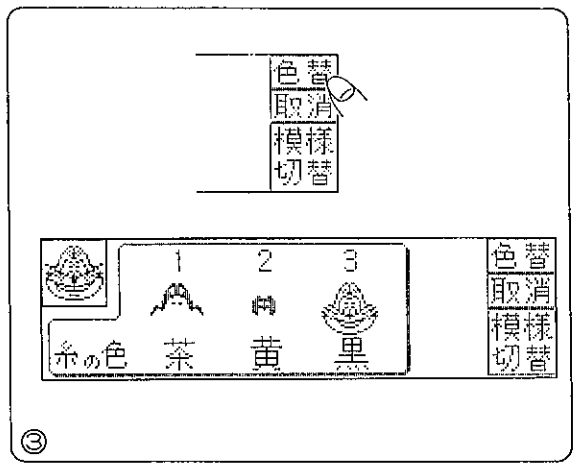


＊ 模様切替 キーを押すごとに画面表示がかわります。

☆大型模様の縫い方（色替して縫う場合）







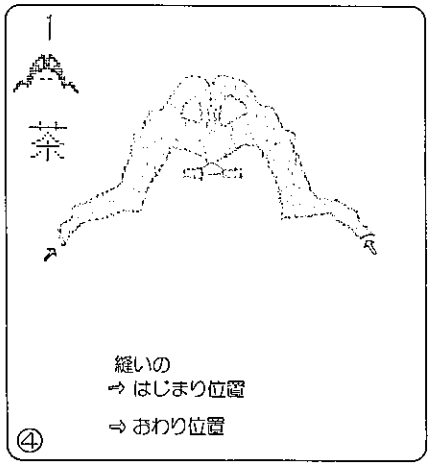
① を選びます。

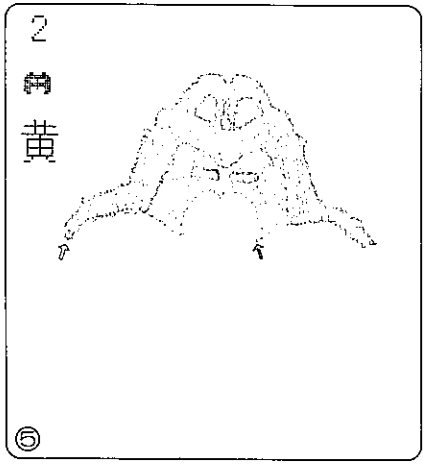
＊刺しゅう枠は、丸形刺しゅう枠(別売品)をおすすめします。(98ページ参照)

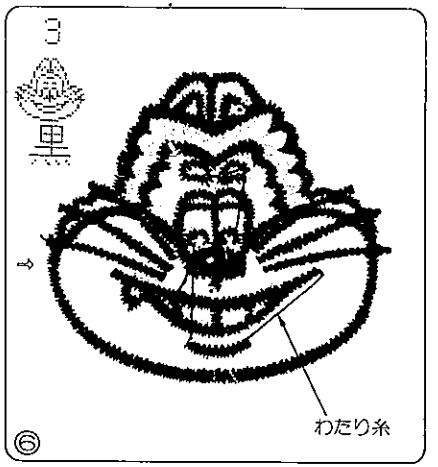
②布にしるしをつけ、テンプレートの円形の基準線と合わせて、布を張り、刺しゅう枠をキャリッジにセットします。

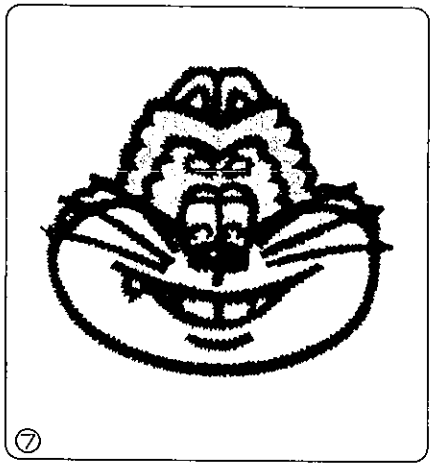
③色替キーを押すと糸の色と縫う順序が表示されます。

＊糸の色表示の部分は、押さないでください。









④スタートボタンを押すと、縫い順序1の模様を縫って自動的に止まります。

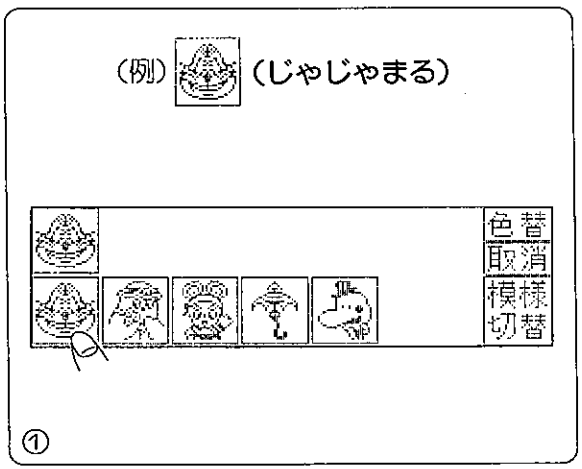
⑤糸を交換し、順序2の模様を縫いおわると自動的に止まります。

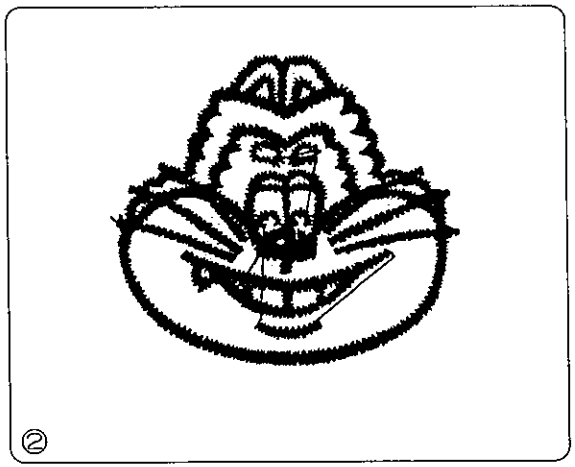
⑥糸を交換し、順序3の模様を縫いおわると自動的に止まります。

⑦わたり糸を切ります。

＊縫い始めは5～6針縫って糸押えに掛けた糸を切ってください。
＊縫い終わりも、縫い終わり位置で糸を切ってください。
＊色替えして縫う場合、わたり糸は、各縫い順序の終わりに切ると、きれいに仕上がります。

☆色替キーを使用しない場合（一色の糸で縫う場合）



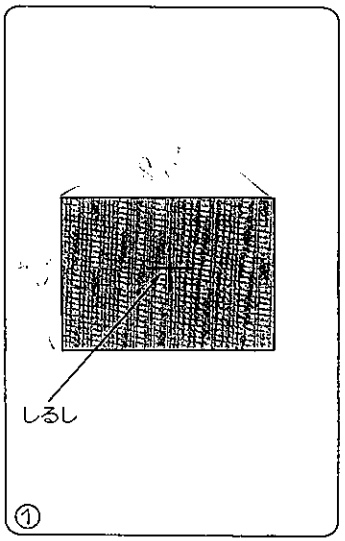


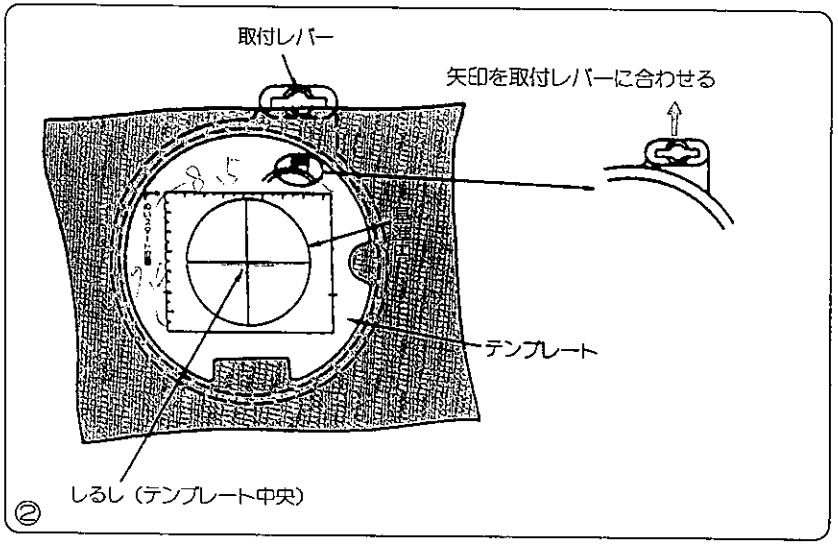
① を選びます。

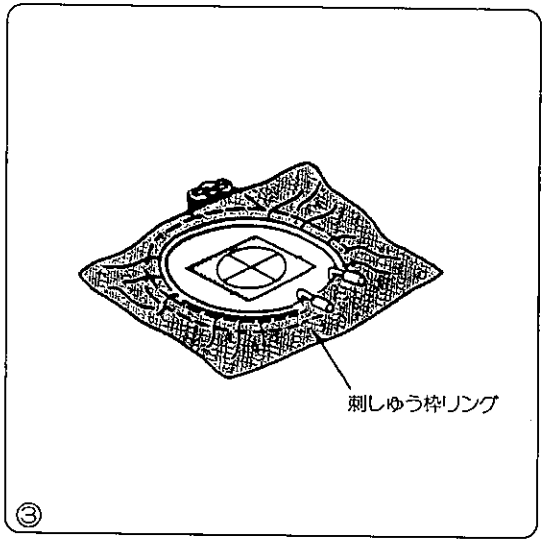
②スタート・ストップボタンを押すと、模様を縫って自動的に止まります。

丸形刺しゅう枠(別売品)と布の張り方

大型模様を縫うときには、丸形刺しゅう枠(別売品)をおすすめします。



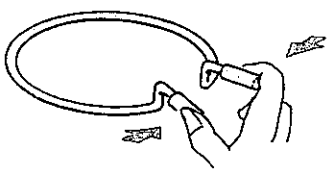




①布の刺しゅう位置にチャコでしるしをつけます。

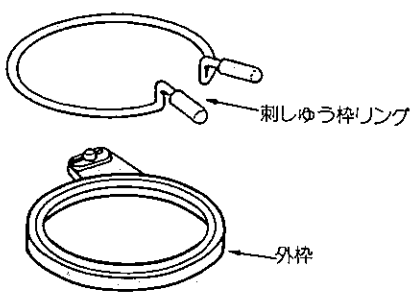
②そのしるしにテンプレートを合わせ、外枠の上にのせます。テンプレートの矢印部を取付レバーに合わせて下さい。

③上から刺しゅう枠リングを外枠の中におさめます。



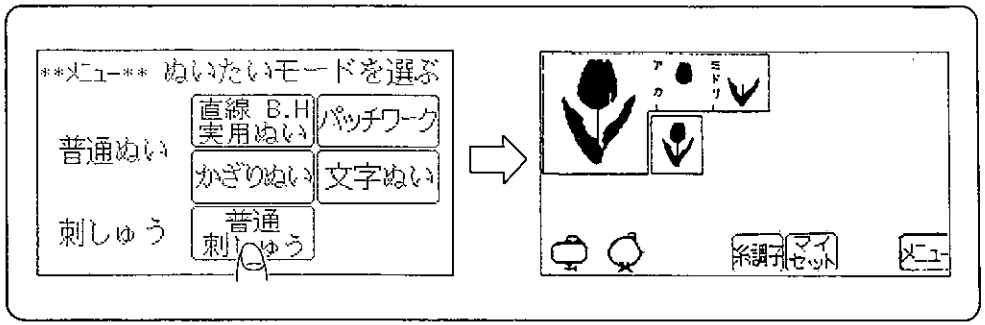
＊刺しゅう枠リングは、ツマミをはさんで外枠の中に入れます。
＊しるしの位置がテンプレートからズレないように入れて下さい。

④布を張ったらテンプレートをはずします。



スケッチランド(別売品)マイデザインカードによる刺しゅう縫い

①電源スイッチを切って、カードをさし替えます。(71ページ参照)



②メニュー画面の「普通刺しゅう」モードキーを押します。

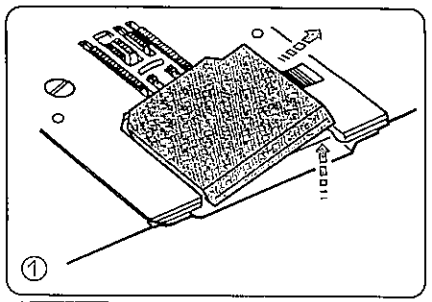
③縫いは普通刺しゅうと同じ要領で縫います。

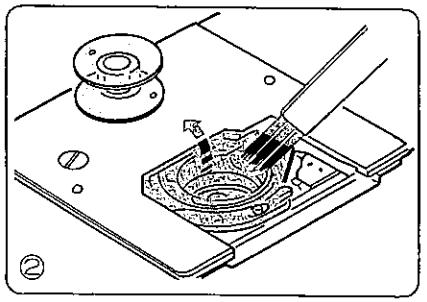
ミシンの手入れ

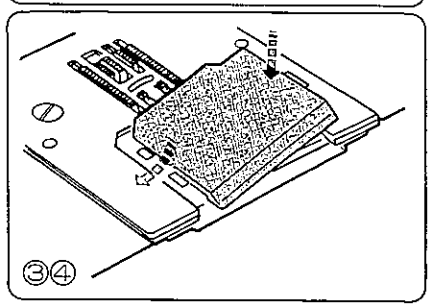
使用後は、ゆきとどいた手入れをして、ミシンをいつも調子よくお使いください。

＊手入れのときには、上下停針ボタンを押して針をあげてから、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
＊手入れのときには、説明されている個所以外は分解しないでください。
＊このミシンは、注油の必要がありません。

☆かまの掃除



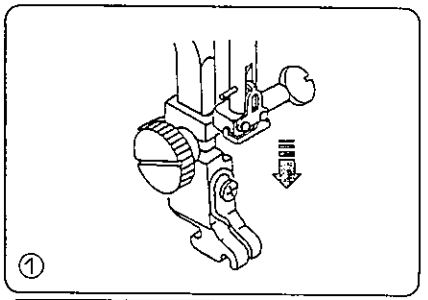


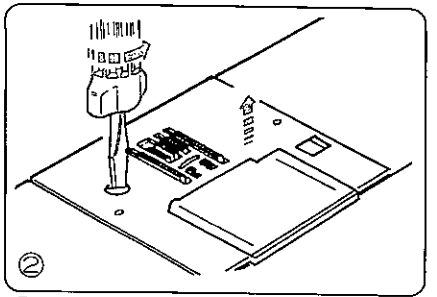


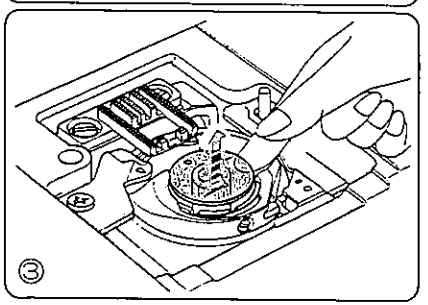
糸くずや、ほこりがつくと、不調や故障の原因となりますので、いつもきれいにしておきましょう。

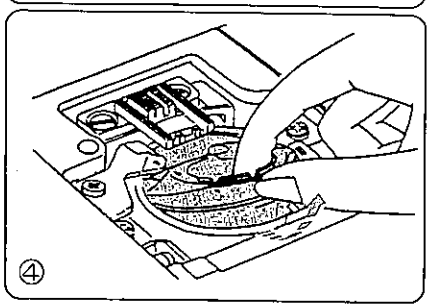
①角板開放ボタンを右にずらして角板をはずします。
②ボビンをとり出し、糸くずやほこりを、ブラシで掃除します。
＊ブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、電気掃除機などで吸いとってください。
③ボビンを入れます。
④角板の凸部を針板にさしこみ、上から押して角板をとりつけます。

☆かまの分解



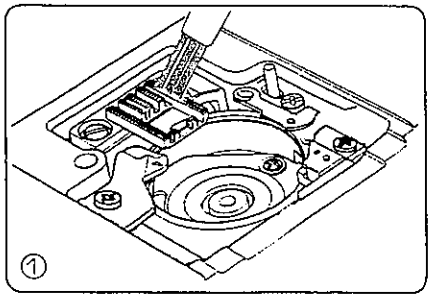


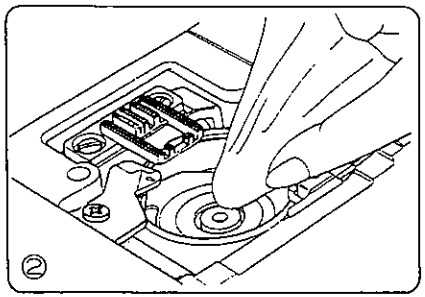


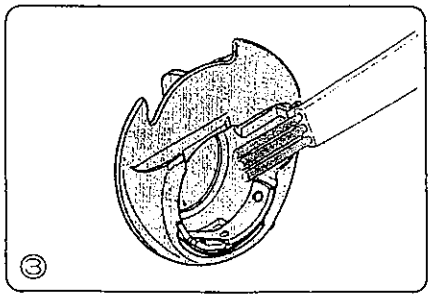


①針と押えをはずします。
②針板しめねじをはずし、針板をはずします。
③ボビンをとり出します。
④内がまの手前を上に引きながらはずします。

☆かまと送り歯の掃除

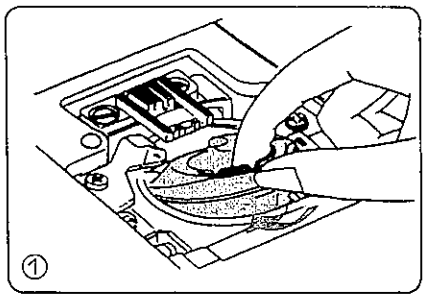


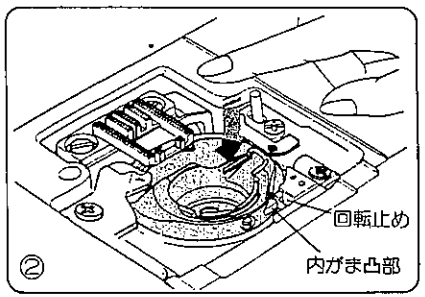


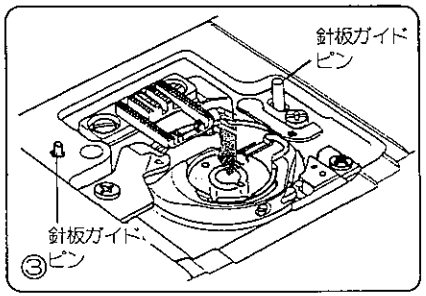


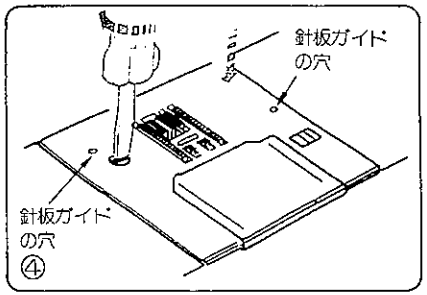
①送り歯のごみを、ブラシで手前に落とし、
さらに外がまを掃除します。
②外がまの中央部を布切れで軽くふきます。
③内がまを、ブラシで掃除し布切れで軽くふ
きます。

☆かまの組立て









①内がまをさしこみます。
②内がまの凸部を回転止めの左側におさめま
す。
③ボビンを入れます。
④2か所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴
を合わせて、しめねじをしめます。
＊手入れがおわったら、忘れずに針と押えを
つけてください。

ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	*区　分	その原因	直し方
音が高い。	共　通 共　通	①かまの部分に、布ぼこり、糸くずが巻きこまれている。 ②送り歯に、布ぼこり、糸くずがたまっている。	100、101ページ参照
上糸が切れる。	共　通 共　通 共　通 共　通 共　通 普通縫 刺しゅう縫	①上糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。 ②上糸調子が強すぎる。 ③針がまがっていたり、針先がつぶれている。 ④針のつけ方がまちがっている。 ⑤針にくらべて、糸が太すぎる。 ⑥縫いはじめに、上糸・下糸を押えの下にそろえて引いていない。 ⑦縫いはじめに、上糸を糸押えに掛けていない。	11ページ参照 21ページ参照 24ページ参照 24ページ参照 20ページ参照 13ページ参照 73ページ参照
下糸が切れる。	共　通 共　通 共　通	①下糸の通し方が、まちがっている。 ②内がまの中に、布ぼこり、糸くずがたまっている。 ③ボビンにきずがあり、回転がなめらかでない。	10ページ参照 100、101ページ参照 ボビンを交換する。
針が折れる。	共　通 共　通 共　通 共　通 共　通 普通縫	①針のつけ方がまちがっている。 ②針がまがっていたり、針先がつぶれている。 ③針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 ④上糸調子が、特に強すぎる。 ⑤縫いおわったとき、布を向こう側に引いていない。 ⑥布にくらべて、針が細すぎる。	24ページ参照 24ページ参照 24ページ参照 21ページ参照 16ページ参照 20ページ参照
液晶表示が見にくい。	共　通	①調整つまみの位置がよくない。	5ページ参照 （液晶表示板調整つまみをまわす。）
刺しゅう縫いキーが使用できない。	刺しゅう縫	①メモリーカードがセットされていない。	71ページ参照

*区分：共通→普通縫い・刺しゅう縫いに共通な場合、普通縫→普通縫いの場合、刺しゅう縫→刺しゅう縫いの場合

調子が悪い場合	＊区　分	その原因	直し方
縫い目がとぶ。	共　通	①針のつけ方がまちがっている。	24ページ参照
	共　通	②針がまがっていたり、針先がつぶれている。	24ページ参照
	共　通	③布に対して、針と糸が合っていない。	20ページ参照
	共　通	④伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ブルー針を使っていない。	20ページ参照
	共　通	⑤上糸の掛け方がまちがっている。	11ページ参照
	共　通	⑥品質の悪い（錆ている、針穴の仕上げが悪い）針を使用している。	針を交換する。
	普通縫	⑦押え圧が弱い。	22ページ参照
	刺しゅう縫	⑧刺しゅう枠が正しく取付いていない。	75ページ参照
	刺しゅう縫	⑨刺しゅう枠に布をきちんと張っていない。	74、75ページ参照
	共　通	⑩伸縮性のある布に芯地を使っていない。	29、32、70ページ参照
縫い目がしわになる。	共　通	①上糸調子が合っていない。	21ページ参照
	共　通	②上糸・下糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。	10、11ページ参照
	共　通	③布にくらべて針が太すぎる。	20ページ参照
	普通縫	④布にくらべて縫い目があらすぎる。	縫い目を細かくする。
	普通縫	⑤押え圧が合っていない。	22ページ参照
		＊特にうすい布を縫うときは、下側に紙をあてて縫ってください。	
	刺しゅう縫	⑥刺しゅう枠に布をきちんと張っていない。	74、75ページ参照
	共　通	⑦うすい布や、伸縮性のある布に対して、芯地を使っていない。	29、32、70ページ参照
縫いずれがおこる。	普通縫	①押え圧が合っていない。	22ページ参照
	普通縫	②薄物・ニット地などの縫いずれし易い素材に適した押えを使用していない。	29、32、70ページ参照
布送りがうまくいかない。	普通縫	①送り歯に糸くずがたまっている。	100、101ページ参照
	普通縫	②押え圧が弱い。	22ページ参照
	普通縫	③縫い目が細かすぎる。	縫い目をあらくする。
	普通縫	④縫いはじめに、布が送られない。	17ページ参照
	普通縫	⑤送り歯があがっていない。	18ページ参照
	普通縫	⑥ビニールレザー、皮革などの送りにくい素材に適した押えを使用していない。	23ページ参照

＊区分；共通→普通縫い・刺しゅう縫いに共通な場合、普通縫→普通縫いの場合、刺しゅう縫→刺しゅう縫いの場合

調子が悪い場合	*区　分	その原因	直し方
ミシンがまわらない。	共　通	①コンセントに、プラグがきちんとさしこまれていないか、つなぎ方がまちがっている。	7ページ参照
	共　通	②かまに、布ぼこり、糸くずがたまっている。（このとき、ミシンの安全装置がはたらいて、モーターを自動停止します。）	100ページ参照
	共　通	③電子回路の制御手順にズレが生じている。	電源スイッチを切り、ふたたび入れて模様をセットしてください。
	普通縫	④コントローラー（別売品）が接続されたままで、スタート・ストップボタンを使用している。	7ページ参照
	共　通	⑤10回転ぐらいすると、ミシンが止まってしまう。	11、86ページ参照
	刺しゅう縫	⑥コントローラー（別売品）で刺しゅう縫いをしようとしている。	71ページ参照
スイッチONで異常音。（ミシンがまわらない。）	共　通	①キャリッジとアームの間に布などがはさまっている。	はさまっているものを取除く。
	共　通	②キャリッジが周辺に置いてある物に当たっている。	72ページ参照
		③キャリッジがドロップつまみに引掛ったまま電源が切れてしまった。	電源を切ってキャリッジを手で後ろへ移動させ再び電源を入れる。
模様が整わない。	共　通	①指定の押えを使用していない。	指定の押えを使用してください。
	共　通	②上糸調子が強すぎる。	21ページ参照
	普通縫	③布に対して送りが合っていないため、模様・文字・数字が整わない。	68ページ参照
	普通縫	④送り調節ねじが合っていない。	68ページ参照
	共　通	⑤うすい布や伸縮性のある布に対し、芯地を使っていない。	29、32、70ページ参照
	刺しゅう縫	⑥キャリッジの刺しゅう枠取付レバーがゆるんでいる。	75ページ参照
	刺しゅう縫	⑦キャリッジが周辺に置いてある物に当たっている。	72ページ参照
	刺しゅう縫	⑧刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。	74、75ページ参照
	刺しゅう縫	⑨刺しゅうの時、布がひっかかっているか、はさみ込まれている。	布を正しい位置に直す。
	刺しゅう縫	⑩上糸がなくなったときの布裏の処理が悪い。	布裏の余分な上糸を切ってください。
ボタン穴かがりがうまくいかない。	普通縫	①布に対して、縫い目のあらさが合っていない。	34ページ参照
	普通縫	②左と右の縫い目のあらさが合っていない。	68ページ参照
	普通縫	③伸縮性のある布のとき、伸びにくい芯地を使っていない。	32ページ参照
	普通縫	④指定された押えを使用していない。	32ページ参照
	普通縫	⑤ボタン穴かがりの選択（オート、またはマニュアル）がまちがっている。	32、37ページ参照
模様が選べない。	共　通	①下糸巻きの状態のままになっている。（警告電子音が鳴る。）	9ページ参照
	共　通	②記憶できる限度を超えて、模様を記憶させている。	61、82ページ参照
	共　通	③電子回路の制御手順にズレが生じている。	電源スイッチを切り、ふたたび入れて模様をセットしてください。
	共　通	④普通縫いモード・刺しゅう縫いモードの選択がまちがっている…。	14、72ページ参照

*区分；共通→普通縫い・刺しゅう縫いに共通な場合、普通縫→普通縫いの場合、刺しゅう縫→刺しゅう縫いの場合

仕	様
使用電圧	100V　50/60Hz
消費電力	65W/ランプ3W
外形寸法	幅45cm×奥行21cm×高さ33cm
重量	12.2kg（本体）
使用針	家庭用 HA×1
縫速度	毎分860回転

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

お客様相談コーナー

★ジャノメミシンでは全国350近くの直営支店で万全のアフターサービスをしております。この手びきに書かれている方法で直らないときは、最寄りの支店へご連絡ください。
★お問合わせの際は、この手びきをお読みになりながらお電話くださると係員も故障の原因や個所がわかって便利です。
★アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、本社お客様相談室または、下記の代表支店へ何なりとお申しつけください。

本社・お客様相談室　☎03(3277)2315
〒104 東京都中央区京橋3－1－1

札幌支店　☎011(261)5671
〒060　札幌市中央区南二条西2丁目NSビル

仙台支店　☎022(221)3591
〒980　仙台市青葉区国分町3－5－32

新潟支店　☎025(228)6201
〒950　新潟市寄居町343－17

名古屋支店　☎052(733)5116
〒464　名古屋市千種区内山3－33－14

大阪支店　☎06(213)1635
〒542　大阪市中央区心斎橋筋2－6－9

京都支店　☎075(211)9132
〒605　京都市中京区丸太町通烏丸東入光り堂町420 京都インペリアルビル

広島支店　☎082(228)5181
〒730　広島市中区幟町15－9

高松支店　☎0878(31)1721
〒760　高松市常磐町1－4－10

福岡西新支店　☎092(846)7930
〒814　福岡市早良区西新2－6－2

熊本支店　☎096(354)6523
〒860　熊本市上通り町8－15

＊上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。